各種社會問題之研究

滿洲之社會



甲子新正號

第貳卷第五號

大正十三年一月一日發行

南滿洲鐵道株式會社

鐵道

營業哩數（滿洲線 一、六八六哩 朝鮮線 一、一六二哩）

當社線主要驛と内地支那鐵道主要驛と鮮滿支間往復、週遊、巡遊のため船車連絡割引の便宜あり

埠頭及倉庫

大連、營口、安東、上海の各地には埠頭の設備と共に一般倉庫業をも營む

旅館

朝鮮

京城、朝鮮ホテル
釜山
新義州｝停車場ホテル
金剛山、長安寺及避暑ホテル（自六月至十月）温井里

滿洲

大連、旅順
奉天、長春
大連市外
星ヶ浦｝ヤマトホテル

本社　滿洲大連市東公園町
支社　東京市麴町區永樂町丸ノ内ビルデング内
鮮滿案内所（東京支社、大阪、下關）

石炭

撫順炭は各種工業用炭竝船舶焚料炭として燃料界に雄飛し煙臺炭は無煙にして亦諸種の用途に使用せられ滿洲朝鮮は素より海外各地に於て顧客の需要に應ずる準備を有す

電氣及瓦斯

大連撫順に電氣鐵道を又大連、奉天、長春、安東、撫順に電燈事業を經營す

大連、鞍山、撫順に瓦斯事業を經營す

銑鐵及窯業

鞍山に製鐵事業を經營し銑鐵をも産す

大連に窯業試驗工場を有し優良なる硝子器等を製す

資本金　八千萬圓
拂込濟資本金　五千萬圓
積立金　壹千百四萬圓

預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務竝朝鮮、滿洲及亞港ニ於テ日本銀行代理店事務ヲ取扱申候

本店　朝鮮京城南大門通
振替貯金口座　京城三三三番

朝鮮銀行

總裁　美濃部俊吉

支店出張所

內地　東京、大阪、神戸、下關
朝鮮　釜山、大邱、仁川、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、清津、會寧
滿洲　大連、旅順、營口、遼陽、奉天、奉天新市街、鐵嶺、開原、四平街、鄭家屯
　　　長春、吉林、安東縣、龍井村、哈爾賓、傅家甸
支那　上海、青島、天津、濟南
露領　浦潮斯德　亞港
米國　紐育

右ノ外倫敦、巴里其他內外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

滿洲之社會―甲子新正號　（大正十三年一月發行）

一資本金　壹億圓

一積立金　七千參百萬圓

本店　横濱

支店
出張所

東京、大阪、神戸、名古屋、長崎、下關、倫敦、漢堡、里昂、紐育
桑港、羅府、布哇、シドニー、新嘉坡、カルカッタ、シヤトル、ス
ウラバヤ、ブエノスアイルス、バタビヤ、リオデジヤネイロ、西貢
孟買、蘭貢、馬尼刺、香港、上海、漢口、青島、濟南、天津、北京
牛莊(營口)、奉天、開原、長春、哈爾賓、浦鹽斯德

大連市大山通一番地

横濱正金銀行大連支店

電話
代表番號三一六一番
海關取扱所四七六二番
宿直專用六〇一五番

●設　立　明治四拾壹年壹月

●資本金　貳千萬圓　◎定期預金利子

●拂込濟資本金　九百五拾萬圓　（一ヶ年）七分

●諸積立金　貳百參拾壹萬五千圓

大連市大山通十四番地

電話代表番號七一一一番

振替貯金（大連）三三〇番

日支合辦　株式會社

正隆銀行

頭取　安田善四郎

相談役　安田善次郎

●當行は安田貯蓄銀行の代理支店として一般貯蓄預金を御便利に取扱中候

●當行は日本内地、朝鮮、南北滿洲、支那内地に於て約二千の爲替取引先を有し候

●當行は關東州地方費現金竝に大連市金庫事務取扱致候

●當行は臺灣銀行と特約を結び外國爲替取扱致候

支店（所在地）　旅順、營口、奉天、撫順、開原、四平街、長春、鄭家屯、錦州、天津、青島

派出所（所在地）　大連市小崗子（電話五七四）、奉天城内

資本金壹千四百四拾萬圓

關東州地方費現金取扱

大連市金庫事務取扱

日支合辦

株式會社

龍口銀行

大連市浪速町

電話（代表番號 七一五一番
　　　宿直用 五七三六番
　　　公衆用 三三二八番）

振替口座大連 一五五〇番

支店所及出張所在地

龍口、青島、哈爾賓、安東、鞍山、公主嶺、瓦房店、松樹

派出所

大連市内磐城町

日本内地及臺灣、朝鮮、滿洲、支那各地に爲替取引先有之

一般銀行業務便宜に御取扱仕候

大連市濱町

滿洲船渠株式會社

本社營業所

大連市山縣通加藤ビルヂング內

電話五八五三番

旅順東郷町

旅順工場

電話 四八〇番 / 一番

大連市濱町四十五號地

大連工場

電話 長四七一〇番 / 九六五番

謹賀新年

大連人士年賀列名

イロハ順

濱町、滿洲船渠會社　岩藤與十郎

滿鐵會社、埠頭事務所長　市川數造

大廣場、大連市助役　伊佐壽

滿鐵會社、人事課長　入江正太郎

滿鐵會社、電氣作業所長　出原佃

東廣場、大連取引信託會社長　原田光次郎

奥町、商品信託會社專務取締役　原田耕一

東廣場、重要物產取引人組合理事　長谷川潔

山縣通、滿洲報社長　西片朝三

山縣通、大倉商事株式會社支店長　堀洋三

西公園町二〇七番地　川村義郎

市外、沙河口滿鐵工場長　横井實郎

滿鐵會社、審查役　武村清

滿鐵會社、地方部長　田邊敏行

磐城町、田邊醫院主　田邊猛雄

佐渡町、進和商會社長　高田友吉

播摩町、立川法律事務局　立川雲平

山縣通、大連汽船會社長　塚本貞次郎

山城町、大連醫院　鶴見三三

伊勢町、滿洲銀行專務　津村甚之助

大廣場、大連市長　村井啓太郎

聖德街、大連爲仁會長　邊見勇彥
丹後町、値賀法律事務局　値賀連
監部通、政記公司　張本政
越後町、源成泰　李子明
愛宕町、錢鈔取引人副組合長　劉仙洲
東廣場、大連取引所信託會支配人　小澤新之輔
山城町、大連醫院長　尾見薫
滿鐵會社、理事　大藏公望
大山通、小林又七支店　太田信三
日出町、一番地ノ四脇屋醫院出診所大連埠頭構内　公醫　脇屋次郎
愛宕町、錢鈔信託會社支配人　神崎常一
櫻町、滿洲牧場主　勝俣喜十郎
山縣通、三井物產會社　上谷庫平
敷島町、基督教青年會總主事　香山長一

奥町、大連火災海上保險會社社長　村井啓次郎
神明町十二番地　野津孝次郎
紀伊町、矢野商會主　矢野健次郎
信濃町、市場事務所　山本國平
播摩町六十番地　俣野義郎
滿鐵會社、理事　松岡洋右
信濃町、滿洲水產會社長　福田顯四郎
初瀨町、日清製油會社取締役　古澤丈作
西公園町二五番地　古財治八
滿鐵會社、理事　赤羽克已
佐渡町、佐藤組主　佐藤至誠
滿鐵會社、調査課長　佐田弘次郎
大山通、五品取引所理事　門田新松
大廣場、遞信局長　杉野耕三郎

一、資本金參千萬圓

一、一般銀行業務並ニ大連市金庫事務ヲ取扱申候

大連市伊勢町六十九番地

株式會社 滿洲銀行

頭取 中村光吉

電話四一二一番

振替貯金大連三三〇番

支店所在地

大連市山縣通、同小崗子、沙河口
金州、普蘭店、貔子窩、瓦房店、鞍山、奉天、
奉天小西關、撫順、本溪湖、安東縣、安東縣
興隆街、新義州、鐵嶺、公主嶺、長春、吉林

右ノ外内地、朝鮮、滿洲各樞要ノ地ニ爲替取引先有之候



甲子新正と更始新清

大正十三年來る。本年は神武天皇即位紀元二千五百八十四年、而して十干の甲、十二支の子に當り、即ち干支の初頭なり。元旦は人生行路の振出しに該當せるが、干支の初頭なるに依りて、十三年甲子の新歲は、そこに又自から別樣の新意義を包有すと解するを得べし。迷信は不可なるも、斯くの如き新年を迎ふるに方りて、吾等は先づ神氣を清め、迷妄を排し、以て勇ましく人生行路の新發程に起たざる可らず。心機一轉すれば萬法も亦一轉す。

少しく附會なるも、甲子を更始、新正を新清と同語同意として此の大正十三年には是非とも總べてに更始一新の實を擧げたきもの也。即ち甲子新正は更始一新の甫めと心得たし。顧みれば、大正九年以來日本は內外諸般の上に行詰まりを生じ、乾坤一擲の大打開策を講ずるにあらざれば、到底此の難局より救はるゝ望みなし。徒らに不況を喞ち、區々の彌縫策を弄するが如きは要するに小人匹夫の徒術のみ。甲子新正と共に更始新清が第一ぞかし。

十三年は奇數歲なるも、甲は十干の初、子は十二支の初にして、何等か此年より新たに始まるべきものあるが如く思はる。走馬燈の如き同じ事を繰返し居りては際限なし。各人乞ふ一切の虛妄より超脫して明鏡止水の如き玲瓏たる心境を開け。此の心的革正あり、之を源泉として更始一新の氣之より生じ、以て能く一世の惰氣を排除すべし。案ずるに氣は既に動きつゝあり。乃ち此氣を捉へ此氣に乘じて更に人生行路の新發程に起たざるべからず。

滿洲之社會　甲子新正號　大正十三年一月發行

適應生活と正義立國

會長　金子雪齋

大自然力の下に發施さるゝ無窮の經綸は履軌齊整、源流貫透、萬古を通じて分毫の逸脫も無い。唯淺き人類的知見が之を不測とし、偶然とし、奇異とし、疑問とし或は悲觀、樂觀、宿命觀、ドグマ、迷信等の攪亂に委しつゝあるのである。此に於てか一面肯定的人生の上に宗敎の即位と爲り、一面理象共通の探照燈として科學が供職したのである。而も宗敎は人類の流動性的實生活に對する內容を與へず、科學は絕待を拒んで一貫的眞生命を與へず、兩者或は絕緣し、或は交涉し、終に萬想の紛糾と爲つた。久遠性的眞理觀に依れる理想は頭尾ありて胴體なき空想に陷り、流轉性的現實觀に趨るものは胴體ありて頭尾なく、恒久性的權威の把握が無い。之を化學的に鎔化して不壞の金剛軌を鑄造しなければ、人類世界の進路は憐れ無底獄であり、人類生活の前途は終に無期囚である。而も經驗主義の盾と爲り、理想主義の矛と爲るべき既往人類生活の內容は餘りに少量、單純、纔に進化趨異の資料を提供

するに過ぎないにも拘はらず、國家、社會、政治、經濟、教育、倫理、道德（宗教すらも）等現代的一切知識を通じてダアヰニズム若くは准ダアヰニズムの圈套を脫するものは無い。個性の自律、意志の主我、適應、競存、淘汰、互助、乃至一切の理想が皆此の鐵劵に裏書して居るのであるが、久遠を貫く人生に號令すべく餘りに少經驗であり、昂奮せしむべく餘りに小刺激であり、光明を與ふべく餘りに薄闇いてふ不平は免かれない。但しダアヰニズムは一知見に過ぎない、何等の必然的交涉をも待たぬ。而も吾人自性の發展は已に爾かく趨り、又趨りつゝある以上、吾人は頭、胴、尾完具の生活態を此裡に見出さねばならぬ。

大きく叩けば大きく響き、小さく叩けば小さく響く。吾人は今其の範圍を小劃し近き將來に對する我が國家民族の適應を一言せむ。

地上人口の增殖は事實である、而してマルサスは生資缺乏を以て大患とし、アダム・スミスは富の增殖を以て之を慰安した。但し兩者共に科學の發達を遺却して居る。今や海上生活の實行は其程度と共に時間の問題に過ぎない、空中生活は唯飛行機に對する研究の一步を進むるのみにて大空住居の可能性が有る。更に生活資料に至つては、海上生活に伴つて海產物の採取と增殖の法は講ぜらるべく、特に地上の草木土壤みな科學的方法に依りて好食料と爲るのである。此に於てか地上狹隘の憂

は食料缺乏の患と共に消滅し、人口問題は快然として解決を告げるのである。人類は競存に委すべきである、之を殺すは(死刑及戰爭を除き)天權でなくてはならぬ。所謂人爲的制限は間接の殺人であり、人類の僭越行爲であり、更に其自殺を意味する。我國近來亦頗る人口問題を云々して居る。而も其實相を観來れば、生活難の發源は人口增殖に在らずして生活方式の不適應に在る、個性と環境との順應と互助を失ふて居る、即ち進化の正路を逆行し、薪を抱いて火を救ふの愚を演じて居る。タトへ人口減少するも、結果は徒に國勢の衰償を加ふるのみである。要するに我が生活の不適應は擧げて數ふべからず。其中尤も重要なるものは謂ふ所の立國の方針である。曰く農業立國、曰く商業立國、而して近來更に洗錬的考案として工業立國が高調されて居る。然れども之を適應の原理に照せば總て謬見である。英米の物質的豐美はアングロサクソンの個性が環境と時機に適應した運命の段落的結算である。意、獨、佛、露、支の過現的運命、みな其適應的使命の循否に繫つて居る天に順ふものは昌ゆ天に逆ふものは亡ぶ。日本の使命は農商工立國では無い、正義立國である。人類は强大に於て獅象に及ばず、美麗に於て鸞鳳に若かず、鳶飛魚躍の本能なく、鶴壽龜齡の生理なし、而も能く彼等を驅御して高く我が地歩を占めて居る。萬有の使命は柳綠花紅、各其適應を生命とする。現代の我が國民は所謂歐米

賭ること萬有の生命と[illegible]現代の我が國民は所謂[illegible]的「文化生活」を理想として居る。生活難は實に此處から起るのである。若し鸞鳳の美を人類の理想とすれば人類は自殺の外は無い。我が國民は正義を以て世界に優勝の地位を占むべきである。正義は人類生活の統合的首腦であるからである。昔時農工商以外に士があつた。士は政治、法律、教育、戰事、道德を掌り、兼て農工商經濟の指導に任じた。卽ち國民の公僕であつた。而も其生活は國民之を保證し、自己亦高き地歩を占め、農工商生活にあこがれて苦む者も無かつた。所謂物質の豐美を意味する文化生活は農工商生活である。而して固有の民族性、立國の源委、國土の廣狹、競存の形勢等は實に民族的生命の關鍵である。大聲の爲めに腹膜を裂いてはならぬ。鴉が鵜の眞似をすれば溺れる。日本の適應は正義立國、卽ち士業立國である。農工商業に努力すべきは勿論なるも、立國の方針として正義を四方に敷くべき使命に趨り、以て世界に雄視すべきである。大道路、大建築、大公園、美衣食、美裝飾、みな我が絕對の生活條件では無い。たゞ自主的適應生活こそ眞の享樂であり理想に由る向上的努力こそ眞の幸福である。

産業立憲制と勞働黨

山田芙峰

普選が果して本年五月の總選擧から我國に卽行される乎（曩に五月の總選擧から普選が間違ひなく實施される樣に書いたのは謬りであつた）、それは今日のところまだ能く分らないけれども、普選は現內閣が非公式ながら我が國民に向つて公約した事であるから、早晩行はれることだけは明瞭である。政界の風雲は且夕を測り難く、どんな變局を現ずるかも知れないが、政府としては凡らゆる手段を講して其の貫徹實行に努むべきである。普選實施後、既成政黨と現在の議會とに相當大きな變化を生ずべきは、固より當然であるとして吾々の最も注意したいのは勞働黨若くは庶民黨の發生如何といふ事である。勞働總同盟では既に勞働黨組織の議を決し、本年三月東京に開催の全國大會に其の具體案を提出するさうで、議會政策否認の勞働組合聯合側にも、農民組合側にも、水平社の一派にも、普選實施後は公認候補を立てゝ議會政策に依り勞働者の福利增進と權利伸長を圖るべしと唱へて居るものがある。勞働組合の最も發達した英國でも、勞働黨が勢力を得る樣になつたのは最近の事であるから、我國に勞働黨又は庶民黨が出來ても、それが政界を縱斷して勢力の一半を占める迄には、相當の歲月を要することゝ思はれるが、兎に角普選實施後は勞働團體を土臺とした新政黨が芽生ゑて來ることゝ思ふ。これは寧ろ當然の成行である。

勞働團體の中には過激な思想を抱いた者があり、彼等は議會政策をまだるしとして直接行動を主張し、實行し、資本主義を絕滅して勞働者の手で産業を管理しやうと望んでゐる。サンジカリズムやワイ・ダブリユ

ー・ダブリユーなどは其の代表團體である、勞働組合の堅實に發達した英國にも、大事には至らなかつた様だが、昨年中石工、坡止場人足、機關工などの非組合運動が起つた。勞働組合が出來ると、それ〴〵規約を作り、その規約に依つて勞働者たる個人の自由を拘束することになるので、過激なものはツイ組合外に逸脫して自由行動を執らうとするのである。我國の勞働團體にも多少この左傾的色彩を帶びたものがある。それに較べて見れば、勞働組合を根幹として勞働黨若くは庶民黨を作り、その代表者を議會に送り、議會政策に依つて勞働者の福利增進と權利伸長を圖らうとするのは、遙に穩健でもあり立憲的でもある。此の故に普選實施後の我國に勞働黨なり庶民黨なりが芽生ゐるのは寧ろ願はしいことゝ謂はねばならぬ。我國はまだ勞働組合を公認しないが、一方勞働問題は益々世界的國際的となり、國際勞働會議には我國も勞働代表を派遣する事になつて居り、一昨年十月ゼネバに開かれた第四回國際勞働會議には日本代表の資格が問題となり、昨年十月のゼネバに於ける第五回國際勞働會議においても、同様の問題が起り、幸ひ修正案が成立して日本勞働代表の資格は認められたものゝ、日本政府が勞働組合權を認めぬのは不都合であるとの議論が高まり、右の修正案に依り我國も本年から勞働團體を滿足させる様な方法を採用せねばならぬ事になつた。此點から云つても、普選實施後に勞働黨若くは庶民黨の萠芽を見るべきは當然で、同時に我國も勞働組合權を認め、勞働團體を公認すべきものと思はれる。激し來る水勢を無理に堰き止めるやうな事をすると却つて益々水勢を激せしめ、意外な結果を招くから、政府は十分注意を加へて欲しい。

吾々は飽くまで勞資の協調を主張する。經濟上の自由放任政策は産業上に顯著な變革を齎らしたが、之がために資本家と勞働者の對立抗爭を生ぜしめ、勞資の爭鬪を激甚ならしめたのは、産業上寧ろ甚だ悲むべき事である。そこで我國でも加藤前内閣時代に勞働爭議調停法案を編成することになり、議會にその提案を見

る筈になつて居たが、此の爭議調停法案なるものは電氣、瓦斯、水道、交通並びに通信等の公益事業に對する爭議には强制調停をなし、その他の爭議には調停の申出でなき限り干渉せぬ方針を執り、而して其の調停委員には資本家、勞働者、官吏及び民間有志等より夫々代表的人物を選み、これに依つて委員會を組織せしむるのである。此の勞働爭議調停法案が近く議會に提出せらるゝことになれば、豫ねて問題の治安警察法第十七條は不必要になるので、調停法案と同時に治警第十七條を削除する改正案も議會に提出せらるゝ事になつて居た。米國には産業代表制又は産業立憲制とも云ふべきものがあつて、政治界と同樣、それに依つて勞資相互の利害を調和することになつて居る。各代表者は圓い卓子を圍んで打寛いて相談するやうになつて居るので、之をラウンドテーブル式と稱し、爭議上の問題は勿論、雇傭條件、賃銀、時間、其他産業に關する一切の問題を解決するのである。英國にも此の産業立憲制と同じやうなホイットリー委員會なるものが設けられたとか設けられるとかの話を聞いたが、これは先づ全國に共同産業會議を設け、その下に工場委員會を置くといふ仕組である。米國にはフランシス氏の如き勞働組合本位の論者もあり、また鋼製會社々長ゲリー氏の如き組合否定論者もあり、ロックフェーラー系の事業を初め其他の大事業は何れも勞働組合を認めて居ないが、英國は勞働組合本位の國なので、前記のホイットリー委員會も組合を本位とし、資本家も勞働者も組合を基礎として双互平等に代表者を選出し、これに依つて勞資の協調を圖らうと云ふのである。吾々は我國も勞働組合を公認すべきものと思つて居るが、縱令組合を認めないでも、勞資の爭鬪を緩和するがために爭議調停機關を設ける必要があるから、前内閣で立案した勞働爭議調停法案が議會に提出され一日も早く成文法とならんことを望むものである。此の勞資協調の見地からも、一方に勞働團體をして其の代表者を議會に送らしめ、彼等の意思を立法府に表現せしめ、政府をして種々の勞働立法をなさしめる樣にせねばならぬ

さうで無いと勞働者の直接行動と相俟つて勞資の爭鬪が段々激しくなるだらう。

こゝに勞働組合の最も能く發達したそして勞働黨の漸次勢力を得て來た英國の産業上及び政治上の變遷を一瞥して見るも無益ではあるまいと思ふ。それには先づ産業革命後における形勢の推移について一般的考察を下す必要がある。言ふ迄もなく、英國の産業革命は十八世紀の末葉から十九世紀の初葉にかけて起つた佛國の政治革命に匹敵すべき重大事件で、科學の進歩と機械の發明がその素因であり、思想的にはアダム・スミスやリカルドーの自由放任的經濟策論がその基調となつて居るが、之がために英國の商工業と貿易とは顯著なる發達を遂げ、人口が都市に集中し、商工都市の異常なる膨脹を來たし、その結果、從來中央及び地方に政治上の實權を握つてゐた貴族と地主の外にキャプテン・オブ・インダストリー卽ち實業の將帥若くは商工界の弱者が生まれ、自由主義の全盛と共に、それが政治上にまで勢力を伸張して來た。英國には古くからトーリー並びにホイッグズと云ふ二つの政黨があつたが、前者は地主黨、後者は商工黨とも稱すべきものであつて、それが段々時代化されて前者は今日の保守黨、後者は現在の自由黨となつた。グラッドストンからアスキスまでが自由黨の全盛時代であつた。然るに産業革命は今日の謂ゆる資本主義を生み、少數の富豪と多數の貧乏人、資本家と勞働者、ブルジョアとプロレタリアとの對立抗爭を來たし、貧富の懸隔を甚大ならしめ、勞働者の生活を非常に困難に陷らしめたので、玆に勞働問題が起り、勞働者の思想が惡化し、社會主義や共産主義が持て囃され、同時に種々の勞働運動が行はれる樣になつた。

英國の勞働運動は産業的と政治的とに分れて漸進して來たのであるが、産業的に勞働團體の糾合團結に努めたのはロバード・オーエンで、政治的に選擧權擴張運動に奔走したのはフランシス・プレースである。前者は資本家から社會改良家、次いで社會主義者と移り變つたが、後者は飽くまで自由主義、個人主義の人で

あつた。ブレースの運動に依り一八三二年に選擧權擴張法案が議會を通過したが、それは極めて制限的のものであつたのみならず、當時資本主義の勢力が益々旺盛となり、加ふるに不景氣や恐慌のために勞働者の生活が一層惡くなつたので、遂に一八三七年のチャーチズム時代を現出し、愛蘭人のオーコンナーなどが暴威を揮ひ、ゼネラルストライキやデモンストレーションの外に種々の暴力的破壞運動が演ぜられた。併しそれは總べて失敗に終り、一八五〇年頃から英國の勞働運動は次第に平和的、自主的、立憲的、建設的となつた勞働組合の發達と共に勞働者對資本家の爭鬪が頻繁に起つたが、資本家側も自ら組合を作つて同業者の團結を計り、勞資双方で互にその實力を認める樣になり、爭鬪的から多少妥協的に移つて行つた。此間勞働者の生活も大分良くなり、勞働組合が自然的合理的に認められ、そして政治方面には一八六七年と一八八五年の兩年に普通選擧が行はれる事になつた。勞働黨が芽生ゑたのは此時である。

時代の變化は保守黨にも自由黨にも刺戟を與ゑ、自由黨は一八四六年にコブデン及びブライトに依つて物價を高くし一般民衆の生活を苦しくした穀物法を議會で撤廢させ、保守黨はその翌年シャフツベリー伯に依つて勞働者のために必要な工場法を議會に提出して通過せしめた。保守黨は依然たる帝國主義だが、自由黨は自由主義に社會政策を加味し、勞働者のために養老年金制度、健康保險と失業保險より成る勞働保險、所得税や相續税を重くする社會的税制、不勞所得への課税、其他種々の社會的立法をなしたので、勞働者は保守黨よりも自由黨に親しんだ。然るに勞働組合の基礎が鞏固となるに至つて之を地盤に一八九三年に獨立勞働黨が組織された。それが勞働黨の芽生ゑで次いで一九〇〇年に今日の勞働黨となつたのである。此間人道主義と自由主義と社會主義を調味加合したやうなフエビアン協會の社會運動が勢を得、電氣、瓦斯及び水道等の獨占事業を市町村の公有と爲し、營利事業に課税し、其他社會政策に基く種々の施設をしたが、併し一

方に勞働者の直接行動も引續いて行はれ、歐洲戰爭前の一九一〇年から一四年の間には幾多の大規模なるストライキが演ぜられ、當時佛國を風靡したサンジカリズムの思想なども流れ込み、更にギルド●ソシアリズムが擡頭し、勞働者に依つて產業を自治すると云ふ產業上のデモクラシーが政治上のデモクラシーと相待つて勢力を加へた。而も他の一方においては工場委員會が出來、前に述べたホイットリー委員會の組織なども企てられ、各工場に働いてゐる勞働組合員を一單位としたショップ●コンミッテーなるものも作られ、總べてが組合本位となり、そして勞資互に代表者を出して相協定するといふ氣運も熟した。

以上は產業革命後における英國の產業上及び政治上の變遷を概記したのだが、吾々は我國に普選が實施せられた曉、勞働組合の堅實なる發達とそれを土臺にした勞働黨なり庶民黨なりが生まれて議會政策に依り勞働者の福利增進と權利伸長を欲するの餘り、敢て言を費したのである。產業的には米國における產業立憲制の如きものが作られ、勞資爭鬪は避け難いとしても、成るべく之を協調する樣にし、政治的には普選と共に勞働黨が起つて勞働者のために必要且有利な立法を見んことを望むものである。同じアングロサクソン民族でも英國人は米國人と違つて重厚で地味でネバリ強く隨つて自重心と自治心に富んで居るため、時々脫線する事もあるが、大體において漸進的に政治上及び產業上の變革を遂げたのであつて、要は民族性の然らしむる所である。然るに我々日本人は短兵急でセンチメンタルな所があるから、普選實施後、果して吾々の希望するが如き漸進的步調が取れるか否かは少しく疑問であるが、成るべく英國流に進みたいものである。左傾的の直接行動派を絕對に無くしてしまう事は不可能であるけれども、努めて過激に走らせぬ樣にし、政治上にも產業上にも立憲的行動を取りて平和的、自主的、建設的に步み行きたいものである。それには既成政黨を改造し、議會政治を明るくし、社會政策を總べての中核とせねばならぬ。

甲子新正

◆『不景氣〱で年を越しけり』で愈々甲子の大正十三年を迎へたがまさか新年匆々から不景氣呼ばりも出來まい◆貿易が逆調續きで正貨が漸減し金廻りが惡く目星しい事業が起らないのは不景氣に違ひないが一面から云ふと少し不景氣に食傷した氣味も見ゑる◆大正八年から九年四月までの景氣は空景氣で本景氣ではなかつたのだから當時を基準にしての不景氣呼はりは當らない◆今から思へば彼んな上ッ調子の空景氣はない方が好かつたのだが偖てそこが人間の淺ましさで兎角それが思ひ出での種になり當時を回想して何となく一層不景氣に思はれるのであらう◆空景氣時代の状態を物に譬ゑて見れば貧乏書生が大きな富籤に當つて有頂天になつたと同じで何がなしに浮かれ廻つたのだ◆當時の政府の放慢な財政策と金融業者の不謹愼な態度がこの空景氣を煽つたとも云へるが何しろ二十億圓といふ正貨が急激に増加したので誰も彼も黄金の海嘯に遇つて無我夢中になつて了つたのである◆此間にボロ會社がベタクサ出來る物價が暴騰する人間が贅澤になつて田舍の百姓までがおかいこぐるみになつて金時計をガチャ付けると云ふ始末だつた◆種々の犯罪事件や疑獄事件も此間に生じ綱紀は弛廢し風俗は紊亂し今日は帝劇、明日は三越といふ事になり何も彼も悉くうぢやぢやけて了つた◆總べてが幻影であつた空華であつたイャ蜃氣樓であつた高粱一睡の夢覺め一たび枕を手にして四邊を眺むれば暮色既に蒼然◆アッと思つても最早や及ばない丁度コケが水に落ちて慌てくさつて藻掻けば藻掻くほどますく深みに沈むと同樣焦れば焦るほど益々浮かばれない◆斯うして大正九年四月以後から謂ゆる不景氣風が吹き出しそれが十年になつても十一年、十二年になつても治まらず絶ゑずピイ〱風車を動かした◆物價がウンと下らぬ以上貿易の逆調はとても立直る見込みがないのに十二年九月初めに母國關東地方の一府四縣に稀有の震火災が起つたので減りかけた正貨が愈々怪しくなつて來た◆そこで大正十二年も不景氣〱で暮れにけりとなつたのだが空景氣時代に最もはしやぎ過ぎた滿洲には一層不景氣風が吹き荒み萬事停頓といふ形だ◆實状は洵に悲慘でこれを不景氣でないとは云はれぬが三年越しの痺れに不景氣癖がついてそ

れが神經に絡みつき不景氣病になつたと云ふ形跡も見れる◆色々遣つて見ても總べてが膏藥張りの彌縫策なので物に成らう筈なく何うも斯う不景氣では困ると遂には腕を組んでボンヤリ思案に暮れるといふ有樣◆これでは不景氣の上塗りをする樣なもので斯んな意氣地のない事では不景氣の直りッこはないイヤ不景氣といふ疫病神の退散する道理がない◆難破船のものが舩頭にしがみ付いて聲を限りに助け船を呼ぶやうに何うぞお助けお助けと只管救助を叫ぶやうになつたのも淺ましい限りだ◆救助の必要がないとは言はぬイヤ悶ぎ廻り過ぎて泥海のやうになつた滿洲の財界は慥かに救助の必要があるが不景氣病から出るお助けの唸りだけでは駄目である◆然らば何うすれば可いかと云へば空景氣時代の幻覺を一掃し病みて猶はこれに憧憬するやうな腐つた根性骨を叩き直し裸一貫の本來空に還つて遣り直すことだ◆過去に未練を殘さず惡夢であつたと思つたら貘に喰はせてしまひ大死一番心機を一轉して新たに近いところから運命開拓の斧を揮ふべしだ◆『人自ら助くれば天之を助く』で何といつても自治自助が根本だ社會は相互扶助で持つてゐるから自然に相扶け合ふやうになるが恃むべきは結局我れのみである◆そこで此の大正十三年からは不景氣呼はりも最ういゝ加減にして海嘯で荒された田地を新たに仕返へすといふ覺悟でドシ〳〵遣り直す事にしたい◆不景氣もこれを口癖にいふと一種の癖になり神經に絡みついて病氣になるから改曆と共にサラリと西の海に流すべしだ◆一心轉ずれば萬法もまた轉ず帝都の震火災には七年越しのいざりが急に起つて走り出したと云ふ話で神氣一轉すれば難病も平癒し不景氣病も癒ると云ふものだ◆空景氣時代のやうな奥底のない太平樂の樂觀に走つても困るがイヤに悲觀して了つて溜息ばかり付くのは自ら好んで益々不景氣を增長させる樣なものだ◆浮華放縱の戒むべきは勿論で今後は勤勞主義を第一條件として萬事質實にぢり〳〵と新規蒔直しをせねばならぬが併し吝ッたれになつても困る◆消費通貨も節約して資本通貨を增加せしめ謂ゆる更始一新の覺悟を以て勇敢に正直に男らしく直前邁往すべしである◆甲子は更始に通ず甲子の大正十三年こそは更始一新の實を擧げ不景氣を愚痴らずに晴々とした氣分になつて立替へ蒔直しに努むべしである。

社會政策に就いて一言す

法學博士　志田鉀太郎

社會政策とは讀んで字の如く社會に對して國家が行政上執るところの政策であると思ふ。然らば社會に對して國家が執るところの政策は總て皆社會政策であるかと言ふに必らずしも然うばかりとは限らない。今日普通に社會政策と言へば極狹い意味において社會に對する國家の政策を指して居るのである。例へば、今日は富める者が益々富み、貧しき者は愈々貧しくなつて、社會及び國家の中堅たるべき中產階級が次第に減少して行くが、此の貧富の懸隔を防止せんが爲めに國家が執るところの政策、之を以て社會政策と稱して居る右は通俗に解釋されて居る意義であるが、之を學理に照らして見るときは、正當なる解釋とは認め難く、社會政策なるものはそれよりも尙ほ一層廣い意味を有するものでなくてはならぬ。則ち社會の各方面において均衡を失して居る種々な事柄、つまり社會正義（ソシアルジセスティス）の見地から觀て、不當に均衡を破つて居る種々な事柄に對し政府が之れに干渉して合理的の情態に復歸せしむるところの諸政策、是れ皆謂ふところの社會政策の中に入

先づ我邦目下の情勢において最も不均衡の甚だしき社會現象は何かと言へば則ち貧富の懸隔である。輓近資本主義の發達は貧富の懸隔を倍々甚だしからしめ、巨富を擁する資本家は彌々榮え、他方資力なき無産階級や勞働者は之に反して貧困に逐はれ、日々の生活の安定すら常に脅かされ勝である。國家が之に適應すべき政策を一刻も速かに確立せねばならぬことは言ふまでもない。獨り經濟上のみならず、政治上、産業上其他の方面に於ても社會政策の施設に俟たねばならぬ事が多い。從來社會政策と言へば、經濟的方面に限られたるものゝ如くに思惟せられ、また社會政策といへば勞働政策と云ふやうな風にも考へられて居つた樣だが今日の社會政策はその範圍が擴大され、財産上の制限を撤去して普通選擧法を施行せんとする政治上の問題の如きも、廣い意義においての社會政策の一に算へることが出來ると思ふ。

次に太だしく權衡を失して居るのは男女兩性間の地位の問題である。兩性間の問題は昔に遡るほど不合理不均衡が甚だしいが今日に至るも尚ほ全く解決されない。我國の如きは其の最も甚だしい處である。然るに敎育の普及するに伴ひ、女子も男子と同樣の敎育を享けて其の地位が向上し來り、漸次自己の社會的地位を自覺し來つたので、今や此の婦人問題も社會問題の一となり、國家は速かに之を匡救處理すべき策を講じなければならぬ事になつた。女子が自覺せざる間は問題とならなかつたけれども、既に覺醒して問題となつた以上、國家が適當なる對策を立つべきは其の當然の責務である。彼の勞働政策の如きも勞働者の自覺と相待つて進んで來たのである。男女の關係は多少の例外があるとしても、昔は今日よりも一層その不均衡の度が甚だしかつたにも拘はらず、女性の自覺が缺如して居つた結果、何等の問題も起らなかつたが、女子敎育が普及し、女子も益々覺醒して來つた今日、モハヤ其の對策を等閑に附することは出來ないのである。それから現時民衆の間に存在する種々の特異な階級もまた攷究を要する一問題である。社會の一方には特權階級な

るものがあり、他の一方には特殊部落などの階級があり、此等は多く久しい間の因襲によつて今日に齎らされたものであるが、之が爲め我國の社會が大なる不均衡、不利益を招徠して居るのは事實であるから、之を矯正するが爲めにも社會政策の必要があると思ふ。其外にまた閥と云ふものが社會に蟠まつて居る。其の中の藩閥は時勢の進運と共に漸次滅亡に傾き來つた觀があるが、尙ほ他に學閥もあれば黨閥もあり、種々雜多な閥が社會の各方面に根を下し、それが蔚然たる勢力を成して居る。之より生ずる弊害も決して鮮少でない此等も社會政策の洗禮を受けて一新せなければならぬものである。

我邦の社會は維新以來今日に至るまで急轉直下の變革を經過して來たが、其後世界の大勢は目醒ましき進展を遂げ、我國の如きは猶ほその進歩に及び難い有樣である。社會政策に至りては殊に遲れてゐる。されば我國の政府當局は、緊褌一番、徹底的に幾多の社會政策を斷行して今日我國の上下に瀰蔓せる時弊を濟ふことに努めなければならぬ。然らざれば內は民意を滿足せしめ難く、外は世界の大勢に遲れ、歐米列國と共に世界の活舞臺に起つて馳騁するの甚だ難きを感ずるに至るであらう。

滿洲において我邦は如何なる主義方針の下に社會政策を施行しなければならぬであらう乎。大體において前陳の諸政策と異れる特殊の社會政策を執らなければならぬと云ふ理由は見出されないが、然し滿洲は日本內地と異なつて居るし、支那人社會の事情も參酌せねばならぬであらうから、その執るべき社會政策は勢ひ多少特色を帶びたものになるであらうと考へる。滿洲は素より日本の領土でない、他國の領土に據つて日本人が經濟上、政治上、社會上の勢力を扶植して居るのであるから、支那人に對しては勿論、他の諸外國人に對しても成るべく共通した社會政策を行ふことが極めて緊要であると思ふ。私は滿洲の門戶を開放して世界的に色彩付けると云ふことが滿洲經營の根本義であり隨つて社會政策も此の根本義に基礎を置くべきものと

考ゐてゐる。日本人は素よりのこと、支那人と言はず、歐米人と言はず、總ての國民に向つて滿洲を開放し一樣に生活の安定を得せしめ、生を樂しみ生に聊んずる樂天地たらしむることが、我邦の採るべき對滿政策の要諦であると同時に、またそれが其の社會政策の妙諦であらねばならぬ。苦力といふ特殊の勞働者があつて各方面の事業に極めて安價な勞力を供給してゐる所から考ゐて見ても、支那本部における勞働問題の傾向と共に、之に對する適當なる政策を樹てる必要があると信ずるのである。

今日は滿洲問題も單なる經濟的見地のみより觀ずして社會政策的見地よりも觀るべき時である。されば日支人間及び世界各國人間に於ける不平均不權衡は成るべく之を芟除するに力め、利權爭奪の如きも之を絶滅し、各國人をして倶に四海一家の共同生活を營むべき樂天地たらしめねばならぬ。是れ滿洲に於ける我が社會政策の根本義でなければならぬ。今や我が内地に於ても特權階級の撤去や參政權の平等問題等が叫ばれて居る。此の傾向から云つても、日支人を中心に世界の各人種民族を包容すべき滿洲においては、謂ゆる共存共榮を社會生活の中核とし、更に進んで人類社會の共同福祉を增進し、一種特色を帶びた文化社會を建設すべきである。卑見を以てすれば、日本は滿洲において眞正に列國人と四海同胞の意味に適へる接觸提携の實を示し、彼をして我に同化せしめ、我もまた彼に同化し、その間一點の隔意なき樣にし、そして滿洲を以て全世界の人々が自由に且平和に融合和樂し得る搖籃(クレードル)とし、永く之を後昆に傳ふべきものと考へられる。それには政府の對滿洲策と對支外交とに刷新を施すは勿論、滿洲に在る日本人はその襟懷を廣くし、度量を大にし、そして國際心と共に十分に社會心を練ることにせねばならぬ。

次に社會政策の濫用といふ事に關して一言して見たい。社會政策と言へば、單に强いものを抑ゐて弱いものを扶けることゝ考ゐ、甚だしきは資産家を强迫するのが社會政策なりと思つて居るものもある樣だが、こ

れは甚しい謬見である。社會政策なるものは其の様なものではない。國家が社會に於ける或る不平等不權衡の點に着眼して、之を匡正する必要上執るところの施設が社會政策であるから、大體において强者を抑ね弱者を扶ける事になるが、資本家を敵視し資産家を强迫するのが社會政策であるとは言へないのである。縱ひ社會の不均衡なる點に於て社會政策を施すを至當とする問題があつても、問題それ自體は社會政策とは言ひ得ないのであるから、例へば資本家對勞働者の問題の如きも、之れより生ずる勞資爭鬪の如きも、直ちに之を社會政策的見地より觀るべきものでなく、此間の協調を圖るべく國家が政治上施行する點のみが社會政策となるのである。若し國家が行政上之に立入らぬ場合又は之に立入るべきものでない限り、其の資本家對勞働者の問題は社會政策に屬せざる單純なる社會問題に過ぎないのである。

各種の社會問題を考慮するに當つては、其の問題が果して國家の政策を以て處理すべき性質のものなるや否や、此點を商量することも極めて必要である。若し國家の政策を以て處理すべきもので無いならば、それは各當事者間の問題として之が解決を個人の自由意思に任せ、道德上の立場から裁量斷定すべきもので妄りに他人の自由意思に拘束を加ふべきでない。人の自由は飽まで尊重しなければならぬ。抑制や拘束を猥りにしてはならぬ。殊に道德上の問題に附いては他人を强制すべき途が無いのである。それは各人の自由意思の問題として扱ふより外ない。社會政策は自由放任政策と違つて或程度の干渉をなすものであるが、併し個人の自由を蹂躙するのではなく、寧ろその自由を尊重するものである。弱い者のために强い者を挨つても可い無産者のために資産家を迫害しても可い、女子のために男子に反抗しても可いと云ふことになれば、社會の秩序はこゝに全く破壞せられ、徒らに混亂情態に陷るばかりである。國家の政策を以てする以上は、强制的に[illegible]るが、其の以外の事は各人の自由に委して道德問題として解決するよ

り外ない。此の範圍を逸脱しての社會政策があり得やう筈はないのである。

今回の震火災後火災保險問題が起り、罹災被保險者が保險會社に對し、謂ゆる地震約款により地震に因る火災を除外して居る約束のあることを棚へ上げて、保險金の支拂を要求するが如きは、罹災者に對する保險會社の同情を强制せんとする弱者の横暴の一事例と見て可からう。將來斯る運動が多く行はるゝならば、遂には無法律、無秩序、無規律の社會を現出するの端を啓かぬとも限らない。同情を寄すべき位置に在るものは自己の自由意思に基いて其の同情を能ふ限り發露させなければならぬ。同情を受ける立場に在るものは縦令之を受け得ざる場合があつても其の場合を考へて已むを得ざるものとして諦めなければならぬ。此間國家の政策として之れに干與すべきものか否かは隨分精究を要する重要問題であらうと思ふ。今日まで之を穿き違へた爲めに屢次物議を醸したことがあるが今後も社會の各方面において此種の問題が簇出するに違ひない私は飽くまで社會政策の必要を認めるものであるが、世間には往々社會政策の意義を誤解する者があるから社會問題と社會政策のために敢て此の一言を試みた次第である。

近代都市の運動場と公園

國際田園都市計畫協會々員　黑谷了太郎

人間は家庭において圓滿なる生活を營むことが根本的に大切な事柄であるが、多數の人が相寄つて都市生活をなす以上、家庭と同一の精神に基いて更に大きな家庭を作り、他の家庭と共に仲好く交際し、互に智識や必需品を交換したり、互に運動をしたり、互に慰安や娯樂を倶にして氣持好く愉快に暮すべきものと思ふ

さもなければ都市の意味をなさないのである。されば都市計畫としても其の要求に從つて市場や街燈や上下水道や塵芥處分場に關する計畫を立てなければならぬ譯で殊に下水と塵芥の處分は昔と異つて第一に考慮すべきことである。昔ならば屋敷が相當に廣かつた爲め各戶において夫れ〴〵處分の方法を立て、都市全體の問題とは云へなかつたが、今日においては最早や個々の問題として放棄して置く譯に行かぬのである。併し今それ等の細目に就いて一々論じた場合には殆んど際限がないから玆には之を省き、先づ以て都市の精神に從つて社會共同生活の思想を養ひ、そして其の共樂の機會を與ふる所の機關、殊に運動場と公園とについて一言したい。之は都市としては特に必要缺ぐべからざるものであるからだ。

昔から市民の相集るところ此種の慰安娛樂機關は何處の都市にも作られてあつた。希臘の都市に於ては「アゴラ」とか「プニックス」とか神殿とか劇場なんかが澤山に設けられてあつて、羅馬ですら「フォーラム」や神殿や公共浴場があつた。我國においても其の爲めに氏神があり、鎭守があつて、時々集合して社會的生活を助けて居つた。處が我國の村落には多少昔の好い風習が遺つて居るけれども、都市においては此の風習が全然消失し、隣人が何處の馬の骨か分らないといふ有樣で、殆ど共同生活を沒却してゐる。人を見たら泥棒と思へ、と云ふやうな非社會的の訓戒を守つて居る人さへあるが、之れ決し日本の精神ではない、大和魂ではない。「ヤマト」の「ヤ」は多數を意味し「マト」は團まることで團欒を意味するが、之れに漢字を當て箝めて大和と書く。大和とは大なる和であつて、大勢の人が互に相和樂すると云ふ意味、畢竟する所、皆が仲好くすることである。大和魂は日本の精神で、人を見たら泥棒と思へと云ふのは、我利階級の標語に過ぎない。されば都市の生活も農村の生活と同じく鎭守なり氏神なりを中心として社會的生活をなすべきものと思ふ。然るに鎭守も氏神も今日においては心なき人の爲めに大いに侮辱せられて我々同樣小さくなつてしま

つて居る。甚しきは屋根の上に載せられて居る。私は神社を市内到る處に都合好く配置して、其の境内を擴げ、其處に神樂堂も音樂堂も建て、角力場その他の競技場や舞臺等をも設け、休憩所や集會場をも作り、之を其の界隈の社會的中心としたいと思ふ。祝祭の如きも從來の典型に捉はれないで年々新らしい趣向を添へ文化を加味した行列や催しを行ひたいものと思ふ。但し猥褻思想を宣傳する萬歳や野卑な觀物は全體禁じなければならぬ。以上は都市における一般的の慰安娯樂機關について述べたのだが、之が出來なければ、今日の小學校を社會的中心として、其處で子供は勿論、父兄も時々集合して講演會なり、相談會なり、演藝會なり、運動會等を開催することにしたい。斯うした事柄も都市計畫上最も必要であると思ふ。之が爲めには學校の設備も之に適當する樣にしなければならぬ譯で、無論運動場を增したり、花園を作つたり、雨天體操場等を設けたり、その他それ〲必要なる設備をして、色々と工風せねばならぬ。併しながら其の外に都市として最も切要なる社會的機關がある。それは運動場と公園とである。

此の運動場や公園は今日の都市計畫上最も重要なるものであるが、それにも係らず、之を以て第二次のものとなし、鐵道や運河のやうに緊要なものでないと云ふ人がある。之れは人間の健康や元氣の大切なることを知らないから、また健康や元氣の養成に慰安とか遊戲とかの有要なる所以を知らないからである。ずるずるべつたり油を賣りつゝ仕事をなすものは慰安や遊戲の必要を知らないのである。仕事をなしつゝ始終遊んで居るので特に遊戲するの必要を認めないのである。處が世の中が眞劍になつて一生懸命に働かねばならぬ時代になれば一生懸命に慰安を求めて疲勞の回復を計らなければならぬ時代が來る。慰安といふ言葉は甚だ力のない言葉であるが西洋ではrecreation卽ち再び造ると云つて居る。軀や精神を作り換へることである。其の慰安機關が第二次的のものであると云ふのは好い加減に働いて居れば宜しいと云ふのと同然である。活動

はせよ、併し慰安は餘り必要はない、と云ふならば、市民をして神經衰弱になれと云ふのと同然である。私は市民をして神經衰弱たらしむるに忍びない、そして大いに活動して貰ひたいが故に、慰安機關は都市計畫上大切なものと信ずるのである。殊に私は小國民、小市民をして潜勢力や元氣を養成せしめて將來國家の爲め活動して欲しいと思ふが故に運動場の如きは最も切要なものと思つて居る。

然るに今日は運動場と公園とが混同せられて居る傾きがある。西洋でも日本でも運動場は公園の片隅に作られて居り、そして公園の風致を害して居るのみならず、運動場としての目的をも全ふして居ない傾きがある。之は兩方の職分を了解しなかつた時代産物であつて今日から見れば甚だ間違つて居るのである。兩方とも市民の保健と慰安とを目的とするものであるけれども、公園と運動場とは健康の保全方や慰安の與へ方を異にして居り、一方は靜的であり、他方は動的であるから、隨つてまた形においても非常な相違がある。されば之を一處に置くといふことは不調和もまた甚だしいのである。

運動場は西洋の「プレー・グラウンド」の事であつて、遊戲場と云つても宜しいが、要するに遊戲をしたり運動をしたりする場所である。昔のやうに空地や野原が澤山あつたり屋敷が廣かつたりした時代は、特に運動場を要しなかつたかも知れないが、今日の都市には容易に空地も野原も見出されない、そして市中は建物を以て充ちて居り、子供や青年の遊場なんかは皆目缺乏して居る。已むを得ず道路で遊ぶ。道路で遊べば子供は道路にて遊ぶべからず、と云つてお巡さんに注意を受ける。窓先に立つて遊んで居れば主人に怒られる。室内で騒げばお母さんに叱られる。然らば子供は何處で遊ぶのであらう。折角神の與へた活動力を如何にして發達さすのであらう。名古屋の子供は皆な鶴舞公園まで行かなければ思ふ存分に遊ぶことが出來ないのであらう乎。大阪の子供は皆な中の島や天王寺まで行かなければ遊べぬのであらう乎。さもなければ家に

入つて小さくなつて大人しくして居らねばならないのであらう乎。小さい時から鬱勃の活動力を抑へて病人の様に大人しくして居ると、段々元氣が衰へて生白くなり、遂には本統の病氣となつてしまひ、迚も萬里遠征を企つることなんか出來ない。迚も世界を股にかけて日本の發展を助けることは出來ない。迚も日本の商工業の海外發展を企圖することは出來ない。商工的發展は市民の元氣に待つべきものであるが、其の元氣は如何にして養成するかと云へば、子供の時の溌溂たる活動力を發達せしめなければならぬことは勿論である子供の活動力は之を善導して體力の訓練や善良な遊戯や精神の修養等に仕向けなければ必ず不良なる方向に向ふのである。田舍には遊ぶ所が澤山ある爲めに滅多に不良少年はないが都市においては遊ばんとしても適當な遊戯場がない爲めに遂に不良少年になつてしまう。少年の不良行爲や犯罪の始めは自然の與へた力の噴火口に過ぎないと云はれて居るが、此の力を惡い方面に洩らすことに依つて愉快を覺え、つい之れが習ひ性となつて、警察や裁判所の御厄介になるのである。そうして長ずるに從つて益々惡くなり遂に都市の不安を招くことになるのである。此の不安から都市を救ふにも、遊戯場や運動場と云ふものは最も緊要なものであつて、決して第二次的のものではない。殊に積極的に市民の健康や元氣を養生して將來の發展を期せんとせば小市民や青年の爲めに遊戯場や運動場の缺くべからざることは甚だ明かなことである。運動場は運動その物の爲めに必要であるのみならず幼少年の社會的中心としても緊要なものである。界隈の幼少年が一定の場所に集つて顏を合せて睦まじく話を交はすことは、其れ自身一種の社會的運動の一つであつて、仕向け様に依りては之が爲めに共同の精神や相互扶助の思想や或はまた軍隊的規律等をも自ら養はれるのであつて、特に勞せずして之がために色々の社會的效果を奏すに至るものである。

然らば其の運動場は如何に計畫するかと云へば其れも種類に依りて趣を異にしなければならぬ。普通の運

動場は幼年と青年とを區別するの要がある。幼年の運動場は小さくとも宜しいから四五町毎に一つ宛欲しい青年のは相當大きいものでなければならないが之は十町か十五町毎に一つの割で欲しいものだ。其のうへ聯合運動會をなし得るやうな大なる運動場即ち多數の觀客を收容し得る大運動場も必要である。其れが爲めには丘陵地の谷間を利用し其處に希臘都市に於けるが如く大きな「スタディアム」を築造したならば最も理想的であらう。日本の運動場は皆平地に設けられて、一部の人しか觀られない様になつて居るのみならず、甚しきは態々圍ひを施して少數の人しか見せない様にして居るものもある。故に運動會や競技會があつても逆も見られないものと諦めて之れに親しまない傾きがあるのは誠に殘念である。運動場は市民が悉く參觀することの出來るやうに是非とも傾斜地を利用して「スタディアム」を計畫することにせねばならぬ。また各運動場にには競技者と觀客の年齡に相當する設備を要すること勿論である。其處には公園のやうに澤山の植込みは要らないかも知れないが蔭を作ることは是非とも必要である。

公園は從來都市の裝飾品の樣に考へられて居つたので、軀よりも金の時代、又は生命よりも財產の方が貴いと思ふ人には、餘り必要に思はれないかも知れないが、今日の公園は決して都市の裝飾だけではなく、人間の健康と精神とを再造する上に缺くべからざるものとなつて居る。若し命よりも金が貴く、金を儲けることのみが人生の目的であつたならば、健康や精神の再造も必要なく、公園もまた不必要かも知れないが、人間は慰藉なしには生活出來ない。活動すればするほど休養と慰藉とを要求する。一體活動と云ふことは何であるかと云へば軀や頭の細胞を消耗することである。若し休まずに働いたら軀の組織が破壞せられて打倒れてしまう。休養と慰安とがあつて始めて其の消耗せられた細胞を補ひ再び働くことの出來る樣になるのである。其の回復が少なければ仕事の成績も少なく、其の回復が大なれば快く働らけ、快く働けば仕事の出來高

が非常に多いと云ふことになる。換言すれば、休養と慰藉が少なければ仕事の能率が少く、休養と慰藉が多ければ能率が高いので、西洋の工場においてはチャント之を研究して職工の爲めに色々の慰安機關を設けて居るが、職工を使用する上においても其の方が利益である。慰安の道は澤山ある。人に依つては料理屋で一杯飮むのも慰安かも知れないが、多くの場合それは却つて財嚢を破り身體を破りて慰安にならぬ。「キネマ」や芝居を見るのも慰安であり、庭園を弄ぶも慰安であるが、併し人間は廣々とした處に出て外氣を吸つたり青々とした天然自然の面影を眺めたりすることが非常に必要なのである。然らば郊外に出さへすれば宜しい何ぞ必ずしも公園を要せんと云ふかも知れないが、其處が人間で、人間は唯々それだけでは滿足出來ないのである。人間としては時々郊外に出ることも必要であるが兎も角も一定の集合地を要求するのである。之が卽ち人間の人間たる所以で人間の最も美なる點である。人間は獨りで生活出來ない動物であり、集團を好む社會的動物であつて、その故に村が出來、都市が出來、また其の故に進歩もし發達もするのである。幾ら個人主義の人でも獨り野外に出てあちこち眺めても充分に慰安は得られないだらうと思ふ。矢張り人の集る處に行つて人の樂しむ處を見たり、藝術的配置について綺麗な花や綺麗な人なども見乍ら淸らかな外氣をも吸つたり、淸らかな人の遊びを見たならば、心も軀も自ら回復するのである。此の目的で天然自然を甘く配置したのが卽ち公園である。公園は最も多く天然自然を利用し最も低廉に愉快を供給する最も民衆的な藝術である。世の中が忙しくなつて、陋穢な處で一生懸命に事務や勞働に從事することになると、新鮮なる空氣を要求したり、淸々した天然の景色を要求したり、何等か意志を轉換すべき美的環境を欲するものだ。之が都市になると公園に待つより外はない。されば文明に赴くに從つて公園熱が盛んになり何うしても無くてはならぬものになる。之を以て西洋の都市においては公園その他の自由空地の面積が都市の面積の一割乃至二割

もある。統計家の説に依れば公園面積の廣い都市には肺病が少いと云ふことだ。然るに名古屋の公園は市の面積の六厘しかない、東京に於てすら三分に過ぎない、肺病の多いのは少しも怪しむに足らない。併し公園の必要なる所以は唯之れ丈けでは無い。實に公園は一面に於て市民の倶樂部であり社交上缺ぐべからざるものである。要するに家族を率ゐて遊ぶも公園であり、親しき友と散策するのも公園であり、市民大會を催すのも公園であり、また公開演説を開くのも公園である。最も民衆的な音樂會や演藝會や活動寫眞會が開かるるのも公園であつて市民が市民と共に眞に平等の樂を頒つのは公園である。市民は都市成立の精神に覺醒し互に共同一致の必要なることを覺り、眞に相助け相樂しむことが人間の最終の目的であることを知つたならば、公園が都市において幾つもなくてはならぬことを悟り得るだらうと思ふ。

其の公園にも色々種類がある。若し公園なるものが公共運動場を除く總ての公共空地を意味するものならば其の種類は非常に多くなる。若し記念碑を有する廣場より「グリン」とか「オヴアル」とか「クレセント」とか云ふ様なものも網羅したならば大變な數に上るであらうと思ふ。併し之を大別すれば設備の單純なものと複雜なものゝ二種に分つことが出來る。單に記念碑や記念像を有するに過ぎないもの、唯々草や木を植込みたるに過ぎないものは前者に屬し、其の他に曲線道路もあり音樂堂もあり、色々園藝的に施設せられたものは卽ち後者に屬する。前者が若しも單に自由空地と云つて公園と區別すべきものであるなら後者は公園と稱して宜しからうと思ふ。其の公園も市內公園と郊外公園との二種に區別することが出來る。市內公園は市街の中に造らるべきものだが其の環境に對し調和を取るの必要がある。私は餘り整形的のものは好まんけれども周圍の建物が洋館であつたならば矢張り整形的にした方が宜しからうと思ふ。其處には四季の花が絕えない樣にする必要もあり音樂堂や其の他の設備も是非必要である。茶店も必要であるが日本の公園の樣に其

れが澤山あつては「スポイル」する許りである。之は一〇か二〇あれば澤山だ。其の數は人口の多少に依りて決せらるべきである。之は市民が接近し得る範圍に計畫しなければならぬ。

郊外公園は成るべく廣く成るべく自然的でなければならぬ。其の位置は寒風の風上にあれば最も宜しい譯であるが都市が大きければ東西南北になければならぬ。其處には山もあり森もあり川も池もあれば甚だ結構である。また其處には腰を掛くべき「ベンチ」よりも橫臥し得るやうな奇麗な廣い芝生が必要である。其處に開拓せらるべき道路は大小各種を必要とするが孰れも餘り整形的でない自然的なものを要求する。若しも其が丘陵地であつたならば其處に野外劇場や音樂堂の樣なものも必要である。斯樣に各種の公園を統一的に配列し、其のうち主なるものは公園道路を以て連絡することにせねばならぬ。此くの如くにして公休日や祭日において市民が悉く此等の公園に出て相共に樂しく遊び得るやうにエデンの花園の如き樂園を作ることが實に都市計畫の最終の目的であらうと私は信ずるのである。

祖先崇敬と神社制度

立教大學長　元田作之進

我邦に於ては祖先崇拜と神社制度とが重大なる關係を有して居る。神社は國家の祖先を崇敬する機關であるから、神社制度なるものは此の特殊なる國民の精神涵養上大なる援助となるものであることは勿論であるが然し爰に考慮を要する點は、一般國民をして神社に祭祀してある謂ゆる御神體なるものと祖先の靈そのものと同一であると云ふ觀念を抱かしめぬやう指導しなければならぬ事である。神社の神體を通じて國祖の靈を

想ひ起さしむると云ふ事ならば支障ないが、神體その者を以て直ちに祖先なり神靈なりと信ぜしむることは幼稚なる宗教思想を意味するものであつて、現代の文明國民としては肯定すべからざる舊思想である。外國人をして我が國民を輙もすれば偶像崇拜の國民なりと嘲笑せしむる所以のものは爰に存するのである。我等は祖先を神として禮拜するに非ずして國民の祖先として崇敬するのである。禮拜と崇敬との間には大なる差別がある。神に對つて爲すべき行爲は禮拜であり人に對つて爲すべき行爲は崇敬である我邦にては古來偉人を神と崇めて居るが其の神なるものは基督教の神とは意義を異にすること言ふ迄もない我邦の神は祖先の靈而も偉大なる德望あり勢力ある祖先の靈を指したものであることは現に多くの國學者の說にも見られて居る。此の意味において我等國民は祖先を崇敬するのである。神と云ふ語に關しては議論もあるが、それは要するに用語上の議論に過ぎないのであつて、精神上において神社は祖先の靈を祭祀崇敬する場所である。政府當局に於ても公然さう釋明して居るのである。

我等は人が死亡した後に其の人が生存時よりも更に偉大化すると云ふことを信じ難いのである。例せば生存してゐた當時の楠正成の靈も、死んで了つた楠正成の靈も、同一の靈であつて、死んだ後に偉くなつたのではない。未來の靈は現世の靈よりも力強くあり、變通自在であり、此世において殆ど爲し能はざる事を爲し得ると思ふのは迷信である。故に神社に參拜して客觀的に其の神靈の保護を仰ぐと云ふことは如何であらうかと予は考へる。習慣的に自から强められ、自から勵まされ、自から勇氣付けらるゝことが有るとしても客觀的に人としての祖先が彼世よりして現世の我等に奇しき或る力を與へると云ふことは信じ難いのである予は祖先崇敬を主張するものゝ一人で、之を飽迄も我が國民性の特長として維持したいものと考へて居るが然し祖先崇敬の精神を誤まつて之を祈禱の精神と解し禮拜の形式と看做すに至つては、誤解の甚だしきもの

で、今日文明國の中に算へらるゝ日本國民たるものゝ當に慎まなければならぬ所であると思ふ。要するに祖先の功徳を讃美し、祖先の遺業を記念し、之に對つて感謝の意を捧げ、其の遺業よりして我等子孫に大なる教訓を享けると云ふやうな意味において祖先を崇敬することならば、神社も多く建立すべし、其の設備も壯麗に整ふべし、國民は常に神社に詣でて大いに崇敬の精神を發揮すべきであるが、此の範圍を逸脱しては宜しくない。同時に我等の希望する所は神社の社名と祭神の神名と同一にせられたい事である。現在は彼是相異なるが爲め種々なる誤解を生じ易い。例へば稻荷神社と言へば狐を祭れる神かの如くに誤解するに至つては沙汰の限りである。稻荷神社の祭人は何人であるかと言ふに、場所によつて多少の相違があつても、多くは實稻魂（うかのみたま）で、その他歴史上に現はれた偉人即ち國民の祖先を祀つて居るのである。故に其の祭られたる偉人の名を以て直ちにその神社の社名とすれば、名實相伴つて何人にも判り易く、隨つて迷信に陷ること無きのみならず、斯くしてこそ眞實に祖先崇拜の實を擧げ得るであらうと考へる。

從來政府に於ては明かに神社と宗教とを別物として扱つて居る。則ち神社は神社局に於て之を管理し宗教は宗教局に於て之を管掌して居る。一は内務省、他の一は文部省の管轄下に屬し、二者各々性質の異つたものである事を瞭かにして居る。然るに此の二者を斯の如く區別するのは政府の方針たる丈けで民衆の間に於ては斯の如く解釋して居ないものが多い樣だ。神社を以て神道と稱する宗教の一機關と認めて居るものもあるので神社に參詣する行爲を以て宗教行爲と信じて居る。政府の方針と民衆の觀念との間に斯く一大溝渠の存することは遺憾千萬である。之が宗教家と地方の行政官或は市民の大多數と意見の衝突を來す原因であるから政府當局に於ては更に一層明亮に神社制度が宗教制度に非ざることを國民一般に周知せしむる方法を講ぜられんことを希望せざるを得ない。或は文部省又は内務省に於て此等の事項を簡明に記したパンフレッド

樣のものを發行して、之を全國の學校、役場或は青年團等に配布し、其の意の在る所を曉知せしむることも社會政策上忽視すべからざる一要件であらうと思ふ。此事さへ明白に決定すれば、基督教又は佛教の信者が神社に參詣するとも、或は其の儀式に參列するとも、それは寧ろ當然の行爲と認められて、人をして何等奇異の感を起さしめざるのみならず、靈魂不滅を信ずる彼等佛教徒なり基督教信者なりは、却つて一層深き意味に於て我等の祖先に對し崇敬の念を表するに至るであらうと信ずる。

勞働者の銀行經營

米國勞働ユニオン第四十三回總會は昨年末擧行された該總會で發表された諸多の報告中同ユニオンの銀行經營に關する報告は特に興味あるものであるが今其の大要を聞くに米國勞働組合の經營に係る銀行は現に十五の多きを算しその資本總額約四千五百萬弗であつて近き將來に二十八の新銀行が設立せらるべく就中インデアナポリスに設立さるべき資本額百萬弗の勞働銀行には現米國炭礦坑夫組合會長ジヨン●ルイス氏が就任の豫定である同氏は目下米國勞働界の闘將として比肩すべき人物なしと言はれる人である抑々米國勞働ユニオンが銀行を經營するに至つた動機は大戰直後の多數のストライキが一二の例外を除き悉く失敗に歸した經驗から考へて産業を支配する力は資本であるとの結論に達した結果傳統的武器たる同盟罷工にのみ依頼せず一方直接産業經營に參與して勞働狀態の改善を計るを最善の策なりと信ずるに至つたからである一例を擧ぐれば千九百二十年のストライキに際し被服職工組合は同會長ヒルムン氏の意見に基き從來蓄積せる組合基本金を利用し整然たる産業經營の用意を背景としてストライキを初め當時唯一のストライキ成功者として勞働運動に一新機軸を出したのである併し乍ら此種の運動に對する批評は幾分懷疑的なることを免れない例へば組合所屬の勞働者は之を目して勞働者間に特權的一階級を作る傍ら彼等をして資本家的偏見を抱かしめて勞働者の地位向上に對する不斷の努力を鈍らす恐れがあると言ひ又左傾勞働者は其の最終の目的たる資本共産の實現を遲延せしむる所以であると唱へて居るが大多數のものは産業經營の參加に贊成するであらうと觀測される。

貯金と貸付との庶民機關

研究資料

信用組合の本質と其の事業

我國には質屋、高利貸、無盡講など云ふ庶民金融機關があり大連其他の信託會社などで遣つてゐる積立會の如きも頼母子講の變形した樣なもので之も一種の庶民金融機關と云へぬ事はないが併し日進月捗して已まない當今の社會において斯樣な舊時代の遺物とも云ふべき不完全な庶民金融機關で滿足の出來ないことは明白過ぐる程に明白である質屋と高利貸とは寧ろ庶民を喰物にする利己的機關で無盡講や頼母子講にも怪しいものが多い其處で滿洲にも時代に適合した庶民の福利增進に役立つ新らしい金融機關が必要となる。

庶民金融機關　イヤ近代の庶民金融機關としては伊太利の庶民銀行、佛國と蘭領爪哇とで好成績を擧げてゐる公營質屋、英國の慈善貸付制度などが其の重なるものであるが我國にはそれが完備して居らない東京府社會事業協會の經營にかゝる第一、第二、第三及び第四武藏屋は公設質屋で營利的の普通質屋とは大いに異なつたものであり其他數四の村營質屋があり大阪市には金融所なるものが設置せられてあり夫れが近く公營質屋になるさうだが我國で一番此種機關の發達して居るのは新領土臺灣で臺灣には臺灣總督府直轄の下に臺北、臺中、臺南の三市と其他に比較的設備の整つた公營質屋が設けられてある社會施設の非常に遲れて居る我國には以上の外他に殆んど何物もないのであるが併しここに一つ特別な機關がある。

所謂信用組合　が夫れで

あつて此の信用組合なるものは明治三十三年三月法律第三十四號を以て公布せられた產業組合法中に規定してある組合の一種である產業組合は信用組合、販賣組合、購買組合、利用組合の四種より成り一組合でその二三を兼營し得ることになつて居る信用組合は貯蓄と貸付の業務を營むもので特別市街地信用組合では此外猶ほ割引業務を營み得るのである云ふ迄もなく中產者以下の庶民機關で其の產業と經濟と福利とに貢献し併せて向上發展に寄與するのである。

此の信用組合を朝鮮では金融組合と稱し都市及び村落を通じて各地に設けられてある此事は昨年七月發行の本誌に詳しく記載して置いたから就いて觀られたい臺灣にも信用組合が設けられてある然るに此の關東州並に滿鐵沿線附屬地に今日まで此種の機關が設けられぬと云ふは洵に遺憾な次第である多少の困難はあらうが設立の必要がないと云ふ道理はない。

貯金の種類　信用組合の貯金は普通の貯金と異なり組合の資金と相俟つて組合業經營の源泉となるものであるが其の種類は各種の標準に依り樣々に分類することが出來る今その中で法律上の規定に依る區別のみを記すると第一が組合員貯金、第二が組合員外貯金、第三が限定貯金といふ事になる第一の組合員貯金は別に說明を要する迄もないことであるから說明を省略し第二の組合外員貯金と云ふは元來信用組合は組合員の貯金を取扱ふのが原則であるけれども中產階級以下の團體で往々資金の缺乏を來たし事業爲めに不振に陷る虞があるので法律上特に例外を定め組合員以外の貯金をも取扱ひ得る事にしたのである而して此の組合員外貯金は豫約貯金、家族貯金、團體貯金等に大別することが出來る之を詳說すれば

豫約貯金――組合の區域内に居住する者は組合員でなくとも組合定款の規定に依り組合に加入の豫約をなし出資一口の金額に達する迄の貯金をなすことが出來る但し豫約後三箇年を經過するも猶ほ組合員となることが出來ない場合には組合はその豫約の解除をなさねばならぬ。

家族貯金――信用組合は定款の規定に基き組合員でなくとも組合員と同一の家に在るもの丶貯金を取扱ふことが出來る玆に謂ゆる『組合員と同一の家に在る者』とは之を廣義に解釋すれば戶籍上同一の家族は言ふ迄もな

く其の使用人までも含み之を狹義に解釋すれば單に戸籍上同一家族のものに限るといふ事になる我が農商務省では狹義の解釋を採るもの丶樣である。

團體貯金‖信用組合は定款の定むる所に依り區域の內外を問はず公共團體又は營利を目的とせざる法人若くは團體の貯金を取扱ふことが出來る例へば市町村等の自治團體、社會公益的事業を營める各種の團體、青年會婦人會その他これに類似の公共團體の資金を預かり得るのである但し市町村自治團體の歲入出に屬する現金は組合の貯金として取扱ひ難いのである。

次に第三の限定貯金と云ふは特別市街地信用組合に限られた貯金で一定限度を設けて組合の區域內に居住する組合員以外のもの丶貯金を取扱ふのであるが之を取扱ふ場合は販賣、購買、利用等他の組合の事業を兼營し得られないのである限定とは有限責任組合なれば出資總額及び準備金その他の積立金の合計、保證責任組合なれば右に保證金額を加算した合計、無限責任組合なれば出資總額の五倍及び準備金其の他の積立金の合計以上に涉るを許さず詰り此等の限度を超ゆるを得ぬのである。

貯金の利子　信用組合の貯金は普通の貯金と異なり主として中產階級以下の庶民の零細なる資金より成り且その生計と經濟及び產業を進步向上させるのが目的であるから利子步合は成るべく高くせねばならぬ貯金の種類と地方金融の狀態等に依りて固より一樣には出來ないが(イ)郵便貯金の利率より少し高步となす事、(ロ)少くとも所在地銀行の預金利率と同等迄にする事、(ニ)貸付利率との差を二三分位にする事を原則とせねばならぬ此邊は組合理事者の周到なる注意を要する所である次に利子の計算は之を日步計算とすべきか年利計算とすべきかと云ふに種種議論もあるけれども市街地組合は日步計算に依るを可とすべく農村組合は年利計算に依るべきであらう實際に就て見ても內地の信用組合は大體此の區別に從つて居る猶ほ定期貯金は無論年利計算とし當座貯金は日步計算とすべく之れは都市とか農村とかの地方的區別に從ふべきものでない猶ほ組合貯金の利子計算は大體復利法に依るを可とすと言はれて居る。

特殊の貯金　法律に依る信用組合の貯金の種類は前に述べた通りであるが貯金は信用組合の事

業の源泉であるから我が內地の各組合では特殊の考案を立てゝ此他にも種々の貯金を行つて居る其の特殊貯金の種類について之を概示すれば勤儉貯金、約束貯金、購買貯金及び販賣貯金、品償貯金、肥料貯金、社會貯金などで猶は共濟貯金、學童貯金、代納貯金、償還貯金それから納稅貯金、配當貯金植林貯金その他いろ／＼有る都市は享樂機關の多い處で都市人は勢ひ浪費をなし易いから都市の信用組合では貯金の上に格段の努力を要することは勿論である。

貸付の種類　貸付は信用組合の重要なる事業で一方の貯金と此の貸付事業と相待つて始めて信用組合の機能が完全に發揮されるのである今この貸付を期限を標準として區別すれば定期貸付、當座[illegible]

て區別すれば信用貸付、保證貸付擔保貸付となり償還方法に據りて區別すれば定期償還貸付、年賦償還貸付となり擔保の種類を標準として區別すれば動產擔保貸付及び不動產擔保貸付となり貸付の形式を標準として區別すれば無證書貸付、有證書貸付、手形貸付となり資金の用途を標準として區別すれば生產的貸付竝びに消費的貸付といふ事になるのである。

組合員に對する貸付金額の大小は組合資金の運用上大いに注意を要する事項で先づ貸付金の用途を調査し之れに適合した金額を定むることが大切である貸付に要する運轉資金は組合に現存する資金のみならず借入金及び組合員の貯金見込額をも包含して居るから之を貸付金額算定の標準とし其の最高[illegible]額を決定すべきである。[illegible]

貸付金の用途　信用組合は組合員の產業又は經濟の發達に必要なる資金を貸付けるのであるから其の貸付資金の用途は之を大別して產業上の資金及び經濟上の資金とすべきである而も其の資金の用途は實際につき精細なる調査を要するのであつて貸付に先ち之を行ふと共に貸付後といへども精密に實況調査をせねばならぬ人口の異動頻繁なる都市の信用組合においては最も此點に重きを措かねばならぬ然らざれば失敗する更に最も必要なる重要事項は

信用調査委員　を設けて組合員の有形的則ち資產と無形的則ち人格の調査をなす事で後者の調査が信用組合の本質上殊に大切な事になつて居る獨逸では戰前その組合員全體から無記名投票に依つて組合員の信用程度を決定して[illegible]

最たが某國で[illegible]を設け年一回又は二回に定期調査を行ひ特別事情の發生したとき臨時調査を行ふことになつて居る信用評定委員は必ずしも組合員と限らず組合所在地における土着的の信望あり公平なる立場に在るものを特に推選しても好いのである信用調査は斯くして毎年之を行ひ其の都度信用程度表なるものを作製し之を組合の重要書類として保存しこれに依つて組合員に對する貸付の參考用とするのである。

貸付期限其他　貸付金の期限の長短は信用組合の事業運營上最も注意すべき點で獨逸のシュルチェ式信用組合では貸付期限を短期としライファイゼン式信用組合では比較的長期の貸付を行ふことになつて居るが其の長短如何は其の組合の性質及び土地の事情に依りて實際的に定めた方が適當であらう斯うした事は單に理論的に短期がいゝ長期がいゝと定められぬものである次に信用組合はその名の如く信用を基本として居るのだから貸付も對人信用を原則とせねばならぬが組合の發達猶は幼稚にして組合員の訓練未だ行屆かざるとき殊に人口の異動頻繁なる都市に在りては保證貸付と共に擔保貸付をせねばならぬ事になるのであつて其の擔保品は賣却に容易なるもの、市價の變動少きもの、容易に擔保し得べきもの、評價し易きもの等を要件として其の選擇に深甚の注意を拂はねばならぬ保證貸付はその保證の位置に立つものの資產、信用、人格、地位等を十分に調査せねばならぬ。

貸付金の利子　信用組合の本旨とする所は成るべく低利の資金を組合員に融通して其の產業及び經濟の發達進步を圖るのであるから事情の許す限り低利の資金を供給せねばならぬ今その利率の標準を示せば普通銀行會社の貸付利子より幾分か低率なる事、組合にて取扱ふ貯金利子の步合より二三分位高率なる事、勸業銀行又は興業銀行の利率と殆ど同率位にする事等である次に利子步合を計算するには日步又は年利の孰れが可いかと云ふに利子を日步に依りて計算するのは最も精確なる方法で取引の頻繁なる都市の信用組合では日步計算に依つた方がいゝのである併し地方農村の組合では概して年利計算に依つてゐる。

特別貸付　更に特別貸付と云ふのがある今之れを概言すれば長期低利資金貸付、表彰貸付、土地買入資金貸付、米穀擔保證貸付

小口簡易貸付などである尤も此の特別貸付をなし得る信用組合は組合の基礎が確實で組合の成績が良好で且資金が充實し組合の精神が十分組合員に徹底した組合でなければならぬ隨つて特別貸付を猥りにするのは戒むべきことだ。

手形割引業務　最後に特別市街地信用組合に限られた手形割引業務について一言しやう手形割引もその標準に依つて種々に區別されるが支拂地の差異に依る區別は當所手形割引、他所手形割引の二種類となり種類に依る區別は約束手形割引、爲替手形割引となり擔保の有無に依る區別は無擔保手形割引、擔保付手形割引となり手形成立原因に依る區別は商業手形割引、融通手形割引となる更に商業手形を大別すれば生産者又は製造業者より卸賣人に振出してゐる手形、卸賣人より小賣人に振出したる手形、小賣人より消費者に振出したる手形となる尤も小賣人より消費者に振出したる手形則ち彼の商品劵の如きは其の割合に對し組合において相當の制限を加ふる必要がある又手形を割引するに當り組合において其の鑑別に念を入るべきは言ふまでもない事で今その重なる注意點を擧ぐれば裏書の多寡、期限の長短、金額の大小等である融通手形の割引についても種々の注意が必要である次に割引歩合は我國においては普通百圓に對する日歩を以てその割合を定める事になつて居るが歐洲諸國では年利率を用ふることが普通となつてゐる元來手形の割引歩合は手形の品質及び金融市場の狀態等に依つて異なるもので一概には定められないがそれ丈け組合では最も愼重の注意を要するのである。

以上で信用組合の大體の本質と事業の要項を述べた積りである此の信用組合には貯金の外に組合員の出資があるけれども創立當初は出資も貯金も十分でないから役員が自分の金を用達てたり又は自分の信用で金を借りて來てこれを組合に用達てねばならぬ而して其の融通は內地においては大藏省及び遞信省より貸付くる低利資金、信用組合聯合會よりする無擔保又は有擔保貸付、農工、勸業、興業銀行等よりの無擔保又は有擔保の定期若くは年賦貸付となつて居り朝鮮では朝鮮總督府で補助し別にその親銀行として殖産銀行がある然るに滿洲には是等の融通的利便が乏しいので組合設立難を唱ふる者もあるが之れは關東廳と滿鐵會社とで相當に補助して然るべきもの

も考へられる不動產銀行が出來れは當然その親銀行となるべきものである東拓會社が業務を刷新し長期低利の拓殖資金を供給し得る事になれば東拓會社も當然その親銀行たるべきものである。

因みに我が滿洲社會事業研究會で調査立案した金融組合のことは前號誌上にその要綱を掲載して置いたが近時大連を初め長春、奉天及び營口、其他に信用組合の設立計畫をなすものあり漸次氣運の熟し來れるは喜ぶべき傾向である願くば其の組織において又その本質において信用組合たるの眞價と權威を具ねたものであらんことを猶ほその理事者の眞面目な人物たらんことをも望む。(山田生)

歐洲諸國の失業救濟法

在東京　一記者

保險制度に依らざる失業者救濟制度は決して常態のものでなく平時に在つては望ましきものに非ずと云ふのが通說である然し乍ら或場合には已むを得ない政策であつて大戰後產業情態の平靜に復するまで歐洲諸國にては失業者救濟をば緊急手段の一として實行されたのである以下他山の石として各國の事例を述べて見よう。

英吉利の失業救濟法　一九一八年十一月三十日大戰已みて後の英國には軍需工場の閉鎖や軍隊の解散に伴ひ多くの失業者を生ずるに至つた然るに失業保險は一定の職業に屬する者に限るのみならず其の給付は生活費の暴騰に對し決して十分なものでは無かつた乃ち此の缺陷を補ふがために一九一八年十一月二十五日から現在の失業救濟制度が布かれたのである。

此の制度の梗概を述べると十六歲以上の私人にして健康保險證書に依り(十六歲未滿及び七十歲以上のものに付ては其他の方法に依り)一九一二年七月以降一九一八年八月二十五日までの間に於て傭使關係に在りたることを證明し得るもの及び軍人にして軍隊より除隊されたものに對して失業救濟金

の制度が設けられたのである而して其の家族たる小兒に付いては別に家族手當を給與することゝなつて居る給付の金額は…

	最初の二十六週間	爾後
除隊軍人	二九志六片	二〇志〇片
	最初の十三週間	爾後
男子（十八歳以上）	二九志〇片	一五志〇片
女子（十八歳以上）	二五志〇片	一五志〇片
少年（一五―一七）	一四志〇片	一〇志〇片
少女（一五―一七）	一二志二片	七志二片

此の規定は五月二十四日改正されて二十六週間又は十三週間經過したと否とに拘らず第二項の爾後欄の金額を支給することゝなつたまた家族手當は十五歳未滿の第一子に對しては一週六志その他十五歳未滿の小兒毎に一週三志を追給することゝなつて居る。

大體において失業者救濟金制度は失業保險法に則り其の手續や機關は失業保險法の手續や機關を利用したのである失業保險制度も同時に繼續されて行はれたが保險による給付金額は救濟に依るよりも遙かに低額であつたから實際には失業保險に依り給付を求むるものが無かつたさうである。

佛蘭西の失業救濟法　佛國政府は戰時中より既に失業救濟制度を採用した則ち人口五千人以上を有する郡又は市においては失業基金を設けしめ之を使用者及び勞働者の代表者各同數から成る委員會の管理の下に置き勞働紹介所と聯絡を取らしめたのである斯くして市及び郡において支給した救濟金額の三分一は國家が地方廳に對し補償することゝなつて居た軍需品工業の需要增大するに伴ひ失業基金の必要は減少したが其後物資の缺乏を告ぐるや再び其の必要を見るに至り一九一八年四月勃發的失業に對する基金設定に關する命令發布せられ政府は費用の三分の一の補助を爲し雇主は少くとも他の三分一の醵出を爲すことを强要されることゝなつた休戰條約成立の後は政府の補給額は一九一九年十一月十五日まで六割次いで七割五分に上すことゝなつた猶ほ官立工場若くは政府の請負事業を爲したる工場において解雇された女子に對しては一箇月間の賃金に該當するだけの解雇手當を與へた。

最も主要なる失業金庫は巴里に在つたが一九一四年十月巴里に於ては約三十萬人に對して失業救濟金を支給した此の支給額は其後漸次減少し一九一八年末には之を受けるもの一萬人に過ぎなかつた其後一九一九年の三月及び四月には失業者又々七萬に增加したが而も救濟金を受けるもの益々減少し失

者救濟制度は勞働者をして職業を求めず遊惰に慣れしめると云ふ事の杞憂なるを證明した。

伊太利の失業救濟法　伊太利では戰爭から平和への過渡時代に失業救濟會制度を起した一九一七年四月十七日の命令と一九一八年十一月十七日の命令に續いで一九一九年一月五日の命令は九千八百萬リラの分配に關して規定した之は季節勞働者を除き從前規則的に傭使せられた勞働者に付いてのみ規定したところのものである。

救濟會は勞働に堪ゐ且つ之を欲するに拘はらず仕事不足の爲め勞働を爲すこと能はざる者に對してのみ之を支給するのであつて職業紹介所又は之に類する場所に申込み而も仕事を得られざる場合に職業紹介所、地方失業保險局、其他主務大臣の指定したる團體において支給するのである給付額は男女により又地方によりて異つて居る即ち男子は二リラ乃至三リラ女子は一.五〇リラ乃至二.五〇リラであつて此の外十二歳未滿の少年を有する場合には家族手當を受け私生子といへどもまた一定條件の下に夫々手當を受けて居る。

瑞典の失業救濟法　瑞典では一九一四年九月二十八日勅令を以て國家及び公共團體の共同失業救濟會の制度を定めた右に據れば失業救濟を受ける爲めには地方の失業救濟委員會の定むる補習敎育を受けること及び紹介所の指定する職業に服することを條件として居る救濟金は地方の失業救濟委員會にて交付し地方廳の支出すると同額(但最高限の定めなり)を國家が補給することゝなつて居る。

獨逸の失業救濟法　獨逸の失業者救濟機關は市町村及び市町村組合である救濟に要する費用の分擔を示せば國庫は失業者救濟に要する總經費の十二分の六(但負擔力なき市町村に對しては國の補助金額を增加せしむることを得)を負擔し所屬邦は十二分の四を負擔する失業救濟金給付の條件としては戰爭の爲め失業して困窮の情態に在るもの又は勞働能力あり且勞働意思ある十二歳以上の者に限られ救濟は一週日以上の待期を附することゝし救濟金支給期間は二十六週以內(二三の例外あり)である支給金額は地方の物價等を參酌してa、b、c、d、eの四等級に分ち夫夫最高率を定めて居る。

支給金額は男子の二十一歳以上にして他人の家政に生活せざる者はa八〇〇馬、b七〇〇馬、c六〇〇馬、d及びe五〇〇馬、二十

一歳以上にして他人の家政に生活する者はa七〇〇馬、b六二五馬c五五〇馬、d竝びにe四五〇馬二十一歳未滿のものはa五〇〇馬b四五〇馬、c三五〇馬、d及びe三〇〇馬、また女子の二十一歳以上にして他人の家政に生活せざるものはa六〇〇馬、b五二五馬c四五〇馬、d竝びにc三七五馬二十一歳以上にして他人の家政に生活する者はa五　〇馬、b四二五馬、c三五〇馬、d及びe三〇〇馬、二十歳未滿の者はa三〇〇馬、b二五〇馬、c二二五馬、d及び二〇〇馬である猶ほ家族割增金は配偶者に對してはa三〇〇馬b二七五馬、c二五〇馬、d及びe二二五馬、子供その他の被扶養權ある家族に對してはa二〇〇馬b一七五馬c一五〇馬、d及びe一二五馬であるさうだ。

罹災失業者救濟方法

俸給生活失業者其他に對する處置

這回の震災地失業者救濟に關しては朝野共に腦漿を絞りつゝあるが要するに其の解決案は直接之を救助する外に地方的移動を圖ることゝ新たなる職業需要を振興せしむることが其當を得たものであらうと思ふ左に揭ぐる諸項は至難事業たる俸給生活失業者に對する處置並に一般失業者の生計援助方法に關して內務省社會局において調査した所のものである。

（一）智識階級失業者救濟の一法として左記諸項を速に實行し職業需要の振興を策する事

燒失したる戶籍原簿及び寄留簿等を速に復興する爲め副本の謄寫及び屆出書類の登錄加除を行ふことが其の一方法である戶籍原簿の燒失紙數は約四十萬枚にして之を完成するには明治三十一年以降の副本及び書類の數量約一百萬枚の謄寫を要する見込で五百人一年間の仕事に當るさうである。

遞信事務にして緊急復興を要するものを速に處理することも一方法である而して緊急處理を要するものには郵便貯金の原簿通牒等の作製約一千五百萬冊あり證劵保管證及び原簿等の作製約百二十七萬冊あり振替貯金原簿の發行整理約六萬冊あり更らに恩給カードの作製約四十萬冊あり又此の外に中央集計臨時事務五十%を增加すべく而して此等の事業は一萬人一年間の仕事に當るさうである。

動員通知の資料たるべき兵役名

業務の急速再製も一方法であるし土地臺帳の復興の爲め登記所に就き調製すべき緊急事務もある此等は**二百五十八人一年間の仕事の分量で**ある徵稅事務に要する基礎書類の調製も一方法であつて千二百八人一年間の仕事である其他復興の好資料たる現狀戶口調查、現狀營業情態調查等も必要な仕事である。

以上の諸事項は各實際方面に就き調查のうへ正確と信ずる種目數量であつて各當局者は何れも緊急復興の必要を認めて居るけれども豫算關係や特殊技能の必要なる理由等に依り未だ之を實施することを躊躇して居る樣だ其の事務には筆蹟、計算、監査及び特殊智識を要することと勿論であるけれども各種の方面より失職者を出しつゝある今日人選及び訓練宜しきを得たならば之に充當し得ることは左のみ困難であるまいと思ふ。

（二）職業輔導の計を立て次の事項を實行する事

罹災失業者の企畫せる生業事情を審査し必要ありと認むる者には少額の資金を貸與すること大授產場を設けて諸般の簡易なる手工業其他を實習せしめ其の收入に依つて生計を扶助せしむること並に復興に際し最も需要ありと認められる木工、塗工、鉞力工、鐵筋工等を速成的に養成し罹災失職者に職業を授けると同時に復興事業に貢献せしむるも一方法である。

刻下群起しつゝある失業者の實情を觀察するに獨立營業を欲するものも生業資金を得るの途なく勢ひ就職の苦境に趨らざるを得ざるものゝ多いことゝ又一家を擧げて失業の悲運に陷つたもの多く從前より營み居たる內職等生計扶助の道杜絕して悲慘を極めて居るものの多いことゝ又復興事業の進捗に伴ひ土木建築の如き需要殷盛なる方面あるも技術なき爲め之に向ふを得ざるものゝ多いこと**等は事實**であるから此等の情況に鑑みて下層階級の爲めに金融の道を拓き生計扶助の方法を立て更らに簡易に修得し得る種々の技術を授け以て職業轉換を容易ならしめるところの職業輔導事業の實施もまた刻下の急務であると認められる。

（三）内地に於ける勞働需要の實情に鑑み此際積極的の移民政策を計畫實施し之を以て失業問題緩和の一策と爲す事

從來我が移民事業は一般に移民地の實情に通ぜざること渡航費に比較的資金を要すること家族帶同を必要條件とする等の制限があつたこと營利會社の奸手段を弄した

る實例があつたこと移民手續等に通じなかつたこと等が重なる障害として算へられるけれども亦我國に積極的の移民計畫の無かつたこと並に我が國民性として鄕土に對する愛着心强きこと等も根本的の障害であらうと思はれる。

今回の大變災は我が國民をして一般に海外渡航の決心を促進せしむる爲めに相當の效果あり現に移民志願者增加の現象が認められるから此機に於て當局は罹災者救濟の趣意に合致するやう出來得る限り移民上の制令を撤廢し渡航費補助等の方法に關する實現に努め且移民の手續、經費、實情等を一般に容易に周知せしめ得る樣に公示し以て普ねく斯業を奬勵したならば其の實績は相當に顯はれることであらうと言はれて居るが政府に成算ありや否や不分明だ。

少年犯激增

警察や檢事局及び少年審判所等の厄介になつた日本內地における不良少年を統計上で見ると震災前の八月は東京四百五十九名で震災當時の九月は四十八名に十月は八十四名に激增し神奈川縣は八月三十八名で九月は一人もなく十月は七名といふ減少の傾向を示してゐるが事實は此の統計を全然裏切り却つて三四割の增加を見てゐる此の變則の原因は地震騷ぎで警察官や檢事か不良少年の犯罪にまで到底手が出せず而かも偶々捕まつた少年は他の犯罪檢擧の景物に捕まつた位の者であるからだ。

右に就いて司法當局は語る『少年審判所が開始されなかつた大正十二年三月は東京九十六名、神奈川十四名、大阪二十八名、京都一名、兵庫一名の少年犯罪者を出してゐたのが審判所が開設せられ補助機關である警察や檢事が活動を初めた結果東京は約五倍の四百六十二名に激增し神奈川は約二倍の三十名、大阪は十一倍の三百三名京都は五十四倍の五十四人、兵庫は二百五十七倍の二百五十七人といふ素晴らしい增加で今まで如何に少年犯罪が閑却されてゐたかゞ明白となつたが其後震災まで同じ程度の數字を示してゐる此の現象から推測すると現在の少年犯罪數の減少は少年審判所の補助機關の活動が休止した關係らしく而して昨年十二月から再び補助機關は活動を開始されたから少年犯は震災前の記錄を破る事と豫想されてゐる職業別で見ると奉公人が一番多く敎育程度は小學程度が一番多く次が中學在學生である』と。

調査紹介

關東廳遞信局の郵便貯金

高橋月南

一、大正元年以降の貯金狀態

關東廳遞信局は滿洲在住者に向つて貯蓄思想を普及せしむべく從來より尠なからざる努力を拂つて居る。其の宣傳方法としては戸別訪問、團體勸誘、活動寫眞撮影、文書宣傳等極めて多方面に亘つて居るが、その結果、近時著しい成績を示すに至つた。今その大勢を記す前に大正元年以降の郵便貯金現在高を表示して見ると左の通りになる。

年次	人員	金額
大正元年度	六一、三五二	二、三四九、六六六
同　二年度	六六、三三三	二、二〇〇、五六七
同　三年度	六六、四二二	二、一四六、六八一
同　四年度	七七、九六五	二、四四六、六七九
同　五年度	八三、五九八	二、八九〇、五八二
同　六年度	九二、〇四二	三、三九八、三〇九
大正七年度	一〇〇、九七七	四、三八二、七七三
同　八年度	一一七、五六六	五、二六八、八二二
同　九年度	一二八、七五〇	六、三一〇、〇〇〇
同　十年度	一四七、二九二	七、二九八、六二六
同十一年度	一六四、一〇四	八、九九二、一八七
同十二年十一月	一六九、六五四	九、一七〇、六四四

以上の年度末現在高に據れば、人員に於て逐年增加し、四年度の如きは前年度より一割七分四厘の激增を呈し、其後と雖も七八分の增加である。殊に大正十年十月より滿洲に於ける各郵便局が一齊に貯金奬勵を開始したので、此際最も急激に增加し、十年度末は前年度より約二萬餘人を增し、十一年度は前年度より一萬七千餘人を增した。尙ほ十二年十一月迄の人員は前年度に比し五千五百人の增加で、大正元年度に比較せば約二倍半の急增である。斯る增加

率を示したのは全く各郵便局員が不斷の努力の結果に外ならぬ。次に金額について見るに、大正元年度には二百三十四萬九千餘圓であつたのが、財界其他の變動にて、二年度は前年度より十四萬九千餘圓(六分三厘)、三年度は前年度より更に五萬四千餘圓(二分四厘)といふ減少であつた。然るに四年度は前年度に比し三十餘萬圓を增加し、それより年々一割七八分の增率を示してゐる。玆に最も注意すべきは歐洲大戰後財界が一時に膨脹して黃金の波が漂ふた空景氣時代の大正七八年の盛況で、七年度は人員において前年度よりも九分七厘の增加に過ぎなかつたが金額に至つては前年度より增加すること實に二割八分四厘で、從來の增加率の倍額に達した。翌八年度も相當の增加で、前年度に比較し人員に於て一割六分四厘、金額に於て二割二厘の激增である。大正九年度は前年度程の增加を見なかつたが人員金額共に增加してゐる。十年度は貯金奬勵の結果前年度に比し人員金額共に一割四五分の增加である。

斯の如く年々郵便貯金が增加するのは、貯金奬勵の爲でもあらうが、一面滿洲の邦人が概して有福な生活を送つて居る爲めであらう。現に十二年十一月末日の現在高金九百十七萬六百四十四圓餘を大正元年度の二百三十四萬九千六百六十六圓餘に比較するときは約四倍弱の增加である。

二、滿鐵の社員淘汰と震火災の影響

然るに昨大正十二年中には郵便貯金に一つの大きな變動を與へた。最初の影響は同年春滿鐵會社が斷行した社員淘汰で、次は母國關東地方の大震火災である。滿鐵社員淘汰のために其の淘汰社員の受けた退職給與金の多くは銀行預金に入つたであらうが其の一部は郵便貯金にも流れ込んだ。一部といつても大金であるから太いしたもので四月の預金增加は驚く勿れ三十八萬八千八百九十八圓餘に上つたものである。勿論これは一時の預金的貯金に過ぎない。內地に引揚げた者は內地の郵便局で拂出しを求め、その通知が滿洲に廻つて來るので、八月以降は拂出超過の狀態であつた。その超過高を見るに、八月は八萬八千九百餘圓、九月は九萬五千八百餘圓、十月は十一萬二千餘圓、十一月は十一萬六千餘圓であつた尤も十月以降の拂出しは母國關東地方に於ける震火災の爲め日本內地へ向け送付されたものが大部分を占めてゐると見るのが至當であらう。

元來十一月の減少は十二年度ばかりでなく例年の現象であつて當局者はこの月を貯金界の『霜枯れ月』と稱して居る。これは冬季に入る準備として金が必要になる、例へば石炭を購入するとか、ストーブの取付けをするとか、冬衣を整ねるとか、各家庭に於て例月よりも餘分の經費を要するためで、猶ほ又商人は商品の仕入れに資金を忙しく運轉するからである大正九年以來この霜枯れ月の拂戻し超過高を見るに九年は二十一萬七千餘圓、十年は十五萬四千餘圓、十一年は八萬二千餘圓、十二年は十一萬六千餘圓でこの月は全く貯金界のパニックである。之れに反し預金の增加する月は例年結氷あけの五月頃からである。今十一、十二兩年の五月以降の預金增加を見るに、十一年五月は十五萬餘圓、六月は二十二萬餘圓七月は二十六萬餘圓で、十二年五月は三十一萬餘圓六月は二十七萬餘圓、七月は僅か十二萬五千餘圓に過ぎないが、兎に角何れも拂戻しより預けの方が超過して居る。次に母國震火災前後の預入並びに其の拂戻狀況を示せば次の通りである。

	月別	口數	金額
預入高	十二年七月	四六、六二〇	九一一、七五四、八六八
	同　八月	四三、二九七	七二四、一二六、九〇九
	同　九月	三五、六八五	六八七、三二一、六八〇
	同　十月	三八、六四九	六八〇、九五七、八三三
	同　十一月	四一、三四四	六九七、二九八、二四〇
拂戻高	十二年七月	一五、三〇二	七九六、五三六、四二三
	同　八月	一六、三〇八	八一三、〇七五、五九六
	同　九月	一五、五〇一	七八三、一三七、〇七〇
	同　十月	一六、六七八	八〇一、九九二、〇五二
	同　十一月	一八、五五九	八一三、三八五、三八九

◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎

三、母國震火災前後の貯金對照

尙ほ遞信局貯金課では昨年九月の母國關東地方における大震火災を機として貯蓄思想を一層徹底せしむる爲め各郵便局をして大活動を開始せしめた。乞ふ槐より始めよで先づ遞信部内に『節約貯金』を實行した。これは局吏員の各家族一人十錢以上の貯金で而も三年間以上の据置とし、全く規約貯金と据置貯金を混成した强制貯金である。また關東廳の吏員全部は本俸の百分の十即ち一割宛を規約貯金として積立てることになつた。この節約貯金には各團體貯金町内貯金、學校貯金等があり、團體貯金の中で最も成績を擧げたのは鐵嶺で、同地に二十一の諸團體があるが、十一月始めまでに既に十五團體が參加した

これは其の團體の幹事なり世話人なりが集合して郵便局に持つて行き、若し拂戻しを要するときは其の團體の代表者の承認を經るやうにし、自分勝手に引出すことが出來ない樣にしてある。長春、營口、奉天等も夫々勸誘して居るから追つて相當の成績を擧げる事であらう。滿鐵會社は自彊會を組織して社員の生活改善を實行することになり其の內規の一つに貯金奬勵もあるから是等のコボれもある事であらう因みに我が滿洲社會事業研究會も特別評議員會の決議に係る生活改善要項の中に『克己貯金』の一項を加へ凡ゆる方面に向つて之が實行を求めたから此の影響もあるだらう。また委員よりは遞信局當局に郵便貯金の奬勵方を求めたのである。

震火災後貯金は拂戻超過の數字を表して居るが預入人員は寧ろ增加した。これを前記の預入者及び拂戾者と對照すれば預入は口數に於て增加してゐるが金額が少なく、拂戾の方は反對に口數少なく金額を增してゐる、從つて現在高も人員が增して金額が順次減少してゐるといふ狀態である。今最近五箇月の現在高を示すと左の通りである。

	人員	金額
十二年七月	一六六、三一二	九、五八三、七八八、四八七
同　八月	一六六、七一六	九、四九四、九三九、八〇〇
同　九月	一六七、三一一	九、三九九、二二五、四一〇
同　十月	一六八、五一五	九、二八六、七三一、一九一
同　十一月	一六九、六五四	九、一七〇、六四四、〇四二

四、優秀なる滿洲の貯金能力

次に大正十一年度末（十二年三月末日）に於ける現在高を先づ日本全國の成績と對照して見やう。日本全國に於ける同年中の郵便貯金預入人員は二千七百五萬餘人、金額は九億九千四百九十七萬餘圓で、これを前年度末に比較せば人員に於て百六十萬餘人（六分四厘）、金額に於て九千三百八十一萬餘圓（一割四厘）の增加であるが、滿洲における同年度末の現在高は人員十六萬三千七百餘人、金額八百五十九萬五千六百餘圓であつて、これを前年度末に比すれば人員に於て一萬七千三百餘人一（割一分八厘）、金額に於て百五十七萬八百餘圓（二割二分七厘）の增加であるから、前記全國の增加割合に對照すれば、人員において五分五厘增、金額に於て一割二分三厘增の好成績である。更に預入人員の一人平均額を見るに

満洲は五十二圓五十錢に達せるに、日本全國の平均は僅かに十五圓七十二錢九厘の少額に過ぎない。更に朝鮮、臺灣等に比較すれば約三倍以上の高額である。如何に満洲が貯蓄力に富めるかは此の一例に依つても推知されるわけである。

五、一人當及び職業別の比較

猶ほ當満洲に於ける預入一人當りの金額を見るに十一年度末は五十四圓七十九錢五厘であるが、これを在満邦人の人口一人當りにすれば四十五圓十四錢八厘となり、更にこれを前年度に比較すれば預入者一人當り五圓二十三錢三厘（一割五厘）、人口一人當り七十一錢五厘（一分六厘）の增加である。次に十二年九月末の平均を見るに、預入者一人當り五十六圓十七錢七厘、人口一人當り四十六圓六十七錢七厘で、前年度末に比すれば預入者一人當り一圓三十八錢二厘（二分五厘）、人口一人當り一圓五十二錢九厘（三分九厘）となり、預入者一人當りの增加歩合は稍稍劣るも、人口一人當りの增加歩合に至つては遥かに好成績である。また同年度末現在高を満洲の各局別にして前年度末と對比して見ると、著しく增加したのは人員に於て撫順東郷坑所の六割六分一厘を最高とし、大連大廣場局の六割八厘これに次ぎ、金額に於ては撫順東郷坑所の十二割七分一厘を最高とし大連大廣場局の十割一分六厘これに次ぐ。又一人當りの金額に於ては金州局の百四圓六錢八厘を最高とし、新旅順の八十七圓七十八錢五厘、松樹局の八十圓四十二錢二厘之に次ぎ、新臺子局の十三圓四十三錢三厘は満洲に於て最低の貯金である。

更に各職業別に區分して預入高の多寡を比較すれば、人員に於て官吏及び軍人の三割六厘を最高とし、商人の二割七分四厘と職工並に使役人の二割一分二厘とが之れに次ぎ、無職業の三厘を最低とする無職業の最低は當然である。若しそれ金額に於ては商人の二割九分二厘を最高とし、官吏及び軍人の二割九分一厘と職工並びに使役人の一割九分九厘之れに次ぎ、無職者は六厘といふ最低の數字を示してゐる。唯だ茲に注目すべき現象は近來勞働者が著しく覺醒し來つて熱心に貯金し始めた事である。此の職業別貯金の一人當り預入高を調査すると、社寺及び團體の百二十五圓六十七錢は特別のものとし、農業者の九十一圓二錢二厘を最高とし、漁業船夫の八十六圓三十錢九厘、雜業者の六十七圓三十五錢三厘之

れに次ぎ、以下商業、官吏、軍人、職工、使役人及び工業從事員といへる順序である。十一年度末における職業別現在高は左の如くである。

職業別	人員	金額	一人當預金
農業	一、三八〇	一二五、六一一	九一、〇二二
商業	四四、九九五	二、六二六、五四〇	五八、三七四
工業	八、五七六	四〇九、一七二	四七、七一一
雜業	一〇、三一三	六九四、六一五	六七、三五三
職工使役人	三四、七二五	一、七八五、五八五	五一、四一八
官吏軍人	五〇、二五〇	二、六一九、〇八七	五二、一二一
學校生徒	九、六六八	三五四、四三〇	三六、六六〇
漁業船夫	一、九〇三	一六四、二四六	八六、三〇九
無職業	四九二	五五、六六四	一一三、一三七
社寺團體	五七二	七一、八八八	一二五、六七八
職業未詳	一、二二五	八五、二四八	六九、六七二
合計	一六四、〇九九	八、九九二、一八八	五四、七九七

六、金額階級別と据置貯金

預入金の金額階級別を見れば、人員に於て三圓未滿の四萬二千八百四人(二割六分五厘)を最高となし一圓未滿の三萬二千百八十九人(一割九分六厘)、三十圓未滿の三萬三千百八人(一割四分)が之れに次ぎ壹千圓以上は僅かに九百二十九人(六厘)に過ぎない。また金額に於ては千圓未滿の二百七十萬八千十八圓(二割四分五厘)を最高とし、三圓未滿の二百四萬五千三十九圓(二割二分七厘)、五百圓未滿の百五十三萬九百二十一圓(一割七分)これに次ぎ、一圓未滿は僅かに三萬三千四百二十三圓(三厘)で、これが最低である。これを前年度末に比較すれば、人員に於て三圓未滿の七厘の增加で、減少したのは五百圓未滿の九厘、金額に於ては五百圓未滿の二分一厘の增加百圓未滿の一分一厘の減少である。

終りに大正十二年八月末現在高の据置貯金を前年同月に比すれば、人員に於て十二割八分九厘、金額に於て十五割六分五厘の激增を示してゐる。斯く一躍して激增したのは、大正十一年九月一日から据置貯金の利子五分四毛が五分二厘八毛に引上げられた爲めで、一時に普通貯金を据置に移管した結果である。据置貯金の年限別につき其の多寡を比較すれば十一年度末は前年度末よりも三年の三割四分八厘、十年の二割八分一厘の增加で、金額に於ては三年の三割五分、十年の二割四分、四年の二割五分一厘の增加である。一人當り金額は五年の百四十九圓三十九錢三厘、八年の二百七圓六錢、三年の八十八圓九十二錢七厘、四年の八十四圓三十四錢二厘といふ順序

で、八年の二十七圓三十四錢九厘が最低である。の數字から見れば郵便貯金は五年位の据置が最も適當であるかも知れない。十一年度末の金額階級別を示せば次ぎの如くである。(單位圓)

金額階級	人員	金額	一人當預入高
一圓未滿	三二、一八九	二四、四二三	七二七
三圓未滿	四二、八〇四	七五、一九六	一、七五六
五圓未滿	一二、六一〇	五〇、〇三四	三、九六七
十圓未滿	一六、六五四	一二七、六五八	七、六六五
三十圓未滿	二三、一〇八	四一三、九四三	一七、九一三
五十圓未滿	八、六七三	三三九、三三一	三九、一二四
百圓未滿	九、二九九	六八六、五四三	七三、八二九
三百圓未滿	一〇、九五九	二、〇四五、〇三九	一八六、六〇八
五百圓未滿	三、八六二	一、五三〇、九二一	三九六、四〇六
千圓未滿	三、〇一二	二、一七八、〇一八	七二三、一一三
千圓以上	九二九	一、五二二、〇七一	一、六三九、三六五
合計	一六四、〇九九	八、九九二、一八七	五四、七九七

爲仁會の免囚保護事業

其の沿革と新築後の事業發展概要

爲仁會の生れる迄　免囚に對する保護事業の必要なることは今さら言ふまでもない事であるが、社會組織が複雜となり、一般の生活が益々困難となるに伴ひ、出獄者卽ち免囚の就職は一層容易でない。況や失業者の續出する今日においてをや。大正十一年度内地に於ける免囚保護の機關は六百五十五箇所の多數に上り、彼の輔成會を中心として、政府は年々多額の奬勵金を下付して居るのみならず、免囚保護事業職員養成所さへ設立された位に本事業の發達助長に努めて居る。大連には關東州勞働保護會があつて、免囚者一部の世話をして居るが、同會は一般勞働者の保護といふ廣汎な事業を行ふもので、免囚保護專門の機關ではない。ソコで現在爲仁會の免囚保護事業に當つてゐる菊地吉次氏は大正十年四月十八日大連民政署に法人保主任榊原屬、警務課保安主任白石警部等を訪ふて免囚保護事業の必要を力說した

ところ、直ちに賛同して呉れたので、翌十九日關東廳に至り、民政部保安課藤原事務官、助川警部、地方課新谷主任等に陳情し、等しくその諒解賛同を得更に渡邊典獄を訪問し、同氏より三重縣、京都府等の模範保護會の主旨書や經營に關する事柄を敎示されると云ふ勢ひで、頗る順調に運んだ。

猶ほ菊地氏の知人高木伊助氏、當時同じく斯業の計畫をしてゐた上田傳八郎氏、今は故人となつた大聖寺住職田和密乘師等にも計り、着々計畫の歩を進め、愈々財團法人としての爲仁會を組織する事になり、更に現在の爲仁會々長たる邊見勇彦氏の賛同を得、こゝに以上の五氏結束の上、邊見氏は二千五百圓、高木氏一千圓、故田和師は七百圓、上田、菊地の兩氏は各四百圓、合計五千圓の出資を以て愈々免囚保護事業の爲仁會を組織し、同年六月十三日一切の書類を大連民政署に提出申請した。

豫算と出獄者の保護　其後幾多の經緯はあつたが、諸氏の熱誠は目的貫徹に向つて邁往し、申請者の身元取調等があつた爲め多少日時を要したけれども、大正六年八月三十日付を以て財團法人爲仁會は正式に設立認可の指命に接した。越えて九月三日邊

見氏方に於て理事者の打合會を開き、從來の關係から田和師に代表理事を依賴したが、僧侶なるの故を以て之を辭したので、邊見氏を代表理事即ち會長に推薦した。其時邊見氏は、自分としては斯業に何等の經驗を有たないから、菊地氏が常務理事として經營の任に當るならば引受けやう、と語り、菊地氏は當初からの計畫者でもあり、當然その衝に當るべく言明したので、こゝに協議は一決し、更に村井市長を總裁に、上田、田和、高木の三氏を理事に推薦してその承諾を得、斯くて進捗を圖つた。

最初の目論見は旅順監獄の調査を基準として、一箇月の出獄者中保護を要すべきもの日本人一名、鮮支人三名位と假定し、一箇年間の收容數を日本人十二名、鮮支人三十六名、合計四十八名とし、之れに依つて豫算を計上した。寄付を受くべき見込金額は二千七百六十五圓で、其中に二百八十八圓の邦人借宅料を始め、二百四十四圓の鮮支人借宅料、二百四十四圓の事務所借宅料、其他寢具、食器、炊事道具電燈水道、薪炭等の消耗費を加算し、丁度豫算一杯であつたが、實際事業を開始して見ると、目論見書の如きも一の參考に過ぎずして、意外な處に意外な

費用を要し、加ふるに豫定寄付金は集らず、理事者の苦心一通りでなかつた。同會役員の顏振れを見ると相當の人が居るけれども、熱心家は尠なく、隨つて一切の責任が理事者の双肩に掛つて來た。尙ほ同會の規定に據れば、從來地方との連絡を圖る必要があるので、地方委員を設けることになつて居り、また常務員外のものは全部無報酬で働くことになつた次に出獄者の保護は左の如く定めた。

一、本人の居住地に於て間接保護を加ふべき者
二、本會に收容して直接保護を加ふべき者

以上の外爲仁會にて必要と認めたるものに對しては左の保護を與ふることになつて居る。

一、改悛を要すべきものゝ收容
一、職業の紹介
一、在監者及び出獄者の家族に對する援助並びに其の鄕黨間の融和
一、被保護者若しくは其の家族に對し金品の惠與に或はまた貸付
一、一時宿泊其他の便宜を與ふること

然して保護期間は二箇年以內であるが、特別の事情ある場合は期間を延長することが出來る。直接保護を受けるものは寢具、食器、點燈、水道、宅料等で、他は一切自辨である。尙ほ出獄者を直接世話するため旅順に支部を設けてある。

業務の進捗と一大擴張　最初は市外聖德街ヶ區四十九號、五十號、五十一號の三戶を借受けて事務所に充て、菊地理事夫妻が一切を支配することになり食事、寢具、就職等に至るまで世話をしたが、何分相手が相手なので其の苦心は一通りでない。併し幸に各方面の同情と援助とに依つて事業は着々進捗したので、之を擴張して本式になすべく關東廳に向つて敷地貸下の請願をなした處、大正十一年九月二十三日市外大劉家屯に五百八十四坪の土地を無料で貸下げを受けたので、基本金と多少の寄付金を以て十二年六月新築することに決し、清水組に請負はして工事に取掛り、同年十月二十日竣工、十一月六日移轉した、作業場は稍や後れたが之れも昨年內に竣工した。正面二階建の階下は事務所、階上は講堂、左端は無料宿泊所、裏手平屋は免囚收容所、同作業所炊事場、食堂、浴場等になつてゐる。この總建坪實に二百三坪、工費約二萬圓に達した。收容所は八十名、無料宿泊所は三十名收容の室が二間ある。これ

は何れも温突の設備になつて居るから夜具の如きも支那式に新調してあるさうだ。記者が同事務所を訪問したは十二月の始めであつたが、收容所、其他内部の雜工事が完成してなかつた爲め、被保護者は未だ移轉して居らず、僅かに菊地常務理事と事務員二三名が居住して工事の進捗を督勵して居つた。階上の講堂は南方の廣い窓から日光を受ける明るい暖かい部屋で、正面に演壇を設け、毎月一日報德會の趣旨に基き式を擧げ、教育勅語の奉讀、君が代の合唱をなした後、知名者或は理事者の精神上に關する訓話を試みる事になつて居る。新築講堂に於ては本年一月の元旦に祝賀式を擧行するさうだ。

以上は財團法人爲仁會の創立この方の概要である邊見氏は業務の一切を菊地氏に任せ、自分は單に名譽會長として竭して居たが、事務所、收容所等の新築工事の落成と共に、業務を一刷し且之を擴張せねばならぬので、直接進んで力を致す事となり、工事費が最初の豫算額より數千圓超過した結果、その捻出については菊地氏と共に苦心奔走した。因みに會長邊見勇彦氏は西南の役に西郷南洲と共に討死した邊見十郎太の遺子で明治三十七八年の日露戰役には滿洲で國事に奔走した人である。

被保護者の種類と就職狀態　爲仁會が今日までに得た處の財源は砂採取、雜草刈取、胞衣取除業、汚物掃除業等の外、昨年度分として大連市役所より六百圓の補助を受けたのみである。但し新築に對する關東廳と滿鐵の補助は別物である。今創業以來の狀態を聞くに、收容者は……

年次	邦人	鮮人	支那人	計	延人員
大正十年度	四三	三	二	四八	二、三四九
大正十一年度	五四	五	三	六二	三、二八五
大正十二年度	六二	七	六	七五	三、九〇五
計	一五九	一五	一一	一八五	九、五三六

で、此内の大正十二年度は十月二十日迄の收容者を示たものである。次に之等の收容者に對し爲仁會で直接職業を與へたのは洋服裁縫業、豆腐製造販賣業、洗濯業、食物行商、指物業、掃除業、胞衣取除業及び勞務供給等であつた。更に職業の紹介をなして就職せしめた者のうち、會社事務員となつて鄭家屯に行つたものと金州農園の農夫となつたものが二名あり、其他は何れも大連に於て就職した。その職業と人員を示せば次の如くである。

土木雜人夫	三	歷史寫眞屋	一	菓子職人	二

代書助手　一	製圖助手　二	株式店員　一
三味屋店員　一	洗濯屋　五	雑誌文具注文取　二
料理職人　五	洋服裁縫　九	牛乳配達　二
煉瓦職人　二	廣告配達　四	電氣職人　二
表具職工　一	木工　七	石工　一
食物行商　四	船員　二	暖房工　二
掃除人夫　二六	胞衣取除夫　一二	歸國者　三八
雜役者　四五		

被保護者のうち直ちに改悛したものは極めて尠なく、爲仁會に居れば衣食に窮しないから、と單に保護を受けて居るやうな者もある。是等の者は折角職業を授けて遣つても眞面目になつて働かない。また就職者中その後行衞不明になつたものが二十三名あり、再び拘禁されたものが十一名あつて、此の兩者は日本人の免囚に多い。比較的日本人が多數なので上記の就職者も日本人が大部分で、總數百八十五名のうち、日本人は百五十九名、朝鮮人は十五名、支那人は十一名である。尚ほ就職後死亡したのは支那人五名である。中には就職後懸命に働らいて貯金をなし爲仁會から明るい社會に向つて旅立つた殊勝なものもある。この感心な者は二十一名あつて其の貯金額は四百二十八圓五十一錢に達して居つた。一時爲仁會の厄介になつたが其後奮鬪して獨立し得たものが三名ある。一名は金州沿岸の鹽積船の苦力監督で、既に妻帶して可愛い男子まで出來て居り、一名は指物大工職で、大連において一家を構へ、立派に生計を立てゝゐる。他の一名は暖房職となつて熱心に働いて居る。不心得者もあるが又斯うした者もあるので世話甲斐があるのであらう。

維持費の年割額と新業務　今日までに爲仁會同人が維持費として醵金した金額は大正十年度に邊見氏外四名で金三千五百二十三圓八十六錢、同十一年度に邊見氏外一名で金二千三百十五圓、同十二年度に邊見氏外一名で金一千二百十圓、合計金七千四百四十八圓八十六錢に達してゐる。當初の五千圓は勿論この中に計上されてある。這うした事業は兎角財源が充分でないので、新規事業の計畫や、業務の擴張は容易でないが、然し今度の新築家屋では滿鐵用度課納品の鉞力細工と疊表の製造を始めることになつて居る。その外大連工業會社で請負ふて居る滿鐵現業員の洋服裁縫を引受け、一箇月五百着を限度として仕上げることになつて居るが、これは現在農事試驗場跡に爲仁會の洋服部として設置してあるものに多少

增員して着手するさうだ。斯うして爲仁會の事業も各方面の同情と援助とに依つて次第に發展して來たのであるが今後も此種の事業には十分の援助を與ねて着々大成の域に進めたいものだ。

滿鐵社會課の家庭研究所

家庭副業、家庭派遣婦、家庭講習會、其他

滿鐵會社の慰問係は今の社會課の前身で、社員慰藉の外、その家族を頽廢し易い新開地的氣風から救つて眞面目なる家庭へ善導すべく、名士の講演會を始め編物、割烹等の講習會を絶えず開催して居つたが、時代の進歩に伴ひ、故早川社長の就任後之を改めて現在の社會課としたのである。其の慰問係當時から社員の家族に對し一種の副業としてミシンや編物の奬勵をなし、その製作品を社員の希望者に配付して居つたが、それが非常な好評を博したので、昨年十月一日社會課の一部として家庭研究所なるものを市內近江町の元大陸青年團跡に設けた。主任は上川安雄氏である。目下所內の改修工事中であるから工事竣成次第、新計畫に向つて實行の歩を進め、家庭に於ける生活改善等の研究並に實行に遺憾のないやう設備を整へるさうだ。最近に於ける同所の狀況を聞くに大要左の如くである。

（一）家庭副業の奬勵　これまで一般家庭の副業として奬勵し來つたのは、ミシン裁縫、毛糸編物、砂糖袋の製造等であつた。元來滿鐵社員の待遇が好い爲め、這うした副業即ち內職は一般から歡迎されなかつたが、歐洲大戰後經濟界に一大變調を來たし、往時の成金も今は見る蔭もない哀れな狀態となり、何れの家庭にも等しく不景氣風が襲來したので、此の家庭の副業即ち內職が一躍して發展するやうになつた。即ちこれ迄のやうな輕佻浮華の風習は次第に薄らいで堅實味を帶び、中流以下の各社員の家庭においては何れも職業に重きを措くやうに成つて來た。これは洵に喜ぶべき現象である。

併し家庭研究所は副業を奬勵する計りが能事でなく、その製作品を一方に於て消化せしむべく其の販路を開かねばならぬのだが、これが却々の難事である。購入者は品質及び價格等を十分に吟味する。處が製作者は素人で、各家庭の用務の暇を利用して造るのであるから、製品が一定しない。靴下の如きも各號數を以て註文しても容易に註文通りに出來ないので、自然不評判になつて、思ふやうな成績を擧げることが出來ない。そこで、雜巾や砂糖袋のやうな簡單に出來て取扱ひの便利なものゝみを製作せしむることにして、直接家庭の搬出を一時中止し、其他の製作は研究所監督の下に行ふことになつた。さうすれば材料や製品上の間違が起らず、作業製品も一定したものが出來、購入者に滿足を與ふることになるので、改正後は余程成績が好くなつた。

家庭副業の理想からすれば、材料を各自の家庭に持込んで其の余暇を利用して製作すること、それが一番好いのであるが、這うするには最う一段の技術の練磨と公徳心の涵養とが必要である。研究所は開始してからまだ日が淺いのであるから、今日の場合技術の練磨は各家庭で行ひ、一方絶ねず講習會に出席して熱心技能を磨くより外なく、公徳心の涵養は全然各自の修養に待たねばならぬ。兎に角製品の成績が不良であつては、依頼者や購買者の信用を失ひ副業の供給を求むる上に大なる障害となるので、消極的の方法ではあるが、副業の大部分を所内に於て行ふこととし、成るべく優良品を製出すべく努めて居る。各種副業の状況は次の如くである。

(イ)砂糖袋の製造　これは滿鐵消費組合本部の註文に依て製作したもので、材料の用紙は市中より購入し、出來上がると直ぐ組合に納入したのであるが、一時に大量の製造を遣つた爲め、昨年七月以來製作を中止した。この製造は頗る簡易なるため小供にでも老人にでも出來、一時希望者が六十四名の多數に達したほど歡迎された。

(ロ)社用雜巾の製造　雜巾は滿鐵の用度課からその材料たる布屑の拂下けを受けて製造のうへ再び用度課に納入するのである。この仕事は年中絶ねないから、各家庭に於て適宜に製作すれば、研究所から一括して用度課に納入すると云ふ便法を採つてゐる。これは社員の各家族における老人の暇つぶしに最も恰當の仕事であらう。

(ハ)ミシン裁縫　ミシン裁縫の副業は主として滿鐵用度課の註文で、社用品の製作をするのであるが、その他一般社員から學生服や女子の洋服等の註文がある。何れも實用と經濟を旨として研究作製して居る。近年小供洋服が著しく發達した爲めこの種の註文は可なりに多く、絶えず仕事に追はれがちであると。また材料のみの註文も多數に上り研究所では各方面から見本を取寄せ良い材料を仕入れ流行に後れず而も經濟で實用向のものを實費で分配して居るが、市內の販賣價格に比較すれば三四割も安價に供給が出來るさうだ。從つて其の製品にも五六割の相違が生ずるわけである。家庭生活改善中、被服に關する改善研究は最も緊要で自家用の和洋服をミシンで製作するに至つたならば、經費の節約は勿論のこと、恐らく時間の上にもまた多大の經濟になるであらう。

現在此ミシン講習會は每週火、木、土の三日間に開催して居る。その使用ミシンは社用機械二臺自用機械八臺、計十臺で、婦人の副業として奬勵してゐるが、尙ほ擴張の上、五臺の機械を增設することになつて居る。この作業品は最も需要多く

副業的に從事しても一日壹圓から壹圓五拾錢の工賃を得ることは差した困難でないと云ふから、專門的職業として選ることになれば一日貳參圓の收益を擧げることが出來るだらう。

(ニ)家庭派遣婦　家庭派遣婦といふと何だか六ヶ敷く思はれるが、それは女中又は手傳ひ人の異名である。之れまでは此種のものを或は奉公人と稱し或は下女、下男と云つて、一種の奴隷扱ひにしたものだが、時代の進步と人智の向上は斯る方面にも及ひ、下女、下男の名稱は自然に廢せられ、從來『下女入用』とか『小僧入用』とかの貼紙が近頃では『女中さん入用』とか『小僧さん入用』とかに變つて來た。家族派遣婦はつまり女中の事である。研究所は家庭と密接な關係を結ぶため斯る周旋にまで手を延べる事になつたのだ。處が女中や手傳婦の拂底の大連であるから相當の申込みがある。研究所は需給兩者の希望を參酌し、年齡、性質、家庭の事情等を考慮して周旋するのであるが、それには相當の努力と時間を要する。昨年四月から九月までの半期間の需用申込數は五十三名で、これに對して派遣した人員は三十七名、取消し七名、不派遣九名といふ成績で

あつた。此の家庭派遣婦の世話が之れから盛んになれば此の周旋のみでも一仕事であらう。

(三)　家庭講習會其他

(イ)毛糸編物講習　これは從前から引續き開催され、毎週月曜、木曜の午後に三時間宛講習してゐるが、講習員は季節に依つて增減がある。目下の講習員は中產社員の家族が最も多數を占め、其他尙ほ社員家族の紹介で社員外の家族にも申込があるので、漸次增加してゐる。殊に大連は毛糸編物の全盛時代であるから此の講習員は向後益々增加することであらう。現在の講師は鰕原縫子女史で講習員は總べてヾ四十三名、一日平均の出席人員は二十名内外といふことである。

(ロ)ミシン裁縫講習　此のミシンの方は前にも記した通り毎週火、木、土の三日間で午前中三時間づゝ教授することになつて居る。講習といつても各家庭にそれぞれ都合があるので、期間を限つて教授することは困難であるため、從來の經驗に徵して入退會隨意とし、個人的に教授をなして居る從つて組織的に講習を施こすことが出來ないので大いに不便を不利を感じて居るが、所内の整理が出來たなれば、次第に組織的に改め、講習修了の證書も授與する計畫であるさうだ。目下の講師は中村兼一氏一名で、講習生は七八十名あるが、一日の平均出席人員は十五六名に過ぎない。

(ハ)リボンの講習　この講習は前後二回開催した。第一回は昨年八月八日から五日間近江町倶樂部に於て、第二回は九月六日から五日間大連倶樂部に於て開いた。本講習は大連に於ては始めての試みであつた爲め相當の成績を擧げた。引續いて第三回の講習を開催すべく目下準備中である。此のリボン講習の講師は加賀見鶴子女史であつて其の講習會員は二回で五十九名あつた。

(ニ)佐賀錦講習　昨年五月十四日より三日間近江町倶樂部に於て開催、講師は川崎小夜子女史、講習申込者は僅か十五名に過ぎなかつたが、其の成績は頗る見るべきものがあつた。

(ホ)生活改善講習　研究所の主催で昨年七月二日より三日間開催することになつたが、申込者八十四名の多數に上つたので、敷島町靑年會館を借受けて同所で開いた。講師は中村久榮女史で、生活

改善に關する實際に亙つた有益な講義があり、出席聽講者に多大の及響を與へた。

(ヘ)實地調理試演　昨年八月二十五日近江町倶樂部に於て開催、講師は東京割烹研究會長馬場秀吉氏といふ斯界の權威者で、來會者は何れも滿足したさうだ。當日の出席者は三十二名。

(ト)家庭不用品交換　第一回は滿鐵社員に限つて出品せしめたが、豫想外の成績を納めたので、第二回は社會課の主催に移して社員外の出品も許し大倉ビルデング樓上で開催した。滿鐵社會課が社内にのみ籠居せず一般社會に向つて次第に開放されて行くことは喜ばしい次第である。

(四)製作品陳列計畫　以上の講習會員には單に註文品の製作に止めず一般販賣品の製作をも爲さしむべく目下研究中である。靴下、セーター及び小供洋服類の如き一般向のものは市中商店でも引受けるさうだが、さうしては實際の需用者に低廉に供給することが出來ないから、研究所では改修中の所内に既製品の陳列室を設けて、一般家庭の必需品の參考に資し、それと同時に、希望者に分配してその利益を工賃の支拂に充當したなら一擧兩得で、副業の目的遂行には最も適切な方法であらう。既に或る商店から既製品の販賣を申込んで來てゐるが、今の處、所内の需要高が決定しないので、直ちに外部に向つて出すことは不可能であるとの事だ。この副業部の擴張と活動の如何に依つては相等の成績を擧げ得られることであらうと思はれる。

大連住宅組合　大連市内の住宅難緩和方法として住宅組合法の發布を見たのは大正十一年末で是れに準據して組合の設立を出願したものが七八組合あつて其のうち四組合だけは大連民政署より關東廳に申達された模樣で更に二三調査未了の分あるが追つて申達される筈であると云ふ是等住宅組合の希望する土地は種々の事情にて都合よく手に入るものなく兎も角現在空地として殘されてる譚家屯又は沙河口附近に限らるゝ模樣で中には星ヶ浦附近を選定中のものもあると云ふが何れにしても關東廳としては折角住宅組合法を發布して組合の成立を慫慂したる事であるから荏苒放任し置く譯にも行かず大體に於て土地處分方針が競賣特賣本位となつて居る今日では貸下は不可能であるので先づ十箇年賦の拂下と云ふ事に決定してそれ／＼出願組合の認可をすると云ふ事である而して出願組合の要求せる低利資金は一先づ東拓を通じての年九分利率の融通を得せしむる段取になつて居ると云ふことである。

救世軍の滿洲本部成る

新築落成した大連西廣場の新會館

大連に於ける救世軍の活動は近年著しく目立つて來た。殊に各種の社會事業が勃興するに從つて同軍に關係した仕事も益々廣汎に亙つて來たので、之れまでの西廣場會館では狹隘を感ずるばかりか、同館は木造の急造家屋で夙から改造の必要があつた爲め大正十二年八月より新築に着手し、十二月上旬竣工を告げ、同月二十日開館式を擧げた。建坪は僅か七十餘坪に過ぎないが、三階建であるから延坪にすれば實に二百十坪餘に達し、殊に市内目拔きの場所柄とて此の三階の建物は大連市の市街美に光彩を添へた。內部にはシチーム暖房の裝置までしたので、豫算額の三萬五千圓を若干突破したが、これが爲め冬季の會合にも何等支障なき事となつた。

新築會館の階下は集會用の廣間、二階は救世軍滿洲本部の事務所、三階は各士官の宿舍に使用するさうだが、細井中校の語るところに據れば、本會館の改造は數年來の宿題になつて居つたのであるが、種種なる事情のために起工するに至らなかつたところ其後關東廳、滿鐵會社を初め市內各有志者より深甚なる同情を寄せられたので、大正十二年に至り漸く新築するに至つたのである。本館はこれまで西廣場小隊として活動して居つたが、新會館の落成を機とし、此所に救世軍滿洲本部を置き、南山小隊、沙河口小隊、奉天分隊等の事務を統轄することになつた此の本部の設置と共に滿洲に於て一大活動を開始する方針であるが、それには又それ〴〵準備の必要があり、差當つて人事の相談が著しい繁忙であるから市の職業紹介所と相俟つて先づこの方面に努力したいと思ふ。其他宣傳等も時代に應じた方法を以て着着實行する方針である。唯茲に遺憾とする處は母國關東地方の震火災が各方面に影響して兎角新事業の計畫を阻止する傾向あることである。然し滿洲に於ける救世軍の本部は本館の新築落成と共に始めて基礎が出來たのであるから今後は一層努力して飽くまで其の本分を發揮するとの事である。

滿洲の社會施設と其の實行方法

會員各位より寄せられたる種々の答案

滿洲社會事業研究會は舊臘中各會員に對し往復ハガキで左の如き問題を發し回答を求めた。

拜啓　御承知の通り本會は機關雜誌發行以外種々の社會問題竝に社會事業に就いて調査研究し計畫立案のうへ實行促進に努め居候が新設及び改善を要する事業多々有之に拘はらず其の實現の遲々たるは洵に遺憾に存申候就いては此際滿洲に最も適切なる社會施設につき御意見を承り之を新年發行の機關雜誌『滿洲之社會』に掲載し且その實行を促進致度存候間來る十二月十日迄に何卒御回答賜り度此段特に得貴意候　敬具

大正十二年十二月

猶ほ『生産及び消費兩面に亙れる經濟上の社會施設竝に社會教化に關する施設等に就いても御考ヘ被下度候』として回答を請ふたところ期日迄に回答を寄せられたるは極めて少數にて遺憾此上もなき次第であるが今到着順に依り各位の回答を列記すれば……

軍人會分館

脇屋次郎

大連在住の在鄉軍人は憲兵隊での調査によれば五千人を越して居る今一人壹圓を完全に醵出すれば五千圓、二圓出して貰へば壹萬圓の義金は立どころに集まるそれに滿鐵なり關東廳なりの大頭株が援助して呉れゝば立派に在鄉軍人會の分館を大連に建てることが出來るこれが出來れば在鄉軍人の心と心との連絡が確實となつて軍人精神が社會的に實世間的に活動するし他の方面にも生氣潑溂の度を加へ國民皆兵の眞諦を發揮し以て能く大詔に酬ひ奉る鋼鐵の如き緊張した氣分になり得ると信ずる。

金融機關調査

武田愛次

滿洲に於ける生産消費の經濟的施設に對しての適切なる實法方法如何と云ふに余は先づ經濟策動の根源たる金融機關の基本調査殊に特殊銀行の從來行ひ來れる施設經營につき更に十分の調査研究をなす

を以て其の先行要務を認む斯くて徐ろに適切なる經濟施設の實行方法如何を討究致したし。

教化事業が肝腎

灘波勝治

方法は種々考へ合せなきにあらざるも要は社會事業に對する精神換言すれば社會生活氣分の涵養に關する教化事業が肝腎かと存候。

思想の善導

堀洋三

社會施設に就いては從來種々の意見や研究が積まれて居る樣なれば小生等は別に是れといふ新らしき考へなく實行するとしても今日の如き場合金を要する施設は當分見合はするを可とすべく斯る場合には靑年團なり他の團體なりにて思想の善導を圖り社會智識の普及に努むるが急務なるべし滿洲も母國關東地方が震火災にて破壞せられたると同樣の考へを抱き從策の棚から牡丹餅的慾望を制止し諸事堅實に働らき一方貯蓄思想を養成し日常生活の資料も出來るだけ滿洲產のものを用ふる樣にし健全なる社會的環境を造る事にしたし。

授產場設立

川村義郎

一大授產場を設立し一方無職者を收容すると共に是等のものに適宜の職を授け他方其の製產品を販賣處理する機關を作る事、但授產場の建物は既成建物を利用す。

答へは二ツ

田邊敏行

一、日用必需品殊に榮養食料品の相當なる價格調査と其の結果による不當利得の取締。

右の機關は解釋次第により商業會議所、市役所、關東廳（民政署を含む）の何れに設置するも可なるが關係事業家の利害に拘はらず突進調査し遠慮なく報告を爲すべき必要あるを以て其點特に考慮を要す右の調査だけは社會事業研究會が當るも可なり榮養食料品のうち牛乳の如き第一に調査に値すと思ふ。

二、一人又は一家族にて廣き土地を占有（官有地貸下、私有地所有の何れにても）することを抑止するところの立法行爲。

植民地に於ては舊國社會の百般の弊害より脫せる新しき良き社會を形成せざるべからざるに滿洲各地殊に大連に於ては植民地社會特有の缺點に搗て加へて舊日本の百弊を移植せんとしつゝ

あるの感あり就中有力者の土地兼併等將來の階級爭鬪を激成せんとする怖るべき傾向あり是れ吾人社會政策の研究に從事するものゝ最も見逃すべからざる事象にして又當局に向つて警告の緊切なるを覺ゆる所なり。

運動奬勵其他

村田懿麿

(1)老若男女に普く戸外運動を奬勵實行せしむること。
(2)現金賣買の厲行。
(3)市場を活用せしむるやう之れに對し改善を加ふること。
(4)公德心の養成。

實行と强制

邊見勇彦

生活改善・勤儉貯蓄等百般に渉りて社會施設を要すること尠からざるも要は實行を第一義とし家庭より隣人へ一町より一市へ漸次に普及せしむるの要あり例へば時間厲行の如き各自の公德的自覺に待つの外なきも實行捗々しからざる時は一種の强制法として遲刻者より名刺を受けて好意的注意を與へ將來を戒むるを可とすべし。

救濟施設が第一

黑崎眞也

滿洲に在りては特に貧にして病める者の救濟施設を第一とせられたし其の實行方法中此際最も行はれ易きは市役所をして之に當らしむるに在り市役所は前年の繰越し金（八、九萬圓ある筈）に加へて十萬圓の基金を作り年利七千圓を以て毎年の救濟費とすべし市役所は病者本人又は區委員の紹介申出に依り病人にして貧困なる人と認むればに對して『治療依賴票』を交付す而して市役所は豫め市内の醫師會及び滿鐵醫院とも協定し置き右『治療依賴票』を持參する場合は何れの醫師の治療をも受け得ることとす其の醫師は患者より受けたる『治療依賴票』を以て市役所より治療代の支拂を受くべし入院を要する患者及び普通藥價の費用を平均して假りに一日壹圓とすれば年に延べ人員七千人、月割五百八十二人の治療を爲すを得べし斯くの如き事業は時局柄より考慮するも明年二月前後行はせらるゝ御成婚大典記念事業としても共に極めて適當なるものと思惟す。

速成醫學其他

西片朝三

左記の如きが適切なものでせう。
一、邦人銀行において大洋も小洋

も取扱ふこと。

二、日本郵便局においても大洋及び小洋を取扱ふこと。

三、日華共通の權威ある商業局を新設すること。

四、一年半位で卒業すべき速成醫學校を新設し毎年少くも一千五百人以上の支那醫師を養成しそれと同時に之れに供給すべき藥店を開設すること。

斯く答へる

田村羊三

一般普通の在滿邦人をして眞に滿洲を愛着離るべからざる樂土たらしめ吾等にとりて親しみあり落付きある所たらしむるは總ての政策並に施設の基調であり出發點であると思ふ故に先づ高尙にして雅ひある生活を營むに適當なる環境を現出せしめねばならぬ。

此の意味において清楚なる大劇場美術館及び博物館が欲しい滿洲の門戶だ東洋第一の港だと云ふ大連にそれらしいものが一もないのを怪まずに居る人々が情けない然し之れは今の不景氣時代には望んでも駄目であるからせめて來るべき次の好況時代には忘れずに建てることに仕たいものである。

差當りの問題としては廣き意味の敎育問題である玆に云ふ敎育といふのは年少の子弟を意味するのみではなくして普通の場合における一人前の成人をも含むのである先づ公民敎育之れは從來の學校內の敎育に重きを置いた弊を矯め社會生活に必要なる資格を充分にしたいと云ふのである。店員店主に科學的に而も實際的の商業敎育、熟練職工に對して學術的理論及び一層技術の熟練を促すに足る補習學校、婦人の家政、育兒、社會に對する敎育、之等は滿洲における現在の敎室を利用し各々の方面における先驅者を講師とすることに依つて實行し得ると思ふ。

新聞雜誌等の言論機關が從來社會の醜惡事を摘發すること殊に一個人の私事私行に關すること等に就ては寧ろ紙上に掲載するを愼しみ反對に善事良俗の實例を探査して之を掲載し一般社會を善導する方針に出づれば社會敎育としての效果は偉大なるものであらう。

博物館と市場

武村清

一、一般民衆の科學的智識の增進に資すべき動的、工業的、原料(滿洲の)的諸要素を兼ね備へたる工藝博物館の新設(滿蒙開發策として最も必要)。

二、市場の改善、滿洲在來の不潔不完全なるものに一大改善を加ふるを要す上海の市場の如く建物に於て經營法に於て理想的のものたるを要望する。

精神の改良

勝俣喜十郎

滿洲において何れにも必要なるは精神の改良である精神上の改良は何に依りて爲すかと云へば夫れは力ある宗教である是なくしては何としても精神の改良は出來ない同時に經濟上にも社會敎化の上にも根本的改良の必要がある。

社會觀念養成

大内四郎

滿洲社會事業研究會は屢々意見を發表し評議員會を開きて重要問題を審議し又種々の方法を以て實行促進に努めて來たのに滿洲における社會施設が今尙ほ滿足に實現されないのは遺憾に堪ねない例へば西公園改造の如き公設市場、市公會堂、市營食堂等の如き聲のみで實が擧がらないソコで余は先決問題として一般に廣く汎く社會智識と社會觀念の養成をなすことが必要であると思ふ此の無形の根元を培養すれば早晩社會施設の實現を期待し得ることゝ信ずる。

少年團組織

ボーイス・カウト即ち少年團の我國にも必要なるは言ふ迄もないことで、現に日本の内地には少年赤十字や種々の少年團が設けられてあるが、此種社會施設の非常に遲れてある滿洲には兎角聲ばかりで未だ其の實が擧がらなかつた。我が滿洲社會事業研究會は夙に少年團の必要を提唱し、大正十二年四月發行の機關雜誌『滿洲之社會』には少年赤十字の目的、使命、組織及び事業について詳しく記して置いた。然るに最近に來り漸くそれが芽生ゐる樣になつて來た。

その一ツは豫てから計畫中であつた赤十字滿洲委員部の少年赤十字團で、昨年末いよ／＼其の團則と綱領を作り、先づ手初めに大連に設けられる筈である。他は旅順の少年團と大連奬學會の肝煎で出來るといふ少年團だ。何れも本年一月前後の東宮御慶事といふ目出度い日に發團式を擧けやうと夫々準備を急いで居る。出來るとなると一時に三ツも出來るやうになるが、何にしても結構なことで、之れに依つて社會敎育の活きた現實的の働きをして貰ひたい。

先づ家庭生活の改善より

法學博士　山脇玄

家庭の改善は社會改造の基調であると云ふ見地からして、年來種々研究を試みた結果、我國の婦人に對して語るべき我輩の希望條件は數多あるが、中にも我輩が主に奮起を望みたいのは中流以上の婦人である。今日は種々の文明の利器が入つて來ると共に家庭内の婦人の仕事が餘程減つて來、また或種類のものは社會や國家の事業に移されて、それだけ餘力を生じて來たから、婦人も社會國家の事業に携つて大いに働くが宜い。若し國家社會の爲めに働かなければ、國家社會を代表するものは男子ばかりで、女子は代表されないことになる。故に女子も社會へ出て自分達を代表するだけの活動を爲すべきは勿論の事で、其の前提として我輩は家庭生活の上に先づ差當り次のやうな改善刷新を加へ、仍つて以て家庭生活上の能率を上げさせたいと思ふ。

在來の我國の家庭生活は甚だ複雜で、時間、費用の點において非常に不經濟な事を行つて居ると思はれる。文明の進歩すると共に社會が複雜になつて來れば、從つて多くの資金が必要になつて來る。それで適當に金を節約して成るべく有效に之を使用することが肝要である。之が爲めには何うしても家庭の改良を圖らなければならず、家庭の改良を圖るには先づ以て家屋の構造から改めなければならぬ。我國の内地の住宅のやうに長い緣側が多くあると、非常に人手を要するから、建築上幾分か西洋の樣式を折衷して不用な物を省き、緣側なども減らして、成べ

く勞力と時間を活かす樣にすることを考へなければならぬ。又五人の雇人は三人、三人の雇人は一人にするやうな工夫も必要であらう。子供が澤山ある家庭では雇人を使ふ代りに子供たちに働かせるが宜い家屋の構造が堅牢で、外出のとき戸締りを十分にして置いたならば、家族擧つて郊外へ遊びに行つても留守居が要らない。次は臺所の改造である。臺所は人の身體に譬ふれば胃の腑の如きもので、大切な人間の榮養物を支給する處であるが、それが我國では最も日當りの惡い陰氣な不潔な處に設けてある。客間などは始終使ふものでないから少々日當りが惡い處でも構はないが、臺所は不斷に使ふ所であるから廣からずとも採光通風に注意し、道具などもちやんと位置を定めて置く樣にしたい。さうすれば時間を要せずして料理が出來る。食品を入れる棚は奥行を短くして幅を廣くし、食物は成るべく硝子壜に入れその他必要な物は整然と列べて置き、場所を取らず且混雜せぬ樣に注意すべきである。板の間の下へ煉瓦で穴藏を造つて、漬物其他の物を貯藏し置き、板を起せば直ぐ取出せる樣にすべきである。

　次に食物も毎日三回ずつ煮炊するのは贅澤でもあ

り、手數でもあるから、晝食だけは有合せの品で濟して煮炊せぬ樣にしたい。煮炊を朝夕の二回に改めたならば人手の上に餘ほど餘裕を生ずるに違ひない今日でも榮養の爲めには肉類、雞卵、牛乳などを必要として居るけれども、醫學上研究の結果によれば日本人には決して其等の物のみとは限らない。古來用ひ來つた穀物、蔬菜、魚肉等で十分であると云ふことが證明されて居るから結構である。尤も病氣にでも罹つて固形物が攝れない場合は特別であるから此の時牛乳など飮むのは問ふ所でない。獸肉は消化は好いけれども腸胃を通過するに多くの時間を要して兎角腐敗し易いと云ふ缺點がある。

　それから、日本人の常食は玄米食にしたいと思ふ日本人は昔は玄米又は半搗米を用ゐて居つたが德川時代に至つて始めて精米を食する樣になつた。精米と玄米との滋養分を比較すると、三と七との割合で玄米の滋養分は七分であるから、殘りの三分だけを副食物を以て補へば足りるが、精米には滋養分が三分だけしか無いから、副食物を以て他の七分の滋養分を攝らなければならぬ。此點から云つても常食を玄米に改めることが必要である。世間では近ごろ大

分半搗米を食ふ樣になつて來たがまだ玄米までは進んで居ない。陸軍省では玄米の炊方を研究して餘程巧くなつたので戰時には玄米を用ゐる方針なさうだ。予は玄米常食論者であつて種々實驗して居るが少し慣れると上手に炊けて、糠臭くも何とも無しに食へる樣になれる。其のうへ腹工合も好く便通も滯らない。日本人は元來玄米を以て常食として居たのだから、昔に戻ると云ふ考へで玄米を食するならば國家經濟上大なる利益である。同時に各自の身體の榮養上にもまた極めて有效である。

日本人の衣服の改良もまた一大問題であるが何うもまだ思はしい良い考案を見ない。差當り家庭では婦人が仕事服を用ゐたら便利だらうと思ふ。股引の樣にせんでも、地の堅い雨に當つても差支ない物を用ゐ、袖などは長くせず綴つたりして短く、普通の筒袖と袖の間位に仕立て、上に着るものは腹の下までとし、下には別なものを穿いて、外出の際は袴を着ける樣にしたならば便利であらうと思ふ。人を訪問するには從來の儘でも宜いけれども用達には之を着て出掛ける樣にしたいものだ。在來の服裝では雨が降つたり風が吹いたりする時には外出するに困難で不便でそして値切になり易いものだ。

又女の嬰兒に袖のある衣服を着せるのは間違つてゐる。袖のある衣服は、女兒の身體の發達を妨げるのみならず、不經濟此上も無い陋習である。嬰兒には成るべく洗濯に便利な筒袖を着せて置く方が發育上にも經濟上にも宜いのである。尚ほ我國の家庭では、娘時代に出來るだけ綺麗な服裝をさせることになつて居るが、それは謬見である。娘時代は修養時代であるから衣服などは質素でなければならぬ。漸く成長して嫁入りをする時になつて身分相應の服裝をすれば宜い。人の妻となつて社交場裡へ出る樣になれば服裝は必要であるが、修學時代には餘り必要が無いと思ふ。世間の多くの親達は、子供を綺麗に飾り立てゝ、自分の玩具にして樂んで居る風があるが、此等は是非改良しなければならぬ。

東京その他の都市では毎日御用聞きの商人が來て日用品を賣込むが、右は面白からぬ慣習で、之は宜しく廢止すべきものと思ふ。主婦は成るべく青物市場とか青物店とかへ行つて、能く品物を比較研究して新鮮な物を廉價に購ふことが必要である。さうすれば小賣商人が戸毎に持つて來るだけの手數が省け

るから、一二割は安く買へるのみならず、非衞生的な古びた物を高價に買ふやうな間違もないで濟むだらう。我國の婦人は多くは終日家に居つて裁縫抔をして自然の外氣と社會の氛圍氣に觸れない生活をして居るから健康を損ずるのである。故に一日一度位づつ買物に出るときは、身體の發育上にも保健上にも尠なからぬ效益あることを疑はない。

此くの如く一家の主婦たる人々が、卑近な處にも又高遠な處にも着眼して、能く引締つて仕事をすれば能率が昂まつて、そこには餘程時間と費用との餘裕が生ずる。それを利用して自己の修養を積む心得が肝要である。そして都會に於ては、刺繡とかレースとか云ふ樣な手藝を、一日の餘つた時間を利用して練習することも一策である。かうして得たる資金は、之を貯蓄して置けば、公共事業にも、慈善事業にも、其他何にでも使ふことが出來る。各家庭の主婦が常に時間を活用し、又節約したる資金を以て材料を買入れ、そして何か手に覺ゑてゐる事をすればたとひ不景氣の時代でも左程困難することはあるまい。以上は先づ中流以上の婦人方が卒先して社會の爲めに働くことが急務であると思ふ。

歐米の家庭生活法研究

東京府立第一高等女學校長　市川源三

歐米を廻つた日本人には、物資の豐實、富の增殖が如何にも我國に比較して段違ひであることが一番著るしく眼に映ずる。然し余は此の方には觸れないで他方面の所感を一言したい。政治、經濟から學校敎育の如き、國民の外部に現はれた組織制度は、此の五十年間に大概我國に取入れられて居るので、米國へ行つても、英國へ行つても、其の規模や深さには多少の相違があつても、全く新しく珍らしく感ぜられるものが無かつたが、之に反して國民生活の基本である日常家庭生活の樣子は、我國と彼國との間

に非常なる差異が存するのに驚かざるを得なかつた西洋の文物を是れ日も足らざる勢ひで五十年來移入し續けても、家庭生活上の彼の長所が尙ほ少しも我が家庭の中に入り來らぬことは、余が旅行中最も深く感動し且遺憾とした一事であつた。

昨年の旅行中、余は出來得るだけ精細に彼の家庭生活の實際に就いて視察したが、視察すればする程長所は彼に多くして我に尠なきことを認めざるを得なかつた。之と同時に我が國民の生活改善は最早一日も緩うすべからざることを益々痛切に感じたのであつた。是程の顯著な家庭生活の彼の長所を我が國民は何故に採用しなかつた乎、一躍して專制政治から立憲政治に移り得た程の日本國民が、何故に此の手近に此の緊要なる問題をかくも長く等閑に附して居たであらう乎、此の疑問はシャートル上陸の瞬間から前後まで余が胸臆を徂徠したのであつた。或人は謂ふそれは我國が貧しいからであると。此の說明は一寸理由がある樣であるが、政治や、經濟や、學校敎育の採用の方が一層多額の資金を要することを思ふと、國民が貧しいと云ふ事が原因の全部であるとは認められない。そこで種々に考察して見た結果余は次のやうに之を論定したのである。

我が國民が立憲制を採り、近世生產制を採り得たのは、詳細に之を視察研究することが出來た結果であるが、不幸にして諸多の事情は、我が國民に歐米の家庭生活の實際を視察研究する機會を與へなかつた。之が今日に至るまで我が家庭生活が歐米のその外に孤立して尙ほ舊慣を墨守して居る結果を生んだのである。元來家庭生活の根本意義は夫婦關係の如何に存することは今更論ずるまでもあるまい。主婦たるものゝ權利が家庭のうちで確實に認められて夫からも、子供からも、破壞蹂躪せらるゝことが無い樣でなければ、家庭に中心が存立しない。中心なき家庭生活は結局無意義であると言はなければならぬ。そして之が正理であるとすれば、家庭生活改善の前提として、先づ夫婦關係の改善が必要であらねばならぬ。夫婦關係の改善、主婦の權利確立の實行が出來ないでは、生活改善を行はんとして見た處でそれは木に緣つて魚を求むるよりも一層困難であると言はねばならぬ。歐米の各家庭には主婦の權利が確實に認められ、隨つてまた權威がある、これが卽ち彼國家庭の第一の長所であるのだ。

然らば何故に此の覩易き道理が、五十餘年の長き間、我が國民の耳目から逸して今日に至つたのであらう乎。這は大いに講究すべき問題である。余が意見では、維新以來日本人の歐米に赴いたものは萬を以て算ふべきも、其の大部分は男子であつて、女子の留學者は極めて寡なかつた、と云ふ事實に歸すべきであると思はれる。男子の留學生は、殆んど國民の外部的生活卽ち政治、經濟、學術等の研究にのみ沒頭して、之を相當に我國に傳へることが出來たが遺憾ながら彼等は、歐米に行つて歐米の家庭の內容を探究咀嚼することが出來なかつた。女子の留學者中には、男子に劣らぬ秀才も少なくないが、何にしても數に於て甚だ尠ない上に、彼等の多くは獨身生活時代の人であり、其の履修したる所が技藝にのみ偏して居たので、到底廣く深く彼國の家庭を研究することが不可能であつた。況して歐米における家庭の中心たる夫婦關係の長所などの研究を遂げることは困難であつた。此等の事情によりして歐米家庭生活の長所が永く我が國民の眼に入らなかつたわけであつて今更遺憾に堪へない次第である。

此の缺陷を補ふ手段としては先づ歐米の留學や視察の方法に根本的變革を加へなければならぬと思はれる。則ち是まで行はれた單獨留學や單獨視察をば漸次に夫婦同伴制に改むべきである。若し維新以後の官吏や留學生や視察者の大部分が夫婦同伴であつたならば我が家庭生活改善のうへに與へた影響の如何に大なりしかは蓋し想像の外であつたらうと思ふ妻を携へた夫の眼に映ずる所、夫に伴ふ妻の眼に映ずる所は、必らずや歐米に於ける家庭並びに主婦の長所であらねばならぬから、夫婦同伴の外遊が行はれて居たならば、今日我國において叫ばれて居る生活改善の如きは疾うに片付いて居たことゝ思はれる然し今日之れに着手するともまだ遲れた譯では無い我が國民たるものは大いに此に眼を醒して、將來の官吏や留學生や視察者をば、事情の許す限り、夫婦同伴と云ふことにするが得策である。政府にて留學生を簡派する時でも向後は必らず夫婦同行の豫算を計上すべきは勿論の事であると思ふ。

今實際に就いて調べて見るに夫婦同行の費用は男子單獨のそれより五割位增すに止まる。それ丈けの費用の增加で、殆んど測定すべからざる程の國民生活上の大利益を得らるゝとすれば、何をか躊躇する

必要があらう。西洋では、海外ではない稍々遠い國内の旅行を命ずる時にも、官吏、會社員をして妻を同伴せしめることが稀でない。英國の某地では官吏の出張には是非妻を携ふべきことを命じて居る位である。若し出張を命ぜられた官吏が、自己の便宜上單獨旅行をした場合に、少しでも出先に於て品行上の風評が立てば、其の事實の有無に關せず、嚴重なる懲罰に處せらるゝ事になつて居る。

我國の留學生のうちにも留學地で下等な婦人に關係して居るものがあるのは掩ふべからざる事實である。此等の人々は極めて下卑たる婦人を通じて歐米の家庭を見、歸朝後口を極めて歐米の社會の醜陋を嘲けるものが尠なくないが、之は偶々以て自己の賤劣なりし過去の留學生活を暴露するものと言ひ得るであらう。此等品行上の問題から言つても、夫婦同行の留學視察は意義がある、況んや之によつて歐米國民の日常の家庭生活の眞諦を看取することが出來之を以て我が家庭生活の上に施し、依つて以て我が國民生活の改善を完成し、帝國をして外部的生活の發展と共に其の内部的家庭生活を充實せしめ、眞の文化生活を遂げしめ得ることを思ふたならば、事は決して小ならずと信ずるのである。

婦人の使命と家庭の副業

宮原茂雄

申す迄もなく、凡そ國家の基礎は國民の生活を安定するにありて、一家もまたそれと同樣であります私等は時勢の進歩に伴ひ、その風潮に順應せる生活を爲す爲めに、先づ第一にヨリ良き經濟狀態を維持し、ヨリ好き生活を營み、斯くて人間生活の幸福を受くる樣に努めねばなりません。其の方法はと云へば働くことであらうと思はれる。限られたる土地に多數の人々が生活し、相互に助け合ひ協同して働き然も出來る限り能率の增進を計る樣にし、斯くて時間と勞力費用を有效に使用せねばなりません。固よ

り私達は食はんが爲めにのみ働くものではありません、人間生活をして意義深からしめ、社會的に國家的に奉仕を遂げたいと思ふのであります。

婦人の使命は家庭にありと云ふ言葉は洵に意義深きもので、此の言葉は實に婦人特性の美しい傳統的な精神美であります。世上の婦人が必ずしも外に出て働かすとも少くとも日常生活を積極的ならしむる様に望むのであります。家庭勞働の大宗たる手藝の濫觴は太古より行はれたもの丶様でありますが、我國においても明治維新前後までは各藩の士族の家庭で機を織り燈心を卷き、其他種々なる仕事をして居つた事が傳へられてゐます。此の如く相當家祿を頂いて何不自由もなく暮して居た身分にも、時間を空費せずに能く働く風習があつたのですが、それが其後段々に頽れて何時とはなく婦人の家庭副業を卑しむ風が漸次生じて來た様であります。

私は手藝を尊重し、之れが普及發達を圖ると共に家庭に於ける婦人の働きを一層力あらしめ、經濟上に之れを資せしむる様に努めたいと思ふのであります。近時各種の家庭副業が漸次發達し、農村又は漁村では藁細工、製紙、製茶、屑繭整理、養蠶、養鷄

木竹加工、工賃織等その外多數見受けらる丶のでありますが、市街地での家庭副業は余り顧みられぬ様な傾向があつたのであります。而も市街地の居住者には相當なる技術を有し、且つ農村漁村の生活者に比し働くべき時間の餘裕を多く持ちながら、而も無爲に日時を過ごされたものであります。家庭副業は從來内職なる言葉に支配せられたるが如く、或人は『内職せずとも生活には何不自由はない』とか、或人は『内職は外聞が惡い』とかの言葉で一概に之を卑しめたもの丶様であります。私は之等の思想を婦人達に持つに至らしめた經過を悲みます。

然るに近時此の思想も漸次薄らぎ、家庭内職の必要を力說し、實行せらる丶もの日々增加し、講習會開設に對しても以外の申込者がある様で、甚だ喜んでゐる次第であります。尙此の機械を利用して更に一歩を進めて貰ひたいと思ふ。御承知の通り副業は尠少なる餘剩勞力を利用し個々別々に從業せらる丶のでありますから、原料の購入、生產品の販賣等に關しては、特に共同的作業の有利なることが明白でありますから、講習と共に併せて副業の價値を發揮することが出來るやうに望みます。

政局風雲觀

●復興豫算と事後承諾の件を議した臨時帝國議會は一時惡氣流が漂ふて解散説なぞ傳はつたが政府の隱忍で無事に納まつた●屈服と言へば屈服だが臨時議會を解散するのは政府に取つて不利だから隱忍したのだらう●山本首相が『修正案と政府案とには大きな差があつて帝國復興に支障を來たし罹災民に重大關係を及ぼすから政府はこれが實行に出來るだけ努力する猶ほ政府は他に深い決心を有つて居る』と凄文句を放つた●老ひたりと雖もライオン首相の面目が此の言葉の中に躍如として居る『他に深い決心を有つて居る』と云ふのは何だらう●政友會側議席から此の答辯に對し『屈服かこれとも議會解散か諒解が出來ない』と言つた者があるのも尤千萬だ●斯うして臨時議會は曲りなりにも濟んだが通常議會は何んな風になるだらう政府が果して『他に深い決心を有つて居る』なら通常議會は無事に濟むまい●後藤復興院總裁の面目は踏みにじられたが內相として之から本舞臺に入つて大いに爲さねばならぬ事があるから先づ隱忍に若くはあるまい●火保の握り潰しで田農相の顏が潰れたとて辭表提出となつたが之には別に理由があらう●犬養遞相が辭表を出したと云ふ說も傳はつたが遞相の仕事は通常議會にあるのだから恐らく隱忍して滅太に飛び出すやうな事はあるまいと思ふ●政友會としては復興問題で出來るだけ政府に喧嘩を賣りそして解散を喰ふ方が得策なのでアレ丈けの思ひ切つた削減をやつたのだらうがチト當が外れた譯だ●政友會は農民黨とも云へるから帝都民より少々位反感を受けても困らぬ筈だ復興豫算の大削減も此邊から出たのだ●復興費が第一に審議會で削られ第二に衆議院でまた削られては復興院の縮少も是非ないわけで審議會も序に廢すべしだ●臨時議會は芝居の花道のやうなもので通常議會が本舞臺で此の本舞臺で政府と政友會とが何んな取組みをするかは手を汗を握つて觀るべき幕である●普選即行で政府がのして行つたら政友會は何う出るだらう山本首相は果して普選即行の堅い決意を有つて居るか●萬一にも普選案まで政友會のために隱忍する樣な事になればライオン首相の値打はゼロになつて內閣の斷末魔となる●以上は節季師走の十二月廿四日に書いたのだから其の積りで見て下さい。

社會問題彙報

兒童倶樂部と婦人宿泊館

新たに設置された東京九段下愛國婦人會本部内の社會部では差當り二個の新事業を計畫中である第一は兒童クラブの建設、第二は婦人宿泊館の建設だ兒童クラブと云ふのは主として學齢兒童及び幼兒の保健、修養、娯樂の爲めの會館の建設であつて市内で必要と認めた築地、芝公園、深川公園の三ヶ所に一ヶ所二百五十坪以上の市有地を選びそこに鐵筋コンクリート二階建總坪數百六十坪の會館を建設するのである設備としては階下に約五十名の兒童を收容し得べき兒童圖書館、百人以上の幼兒を收容し得べき託兒所それに附屬して兒童健康診斷所、兒童無料浴場、娯樂室等を設け階上には一時に五百人を收容し得べき集會室と大廣間を設けて活動寫眞、お伽話、兒童音樂、兒童劇等の映寫演出をなし得る設備を完成するさうで建築費用は一ヶ所五萬圓三ヶ所にて十五萬圓の豫算である。

第二の婦人宿泊館は大都市に於ける從來の缺點中婦人の爲めに最も不完備だと云はれた婦人のみの宿泊機關を建設完備しようと云ふ時勢の切なる要求を觀取して計畫されんとするもので之も第一に健康と衞生の機關を設け無料診療の設備を完成し職業なきものには職業を與へ婦人の爲めに自活自營の方法を講じ若き青年子女の誘惑から免れ得べき温き塒となり徐ろに職を求めて生活の不安から脱却し立ちて社會國家の中堅たるに足る修養と職業とを自由に得させんとするものである會館は一時に百人以上を宿泊せしむべき日本婦人の生活に最も適合したる設備となし圖書館、浴場、娯樂室は固より階上、大集會室、大廣間は各種の娯樂設備と婦人問題講演會などを開き得る一時に五百人以上を收容し得べき質實堅牢の設備をせんとするもので之も市内の要所に三個を建設するさうだ。

大連の滿鐵社員中央倶樂部

滿鐵では十三年度において四五年からの懸案であつた滿鐵中央倶樂部を滿鐵本社横手に建設する事に決した之に就き社會課工藤參事は語る「四五年前からの問題であつた中央倶樂部は愈々十三年度の春季を待つて直ちに着工することゝなり目下建築課において設計中である從來滿鐵では沿線各地に倶樂部を建設しながら大連の膝下にその設置を見なかつたのは實は大連が滿洲に於ける大都市である丈け沿線に比し社員及び家族の娯樂機關が社外において既に整ひ多種多樣の便宜があつたからで自然大連を後廻りにし沿線から設置に取掛つたのであるが大體今日ではそれが緩和したので十三年度に愈々建設といふ事に運んだ譯である工費は確然と發表は出來ぬが二十數萬圓を投ずる事になつてゐる。

建坪は千餘坪に上り相當の設備をなす筈である先づ階下には大集會場を設けるのであるがこれは各種の講演會や協議會或は美術展覽會の如き滿鐵主催の事を他に部屋借などをせずに開催する用に當てるものでその階上には運動場を設け階下には娯樂室や其他各種の室を設け階上の一部に食堂、三階に談話室、讀書室等を造り尚ほ理想的の柔劍兩道の道場をも設ける事になつてゐる現在の露西亞町にある道場は周知の如く木造建で然も十數年間使用せる爲め大分各箇所が損じ且つ武道教授上にも支障を生ずると云ふ有樣にあるので倶樂

部と共に建設される事となつたのである要するに建物の内容は大體此の如うなものであるが更に附屬として倶樂部の周圍にテニスコートや其他屋外運動場も設くる事にしてある本年春解氷を待つて工を起すのであるから晩秋頃には全部竣成する事と思ふ」と

震災後の市民新生活の開展

總てを失つた東京市民は帝都復興の第一線にのぞんで甦つた新生活を開展しやうとしてゐる而かも在來の無駄の多かつた二重生活からどうかして合理的な簡便なものにしやうと努力してゐる事は市內各所のマーケツト其他家具日用品店の需用品に依つて窺ひ知ることが出來る總べてがたゞ簡單で便利であると云ふだけでは可けない美的生活を強く要求してゐる震火災當時こそ「間に合ひさへすれば」で濟んだが周圍の氣分が漸次平靜に復するにつれて今日ではそこにゆとりのある氣持のよい生活を望んで來たその結果同じ日用品を買ふにしても先づ第一に堅牢である事、第二に美しいものである事を條件として來た卽ち少し値は高くも品質が堅牢で優美で使つてゆけばゆくほどその本質がみがき出されて現はれて來るといつた樣なものでそれも震災前のやうな單に體裁のみに重きをおく安手な化粧式のものではなしに澁くおちついてゐて而も耐久性のあるものほど歡迎されてゐる。

假へば櫃にしても一升入一圓位の白杉とか一圓七十錢位の品質の悪いさはらなどよりもさはらの柾目の通つた身の厚い一升入七圓もするといふ樣な長持のするものが喜ばれ食卓も安いものよりは拭き込んで艶の出てゆく如輪などのもの漆器類も漆の堅い澁いもので持ちのよいもの陶器類も名古屋方面のけばけばしい色彩よりおちついた感じのもの又長火鉢や鏡臺にしても品質のよい大きさは中位のものが迎へられ殊に手あぶりなどは八九圓の角火鉢が一番受けてゐる安いのと體裁がよいので竹かごの今戶火鉢も一般バラツク居住者に受けてゐる此の樣にすべてが實質本位にそして優美なものを要求してゐるが只單簡だけは此度の震災によつて簡單な十圓から十五六圓位までのトランクが非常に迎へられてゐるそれから臺所道具も在來のブリキとか桶類よりも衞生的であり優美であり經濟的であるといふ處からアルミニユームやニツケル製のものが非常に歡迎されて來た次に化粧品類であるがこれはやはり女の生活にはなくてはならぬ實用品として考へられて來たのか需要を増すとも減つた樣子はなく安いものよりも品質のよい高いものが歡迎されてゐると。

追々始末のつく保健浴場

財團法人大連保健浴場は森上氏の十萬圓其他の寄附行爲で十四五萬圓の基金を擁し西公園內に新築されたが幾多の故障を經て漸く此程完成を見る事となつた然し例の鈴木敏弘の四萬圓私消事件のため請負金の支拂は完了せず從つて事業開始期は未定であるが鈴木のため橫領私消された四萬圓の補塡に就いては理事者において協議の結果その事情を具して關東廳及び滿鐵等より補助金を得ることに大體決定し居るものゝ如くである。

然るうへ財團として尙ほ存續經營の任に當るか或は財團を解散して大連市役所に引繼ぎ經營せしむるか又は他の適當なる方法を講ずるかにあるが大連市としては村井市長の言明せるが如く借金を背負ふたまゝ持込まれるのでは貧乏世帶の市で困るとの事であるから缺損金の補塡さへ出來れば市が將來の經營を引受けるに至るかも知れない財團法人としては萬一缺損金の補塡が出來たにしても將來經營上の基礎が確定せぬ以上困難な立場にあるから目鼻が付いたら市に引渡すのが上策である

かも知れない他面全滿洲競技組合の如きも同場を冬季水泳練習場として適當に利用したい希望があるが競技聯合も未だ基金を擁せないといふ有樣だから是れが經營の全權を引受ける資力を持たないので利用計畫に對する希望條件を提出し開始後は相當の效果を收めたいと意氣込んで居る而してその開始は本年一月又は二月頃になる模樣である。

成績のいゝ滿鐵家庭派遣婦

滿鐵社會課でやつてゐる家庭派遣婦の成績は極めて良好で殆ど希望申込みが絶えたことがなく需要に應じ難い程であると尤も派遣婦といふても特定の婦人がゐる譯でなく雇傭者側も被雇傭者側も家庭研究所に申込んで置くと取扱ひ者が其の派遣の種類、派遣婦、女中かボーイとか需要者の希望を參酌し年齡、性質家庭の事情等を考慮し兩者の希望を程好く取纏めるので取扱ひ者としては人知れぬ苦勞もあり相當手數もかゝるので若しそれが旨く纏まれば人事ながら嬉しいけれどもそれ程までにして纏まらないとウンザりすると云ふことだが成績無理もないことである。

最近需要申込み五三に對して派遣人員三七取消七、不穩當先で需要に應ぜられない等樣であることは別項にも記してある通りだ此の派遣婦を通じて大連の所謂紳士の家庭を見ると一般の婦人が外で活動するだけの資格が殘念ながらないとしか想はれない次に派遣を取消して歸つて來た者について二三その理由を聞くと一人は大連で第一流とも云ふべき家庭に派遣されたのだがその派遣婦が入浴の時そこに掛けてあつた鏡で化粧した所がそれを見た奥樣曰く「女主人の使用すべき鏡を雇人の分際で使ふとは不都合だ」といふたッャリ主人と同じ鏡に顏をうつすは不合都だといふのでその奥樣に愛憎をつかして引き下つたのだ今一人は食事のとき雇人の分際で疊の上でするのは分不相應だときめつけられ斯んな所には居られない御免蒙ると引下つたのだといふがまるでウソのやうな而もホントウの話しであるから呆れはてる成績はいゝが派遣婦たるもまた難いかなと言ふべしだ。

東京市社會局での保護事業

東京市社會局では罹災家庭の乳幼兒の保護に就いて七十萬圓前後の金を投げ出し成べく死亡の憂目を見ないやうに八方から此の保護事業を始める準備をしてゐる先づ第一に二十四萬圓で一枚六圓の布團を四萬枚買ひ集めて之を乳幼兒を抱へた母親へ配り猶は二萬圓で一着二圓五十錢の幼兒の着物と防寒附屬物を千人分これも母親へ手渡した第二の事業は四十萬圓の豫算で直營小學校及びバラック小學校の學校兒童の外一般の罹災者の學齡未滿の幼兒に對しての榮養給與所も適當な場所を選んで二十ヶ所許り設けられる此の事業が最も幼兒保護中大切なもので少し弱い兒にはすべて市が作つた献立で給食する樣になる譯である第三は仕事に出て働く女の爲めに託兒所を五ヶ所に設けられる中は既に開所になつてゐる場所は本所江東橋、深川富川町、築地市營住宅內、下谷龍寺泉町、戶田伯爵邸內、小石川植物園內等である第四は產院と乳兒院で築地明石町の聖路加病院の內に新しく設けられた產院及び乳兒院は院長トイスラー博士指揮の下に無料で入院させてゐるし下谷龍泉寺町戶田伯爵邸內に新築中の產院及び乳兒院は慶應產婦人科の川添醫學博士が管理して十二月上旬から開院になる運びである。

第五の事業としては牛乳配給で之は震災當時から續けてゐるもので目下は小石川氷川下町與眞舍に市の係の者が出張して之を本部にして三十ヶ所七石餘の牛乳を數千人の乳幼兒に無料で配つてゐる第六は兒童の健康相談所

で之はまた上野公園の小松宮銅像前に一ヶ所ある許りであるが此處は保育の相談許りでなく診察も治療もやつてゐる第三は迷子で之は三百五十人あつたものがだん／＼引取られて今では僅かに五十人ばかりの迷兒が將來の有樣園に殘つてゐるのみになつた最後に重大な問題は子供の遊園地の問題で三百萬圓の經費があれば充分の設備が復興する都市に作り上げられるので研究中だつたが手取早く下谷龍泉寺町の戸田伯爵邸内に震災後第一の兒童遊園地を作ることに定まつたやうだ。

大連市水上署の保護事業

　大連水上署保護事業は從來兼務的に取扱はれてゐたが保護の徹底と最善の處置を取る爲めと兼ねて將來に備へる爲めに專務者を設け保護係を特設することになつた是に就いて長山署長は語る「古くは巡査が兼務で取扱ひ先頃になつて婦人を採用し專任としてゐたが夫れが辭任してからは再び兼務で取扱はして居る然るに取扱件數は年々增加の一方で昨年一月以降十二月までの取扱件數約二千件に達して居るこれは大連及び沿線各地の發展に伴れて將來益々增加するばかりであるが其の種類も漸く復雜になつて來る將來滿洲で不良少年不良少女の問題が起る樣になれば先づ第一番にぶつかるのが水上署であらう好ましい事でないが將來において船員の同盟罷業といふ樣な事件が發生せぬものとも限らない是等に備へる爲めにも署の昇格問題は別にして今から相當の準備をして置く必要がある。

　今日實施して居る保護は一厘の費用も用ひずに爲し來つたが被保護者の種類に依つては費用を要せず濟むものもあるし相當出費を要するものもあつて現狀で押通すことは弊害を醸す恐があり勞々保護と其の處置を誤らぬ樣にする爲めには調査も充分にする必要があれば内地方面との連絡も緊密なものにする必要がある此の意見は幸ひ上司も贊成されたので近い將來に實現する積りで居る只難しいのは人の問題である問題の多くは人情の機微に觸れる事柄が多いのと中には利用しやうとする横着者も居るから中々單純な仕事でない人格者であつて理解あり洞察力のある人物でなければ滿足な結果を得られないから此の理想的な人を得るまでには相當の苦心が要るが是も關東廳當局で人選して呉れる筈になつて居る婦人巡査の志望者は可なり多數あつた當署に直接志願したものもあつたが關東廳の方に出て居るのもある夫等の中から人選中でまだ誰とも確定してない外に通譯者を一名採用することになつたが是は既に人選を了し近く關東廳から發表を見る筈である」と。

勞農露國が日本無産者救助

　昨年九月の震災に對し勞農露國は直にレニン號を特派したところ何かの行違ひで目的を果さなかつたが勞農政府ではどうしても吾々は日本の勞働者と無産者を極力援助するとて中央執行委員中に日本勞働者並に無産階級震災援助會を起し會長に共産黨員ミエノウエフを擧げ片山潛氏が理事となり積極的に援助を與へることゝなりその手段として先づ日本の勞働者無産者に沿海州とカムチヤツカ漁區及び森林について三十六箇年の租借權を與へ租借料も普通の四分の一に引下げ料金後納その他あらゆる便宜を與へその資金として勞働露國中央執行委員會は金十五萬圓を日本勞働總同盟會長鈴木文治氏へ手交するに決し直にレニン號で來た二青年が其使命を帶びて上海に到着渡來の機を窺つてゐると。

　右につき鈴木文治氏は曰く「自分のところには何等通牒もないので全然知らないが若し勞働者の救濟とかいふ意味で提供して與れるのなら受けても可いが共産黨の宣傳とか何

さかといふやうな條件の意味が含まれてゐるものならば斷然斥ける積りである何れにしても勞働者の國際的扶助機關の本部が獨逸にあるので若し眞に勞働者を扶けるといふ意味での提供ならば此の方面の諒解あることと思ふが受くる場合にも國際的に十分勞働者の諒解を得てからにしたい」云々。

盛に殖れて來る大連の空屋

大正八九年の好景氣時代の大連市膨脹率は著しい形勢を示したので市內住宅の缺乏を來し從つて家主は法外の家賃吊上に依つて暴利を食つたものだが其後郊外住宅の增建、民政署其他官署の官舍新築、市營住宅の經營、滿鐵社宅の增築等で漸次緩和せられ高級住宅向大商店、會社事務所向の家屋はボツ〳〵空家を發見するに至つたが尙ほ中流以下の住宅向家屋は依然拂底を告げつゝあつた然るに昨年に入りて更に滿鐵社宅や市營住宅等の竣工又は郊外住宅の增加で數百戸の新築家屋が市民の前に提供さるゝ樣になり弗々その家屋に移轉を見るに至つたので漸く市中にも中流以下の空家を發見する外、聖德街、沙河口方面の民家は著しく其數を增し周水子土地會社の建物の如きは從來滿鐵鐵道部方面現業員の代用社宅として契約されつゝあつたのだが沙河口の滿鐵代用社宅の竣工と共にその方面に移轉したものが相當あつて周水子土地會社は是れまで經驗しない空家苦を味ふ事となつたのでその善後策を研究中だといふ。

市營住宅なども昨年十二月中に商工學校裏の七戸と譚家屯の六七十戸が移轉する事になつて居るのであるが而かも市內の家賃は好景氣時代の家賃を其儘取立てゐる處が多いから今日空家を多數見るやうになつたからとて家主は悔ゆる處はあるまいけれども今後は家賃の値下をして新規の借家人を收容する策を取らなければ舊式の高い家賃の家屋は今後恐らく空家となつたまゝ立腐れになるのがあるかも知れぬ併しこれは自業自得と云はればならぬことで當然の歸結であらう。

大連活動寫眞の入場料問題

大連の活動寫眞は入場料が高過ぎるといふ事を往々耳にするが試みに一寸覗いて見やうとしても特等六十錢、普通四十錢、中へ入つて座蒲團が五錢、煙草盆が五錢、火鉢が十錢とあつて散步の序に一時間か二時間鬱晴らしをしやうとするにも普通席で六十五錢、特等へ上らうものなら一圓の金がなければ見ることが出來ぬといふ狀態シカもこれは普通興行の場合で少し氣の利いた新しいフイルムでも持つて來た場合には忽ち特別興行といふ名目のもとに入場料を八十錢か六十錢に引上げるこれでは他のものに比較して高いといはれるのは無理もないことで其のうへ此の料金は好景氣時代に引上げたものを其のまゝ踏襲して諸物價が漸次下落をした今日でも未だ曾て一度も値下げをして居ないといふに至つては見やうによつては如何にも暴利を貪るといはれても仕方がないやうに思はれる。

勿論この活動寫眞は他のものと違つてフイルムなども精巧になるに從つて餘計に金もかかるだらうし家賃も給料も內地に比較したら高いだらうけれども中產階級以下の人々をお御得意として其の娛樂機關と看做されてゐる以上もう少しく安値にするのが至當であると云ふのであるが之れに對し取締り官廳たる大連警務署では先頃來種々研究もした結果滿洲は內地と違ひ諸經費も多くかゝるから其點を斟酌して普通興行の場合は入場料を特等五十錢、普通三十錢、特別興行の場合は特等六十錢、普通四十錢に値下げを命ずることに決定し近く營業者に通告する筈であると先づ此の位なところが至當であらうか。

デパート内部の改善事項

東京の金持婦人の虚榮の殿堂とまで云はれた多くのデパートメントストアーは實際民衆相手のデパートとしての本來の使命を果すことが出來なかつたが震災後のデパートは何れも此點に悟る所あつてか從來の無駄な設備を廢して眞に良い品物を廉く賣る方へ近づいて來た今日までデパート内の改善問題は買手のお客その内でも特に婦人の氣分と相待つて實行しなければならぬ事であつたが婦人の考へも今度の地震で餘程變つたから次のやうな改善は實行出來さうである先づ第一に掛け賣りの廢止、次が下足の廢止、第三は商品の裝飾包裝の廢止、第四は或程度の配達の廢止小さくは休憩室に於ける女給の廢止等の問題である此のデパートメンストアーの改善に就いて絶えず研究を進めて來てゐる白木屋の販賣部長森淸治氏は左の如く語つた。

掛賣りは非常に重寶のやうで實はお互に不利な事が多いのです例へはこちらの店だけにしても此の爲めに絶えず百萬圓近くの融通金が飛んで歩いてゐた位ですから之れは眞先に廢さうと思ひます買ふ方から言つても一家經濟の上に常然現金買ひの良いことは申すまでもありせんその次に大きい問題は買ひ物の配達です今日まではどんな小さなものでも無料で屆けてゐましたが實はこの費用として一箇の品物に十五六錢は要つてゐました交通が不便だつたり少し着物を飾ると買物を持ち歸ることを厭ふかも知れませんが之れも買ふ方の利益として嵩ばらぬもの以外にはお待ち歸りの出來るやうお奬めする考へです猶ほこちらで改善したい事は商品の飾りと包裝ですこれは極く上等のものは別として一般向きのものは廢めたいと思ひます之れによつて五圓位の品物でも一箇に就いて三分十五錢位は廉くなります下足の廢止も實行しますが之によつて約六十人の人手が十二三人に節減され休憩室の女給も廢めて自動茶飲器を置けば却つてサツパリして可からうと思ひます。

伯林の無料宿泊所と養老院

戰前「伯林には乞食なし」と云はれて居たがそれが今日では無料宿泊所に每日〳〵澤山の浮浪人や窮民が自分の方から押寄せ定員の二千三百を超過してゐる此の無料宿泊所は堂々たる赤瓦煉の三層樓の建物で一室に百人分づつの寢臺が並べられ男女別々の部屋に區別せられ病人及び產婦などを收容する室も遺憾なく準備されて居る炊事場の如き戰爭中陸軍で使つた八百リーターの二重蒸汽大釜四箇を据付け營養所で研究された安くてカロリーの多いものを朝夕二回收容者全部に無料で與にてゐる收容時間は每日午後七時より朝十時半までで(病者を除く外)晝間は各室の洗滌消毒等をなし夕刻新たに來る者の爲めに二百三十人の勤務員が準備するのである。

一方養老院は是れまた三層樓の立派な建物で無料宿泊所と隣合せに建てられてある總ての規模設備等は大體無料宿泊所と同樣で收容人員も可なり澤山ゐる寄邊なき老人病者は此處に身をよせて篤き看護を受けるのであるが悲しい事には經費の都合上充分なる營養物を攝取させる事が出來ないので八十にも九十にもなる老衰者が瘦軀をベットに橫ゑて呻吟してゐる樣は見るも氣の毒である無料宿泊所と云ひ養老院と云ひ獨逸としては戰前は兎に角現時に於て最も其の必要を認めるので疲弊し切つた財政の裡にも此種の事業に銳意努力してゐるわけで此點は流石に社會政策を誇る獨逸だと感ぜずにはゐられないと某歸朝者は語つた因みに獨逸の今日は極めて混沌たるものだが其の社會組織の根底には何處かに力強いところが有るといふことである。

雜煮文字

◆『急がば廻れ』と云ふことがあるが突貫式の我々日本人は何うも短兵急で困る◆日清戰役にも日露戰役にも肉彈の突貫主義で奇捷を制したその國民性が平時の場合にも現はれ此の滿洲でも今以て濡手に粟の大掴みをしたがる者がある◆人生僅かに五十年、七十は古來稀なり細く長いよりも太く短かい方がいいと考へて株や豆や土地や家屋に大きな思惑をやつてドカ儲けをしやうとする◆八年から九年への空景氣時代にはそれが最も如實に表現され有象無象相率ひて悉く投機師となり虚業家となつた◆『金よりも事業を遺せ』といふ金言があるのに事業などは何うでも構はぬ金さへ儲かればいゝと云ふ調子で突貫した◆短兵急に突貫した當時の光景は洵に凄まじかりける次第であつたが土臺が蜃氣樓的幻影であつたので反動が來ると一溜りもなくバタ〳〵と將棋倒れ◆斯うして殘るは借金と紙屑に等しい株劵ばかり◆色んな事業が雨後の筍の如くに起つたが眞實の生産事業として生きたのは何程もない當時の事業會社の多くは破綻百出で彌縫すればするほど襤褸が出る◆結局は金も遺らず事業も遺らずで九年四月以來は何處も彼處も不景氣で困るといふ溜息ばかりイヤハヤ何ともお話にならぬ◆時には乾坤一擲の快擧を試むるも面白からうがお先眞ッ暗な無謀の企てが成功する筈はない夫れよりも細く長く廻り薄くともヂリ〳〵と歩を進めた方がいゝ◆勿論物語りで事實有つた事ではあるまいが牛若丸と辨慶とが米を三升炊いてそれを半分宛分けて糊を作る競技をしたと云ふ話は非常に味のある話だ◆辨慶は一升五合の飯粒を大きな擂鉢に入れて大きな擂古木でゴシ〳〵と擂り初めた◆すると義經の牛若丸はニヤ〳〵笑ひながら他の半分の飯粒を幅二三寸に長五六寸の小さな板の上に少しづゝ載せて丁寧に竹篦で押し潰してゐる◆辨慶の方は大馬力をかけて遣つたので團子のやうな塊りが早く出來上つたが粒が混つてゐて何度擂り返しても糊にならない◆牛若丸の方は一粒二粒と竹篦で練るのだから頗る漫々だが偖て出來上つて見ると此方が完全な糊になつて居た◆ソコで最後の勝利は牛若丸に歸し荒法師の辨慶は又しても五條の橋におけると同じやうな不覺を取つてその坊主頭を抱へながらイヤ何うも糊は

ねと言つたさうな◆『急がば廻れ』とは此處のことだ場合によつては短兵急の大摑み鷲摑みも可からうが最後の勝利は辨慶式よりも牛若丸式に歸するものと知れ◆或者は太く長い饂飩粉式がいゝと云つて慾の皮を突ッ張りたがるが其の饂飩粉は運、鈍、根で持つてるのだからコセ〳〵した氣短かでは駄目である◆運は天に在り牡丹餅は棚に在り果報は寢て待てなど云つて握り寥丸が何かでブラ〳〵遊ぶ樣になつても困るが所詮は運と鈍と根との三ツで細く長くも太く長くも成れるのである◆鋭い突貫主義よりも少しは間拔けてゐても鈍い方がいゝ人間は或場合馬鹿になれる位の量見がなければ駄目だソシて飽まで根氣でもつてヂリ〳〵と進むのだ◆滿洲に根生ゐのある堅い事業を起さうと思ふなら辨慶式の捨鉢振りを廢めて牛若丸式に運を天に任かせ鈍と根とで飯を少しづゝ押潰すていの辛抱強い遣口に出づべきものだ思ふ◆金は花で事業は幹だ事業といふ幹さへ確かり立てば金の花は自然と咲く大いに儲からんでも事業さへ遺せばその人の魂は活きる◆日本人で滿洲の農牧業に從事してゐる者は極めて少いが今日になつて見ると太摑みの金儲けに突貫した商工業者よりも其の極めて少數の地味な農牧業者の方が比較的成功してゐる◆商人は仲介業者で利益即ち目的とならうが工業者は金よりも事業を重んじ事業に生命を打込まなければ成功しない◆農牧業も利益を度外視することは出來まいが事業その物が生命なので大いに儲からんでもヂリ〳〵と事業の根を築くことになつて成功するのだ◆滿蒙は原始生産地で何といつても原始生産が根本であるから此の根元の培養を疎略にして工業の葉や商業の花を咲かすことが出來ないのは見易い道理だ◆王陽明は枝の想、葉の想、花の想に馳する勿れ唯偏へに根の培養に努めよ然らば自ら枝繁り葉榮ゐ花咲くと云つた◆處が人間は兎角綺麗な花に憧がれ易い弱點を持つて居るので地味な臺所よりも客間を大切にし色々な裝飾をして得意がる◆殊に氣の短かい性急の吾々日本人は仕事よりも金を重んじ槿花一晨の榮に眼を細くして有頂天になるので榮ゐるのも早いが凋れるのもまた早い◆この浮氣を改めない限り滿蒙に根生ゐのある確かりした事業を打建てることは出來ない◆大正も最う十三年となつた急がず焦らず地味に堅實に百年の大計を樹てゝ進みたい。

善事の奬勵

◉滿洲は於ける適切なる社會施設及び其の實行方法として本研究會の發した問に對する答へは極めて少數で而も遺憾ながら肯綮に觸れたものは餘り無い◉此の答への內の田村羊三さんの善行嘉事の奬勵は社會の環境と氣流を清める事になるから研究會でも此の春頃から何とか方法を設けて遣つて見たいと思つてゐる◉人には誰でも美と醜、長と短、優と劣とを備へて居るが成るべくは其の醜と短と劣とを抑へて其の美と長と優とを發揮させる樣にせねばならぬ◉町の者が或女を捉へて姦通せりと罵つてゐる所へ基督が來て『爾等のうち罪なきもの先づ石を取つて此の女を打て』とか云つたら誰もそれをなし得なかつた◉と云ふ話は女の姦通を罵る人々そのものが旣にそれ〳〵罪を持つた人間だから顧みて疚しくなり進んでその女を制裁し得なかつたのであらう◉されば他の短所や缺點を拾つて無暗に人身攻擊をするのは好くないことでそれが旣に罪惡でありまた不道德である◉阿らんが爲めに或は何等か爲めにせんがために他の優所や美點を誇張的に吹聽するのも宜しくないが暗黑面よりも光明面を輝かす方がいゝのである◉さすれば善事嘉行の奬勵ともなり人々相競ふて善事に心がける樣になりそれ丈け社會もまた淸められそして明るくなるだらう●共同生活を營む社會人としては互に短所を補ふやうにするのが本當である己が面上の塵を拂はないで他の頭上の埃を嗤ふが如きは身の程知らずと言ふものだ◉一面から觀れば社會は鬪爭の巷で種々の騷ぎや悶着が絕へず隨つて自分のことを棚に上げてセッセと他の攻擊や非難に耽る者もあるが社會が斯うした一方に傾くと段々惡くなる許りである◉爭ひも君子的なれで卑劣な手段や汚い動機から出發しての爭ひは謂ゆる血で血を洗ふことになり竟には狂犬の咬み合ひのやうな全くの動物性に墮してしまう◉何にしても社會の本義から考へて美しい事や善い事は成るべく多くの人々の耳に入り眼に觸れる樣にし醜い事や惡い事は成るべく許かぬ樣にしたい◉勿論社會共同の賊となる樣なものは社會正義のために攻擊もし非難もせねばならないが夫れよりも善事を奬勵した方がいゝ◉糞桶を大道の眞中にブチまけたりバチルスを四方に撒布する樣なことは近所合壁が迷惑する許りである。

満洲秘史

老虎灘の不知火

香月向

（一）

老虎灘、それは大連が持つ唯一の風光明媚な海濱として幾度となく遊んだ人があるであらう。だが彼の海一帶に八月の十五日前後になると怖ろしいやうな神秘的なホスホラスを見た人は稀であらう。此のホスホラスは日本で不知火と呼んで居る燐光の一種であること云ふまでもないが、八月の十五日頃隈なく晴れた月の夜、岩壁に當つて碎ける波の白泡が恰かも青い鬼火か或はまた大きな龍ののた打ち廻るやうに物凄く燃ゐる光景を、此時、若しも船に乘つて波を分けて見るならば、船端に散る波が眞靑な眞珠か金剛石のやうにハラハラと散つて消へてゆく美くしさ、手に掬つて船の中に撒けばコロ〳〵とそれこそ無數の寶石の飛び散るにも似たあの麗はしさを知つてる人は少ないかも知れない。

左手に續いた蜓を廻つて、幾箇かの巨岩に圍まれ、小老虎灘の鏡のやうな入江の小石の濱に下りて、眞晝の如き月明の夜、試みに衣を脫いで海水を浴びた時の神秘的な趣きは到底筆や口に盡せない。肩から、胸から、或は手先から、全身に流れる水玉は悉く寶玉の碎け散るにも似て、そこらあたり一面に靑い火玉になつて知らず〳〵海の底に引き入れられるやうに覺ゐるのである。

噫、實に麗はしいホスホラスよ!!!、それは全く老虎灘が持つ唯一の誇りである。私は去年の夏の夜を幾度か船を浮べて此の神秘的な美くしい月明を樂しんだか知れない。丘の上の別莊の露臺に籐椅子を持ち出して曉近くなるまで眺めた事もあつた。或は小老虎灘の入江に佇んで全身に流れ傳はる青い火玉のやうな水泡を浴びながら一種の好奇心を以つて夜更くるまで過ごしたこともあつた。

私は此の老虎灘のみに見られる不思議なホスホラスについて何か物語りを聞き出し度いと思つた。必らず何かあるに違ひないと思つて…。

これから玆に書くのはその時の所産の一つである。

（二）

古い噺ではない、今から五六十年も前の事である。此の漁村に劉といふ一人の男が棲んで居た。何處かの流れ者であつたが、誰も彼の生國を知つてる者はなかつた。

劉は性來の怠け者である上に打つ、買う、飲むの三拍手揃つたしたゝかな無頼漢であつた。六尺豐かな彼はそれに相應した以上の馬鹿力があつて、それがまた無類な醜男に生れついて居たのであるが、女にかけては人一倍の好色漢で、村中の厄介者にされて居た。村では彼を放逐したいと思つても、後の祟りを恐れて誰も進んでどうしやうとする者がないので、彼はそれを好いことにして、女とさへ見れば、片つ端から手籠めにしたり、欺して弄んだりして、有らん限りの暴威を逞うした。で村の人々はその娘や妻を家の奥深く秘して彼の眼に觸れぬやうに心がけなければならなかつた。

陰暦でいへば七月の十日頃の月が、今し皎々として漁村を照らし、その月の光の冴へ渡るに從つて、日増に青い光の强さを加へて行く不知火の輝きを、岬角のはづれの岩の上から眺めて居る一人の男があつた。そ

れは云ふまでもない彼の劍である。
節くれだつた逞ましい両腕をムンヅと組んで、赤黒く日に燒けたゞれた上半身を冴わたる月に照らしながら、彼はぢつと海面を見つめて居たのである。

彼は此頃どうしたのか打てば取られて何日も散々に負けつゞけて居たので、美味い酒にも有りつけず、ましてや女には不漁つゞきと來て、流石の彼も業を煮やし、何んとかして一杯の酒と體中を馳けめぐつて居るやうな情火の滿足を得たいものだと思案をつゞけて居た。今夜も今夜で、着て居たたつた一枚の肌襦袢も脱いでしまひ、仕様ことなしに外に出たのであるが、モウ金に替へるべき何物もないので、フラ〳〵と此の岩の上まで來て考へて居るのであつた。

その彼の頭の中に此時フト稻妻のやうに閃めいた考へが浮んだ。

思はずニヤリと氣味の悪い笑を浮べた彼は、堅く組んで居た腕をはづすと、其のまゝのそ〳〵と磯傳ひに村の方へと引返して行つた。

夜は大分更けて居た。漁村は灯火の光も消へて人々はすつかり寢靜つてしまつたらしい。

(三)

話は替つて此の漁村の外れにさゝやかな飲食店があつた。老夫婦とたつた一人の娘を對手に貧しい暮しではあるが小金を貯めて居ると云ふ噂もあつた。

その娘と云ふのは、十六七の美人と云ふ程でもないが十人並に整つた男好きのしさうな顔で、年頃の娘の誰もが持つ眞黑な瞳には云ひ知れぬ魅力を持つて居た。

然し娘には既に許嫁の良人があつたのである。

その夜、娘はいつものやうに早く寢床に這入つて居たが、後片附や明日の用意をして老人夫婦が枕に着いたのは大分夜更けてからであつた。

枕にひゞく浪の音を聞きながら、また破れた窓から流れ入る月の光の夜毎に明るくなるのに月日の流れを思ひながら、來る秋に娘の婚禮をするその仕度の事などを老夫婦は寢物語りつゝ夢現ともなく眠りかけた時サク〳〵と砂を踏んで近づいて來る人の足音を聞いたのである。

年寄りの癖に鋭どい耳をもつた老爺は此時フト吾に返つて耳をそば立てた。確かにそれは自分の家の方へ近づいて來る足音に相違なかつた。

疑ふ餘地もなく足音が自分の家の前に來たと思つた時、バッタリと停つてしまつた。

老爺は息をこらして外の樣子を窺がつた。此時まで寢入つたと思つた老婆も、何時の間にか目が醒めたと見え、同じやうに息を殺しながら老爺の腕に縋るやうにして外の氣勢をうかゞつて居た。

堅く閉された戶口の軒下に立つた黑い人影は、やがて隙間から中を覗いたが、「寢入つたらしい中の樣子を知ると、何んと思つたか續け樣に扉を叩いた。

更けた夜の空氣をゆるがして、四邊にひゞく音に氣を兼ねながらも、思ひきつた樣にはげしく叩いて居るのは、まぎれもない彼の劉であつた。

家の中では、娘も何時の間にか起きて來て、三人とも恐れおのゝいて小さくなつて居たが、老爺はそのうちに思ひきつて、戶口の方に步み寄ると、外を覗くやうにして、

『誰だいッ、今時分』と虛勢を張つて力强く云ひ放つたが聲の尻の方は慄へ氣味であつた。

『誰でもねへ乃公だよ、酒が一ぺいほしいんだ、寢たところを濟まねへが開けてくんねね』

『モウ今夜は駄目だよ、明日來ておくれんか』
『さういはねへで賴む、他ならぬ此の劉さんのお願ひだ、因業なことを云はねへでよ、酒代は倍にしてやるよ、オイ爺ッさん…』
此時老人はフト腹の中で、野郎何處か賭博で勝つてゞも來たと見へるな、一杯の酒が倍になりや開けてやつても損はあるまいと、つまらん慾が手傳つて、彼は云ふが儘に戶を開けてやつた。
細く扉が開いたがと思ふと、劉の體は素早く割り込むやうに中へ這入つた、と見ると、彼の太い兩腕は矢庭に老爺の咽を押へた、そして唯一押しにアッと云ふ間もなく土間の上へ絞め倒して了つた。
それこそ赤兒の咽を絞めるやうに何んの手間もなかつた。反射的に動いた老人の手足も劉の逞ましい體とその恐しい力とには何んの應へもなかつた。
彼はそのまゝ老爺の體を踏み越へるとツカ〳〵と次の部屋に這入つて行つた。
其處には老母と娘とが恐怖のために失神したやうになつて抱き合つて居た。劉は薄氣味の惡い笑ひをその下品な醜い顏に浮かべながら、
『靜かにして乃公の云ふ事を聞かないと承知しなねぞッ』
『…………』
彼はいきなり老婆の手を取ると引ずるやうに炕の上から土間へ引き下ろし、手早く傍らの食卓の脚へグルグルとその身體を縛りつけ、そして其處に脫いであつた着物を頭からスッポリと冠せると、聲の出ないやうに堅く幾重にも卷いてしまつた。
娘は生きた心もなく、情けなくもむごたらしい母親のその有樣を見て、聲を立てやうにも舌が引き釣つた

やうになつてしまつて、物を云ふ事すら出來なかつた。そして恰かも鷹に押へられた小雀のやうに、何んの抵抗も成し得ず、劉の腕の中に見る〱抱きすくめられて了つたのである。

劉は自分の黑鐵のやうな體に、上半身には一糸も纏はぬ練絹のやうな柔かい娘の肌の温かい體温と、しつかり抱へた太い片腕に、脹らんだ乳房が押しつぶされさうになつて、蓮の蕾のやうな色をした乳首の觸感が彼の腕から全身へ、頭の頂邊から足の爪先までも、さながら電氣が傳はるやうに傳はつて、見る〱怖ろしい慾望の焔が燃へひろがつた。

『……………………………………
……………………………………
……………………………』

怖ろしい一夜は、ほの〲と明け渡つて、平和な太陽の光は、何事もなかつたやうに、此の慘劇のあつた家の隅々までも照らし初めた。

あゝ、何んと云ふ悲慘な光景であつたらう、落花狼籍の有樣は見るに堪へない程であつた。

哀れにも娘は石像のやうに硬直して窒息してしまつて居た。傍らには燃へるやうな裙子の赤い色が、狂暴な惡魔の仕業を物語るかのやうに取り亂されたまゝになつて居た。

やがて、それからそれへと村中に此の事が傳はると、誰も彼も集まつて來て、驚くやら、悲しむやら、憤ほるやらで大騷ぎであつた。

漸くにして人々に助けられた老婆は、縛られた體の痛みも忘れて、二人の亡き體の前に茫然として、馬鹿

のやうになつて、泣くにも泣けず、極度の悲嘆と恐怖に失心してしまつて居た。誰が云ふでもなく皆んな一様に此の慘劇の犯人が劉であると云ふことが直覺的にうなづかれた。

心利いた村の若者共は、頼まれる迄もなく、早速に劉の行衞を手を分けて索したのであつたが、何れも手を空しくして歸つて來た。

劉の行衞は遂にわからなかつた。

老婆は村の人々の介抱で漸く氣力を恢復すると、ホンの形ばかりの良人と娘の野邊送りを人々に勞はれながら濟ましたのである。

(五)

恰度この慘劇があつてから七日目のことである。こゝろもち缺けはじめた月が、中空高く昇りはじめると老虎灘の海面にホスホラスの青い光が物凄く燃へはじめて來た。

此時半島のやうに突き出た岬のはづれの岩の上に腰かけて居る一人の男がゐた。

何を考がへて居るのか、ぢつと海を見詰めて蹲まつて居るやうな姿は、何者かの影を追ひ求めるやうに見へた。その男こそ彼の七日前に、老爺を殺し、老婆を失心せしめ、更らにその娘を凌辱して死に到らしめたまゝ、遂に姿をくらました劉であつた。

彼はその夜漁村から姿を消すと、山傳ひに道なき道を、或時は谷陰に日を暮し、或時は人なき海邊をさまよい歩いて居たのであるが、不思議にも彼の眼に浸み込むやうに殘つた幻影がある。

彼の夜、蓮の花の蕾を破つたにも似た娘の露はな姿や面影が一日〳〵と灼けつくやうに濃くなつて來るにつれて、彼の醜い惡魔がムク〳〵と頭を擡げ出して來るのであつた。然うなると彼は矢も楯もたまらなくな

つた。その身に迫る危險などを顧みて居ることも出來なくなつて來た。彼の時、あの美しい娘の肉體から魂が離れ去つてしまつたと彼は夢にも思ひ及ばなかつた。そして丁度七日目の夜、ひそかに危險を冒して忍んで來たのである。

不圖彼は背後の方から歩いて來る人の足音に思はずギヨツとして振り返つた。すると、蜒下の松影から、月の光を全身に浴びて一人の女が立つて居た。彼は思はず立ち上つてその女の姿をぢつと見ると、驚いたやうにツカ〳〵と二三歩進み寄つた。

それは思ひもかけない彼の居酒屋の老夫婦の娘であつた。娘は劉の顏を見るとニツコリ笑つた。彼は思はず知らず大きな聲を出して叫んだ。

『アツ、李坊ぢやアないか？』娘の名は李と云ふのであつた。

『エー、劉さん妾あなたの來るのを待つて居たのよ…』

『ナニツ、乃公の來るのを待つて居たツて、そりや本統かいツ、嘘ぢやあるめゐな、難有ゐなア、ぢやア矢ツ張り乃公が好きになつたんだネ…』

『ゐゝ然うなの！』

『さうかい、そいつア呉々も難有ゐ、何が幸ひになるかア解らねへ、然うと聞いちやこてへられねへ、ぢやアおイ、これから一緒に乃公と何處へでも行くかい？』

劉は娘の顏を覗きこむやうにして歩み寄ると娘の手をしつかりと握つた、が此の時、彼には娘の手が恐しく冷たい手だと思ふほど心に餘裕はなかつた。

『ゐゝ行くわ、何處へでも…』

然う云ひながら娘はよろけるやうにふら〳〵と劉に寄り添つた。
生れてから今まで女からこんな風に溶けるやうな甘い蜜にも似た言葉をかけられた事のない彼は、うつとりとなつて、その魂は全く天外にケシ飛んでしまつたやうになつた。
彼は娘の李を抱へたまゝ四邊を眺め廻した。
『李坊、ぢア彼處にある船まで行つて呉れ、あの船でお前を連れて行つてやらう…』
軈て小さな舢舨に乘り移つた彼は、娘を眞ン中に腰かけさして、思ひもよらぬ幸運に、喜び躍る胸を抑ねながら勢ひよく櫓を押し初めた。
波をわけて進む舢舨の兩側に、うね〳〵と亂れる水にうつる月の光に、靑白い燐光がギラ〳〵と氣味惡るくうつる。彼が腕一杯の力に櫓は輕く、船は波の上を辷るやうに速く進んで、やがて漁村の灯火は螢火のやうに小さく見へるほど遠く離れて行つた。
絕壁の裾に寄せては返す波の、碎けて岩を嚙み、岸を洗ふ泡沫は、さながら瓦斯の靑白い火が燃へひろがるやう、闇の中に美しくも物凄く消へては燃へ、燃へては消へる如くに見へた。
劉はフト櫓を押す手を止めて、船の中に月の光を浴びて氣高いばかりに美くしく見へる娘を顧みると、何を思つたか、そのまゝ櫓を引き上げて、娘の傍近く寄つて來た。
『お前、本統にうちへけへらなくてもいゝんだなア…?』
彼は然う云ひながら娘と並んで腰をかけると、娘の腰を抱へるやうにして引寄せた。
『ねゝ、いゝのよ……』
娘は凭れるやうにして劉の膝に片手を置いた、その手を力強く握つて彼は、

『乃公ァこんな悦しいこたァねへ、お前、乃公を欺すと承知しねへぜ…いゝかい』

そして彼は自分の顏を娘の頰に押しつけやうとした時、不意に大きな浪のうねりが來て、船をごつと搖り上げた。娘は驚いたやうにハッとして劉に獅嚙みつくやうに彼の胸に顏を押しつけた。フト彼は胸に恐しく冷めたい異樣な肌ざはりを覺へた。それは恰かも魚の肌のやうに冷めたいものであつた。彼はオヤと思ふと共に愕然として眼を見張つた。今迄ちやんと着物をつけて居た娘の體はこの時、過ぐる七日前の夜に見た時の半裸體で、赤い裙子一枚を穿いたまゝの姿であつた。その顏には艶といふものがなかつた。そして冷めたいと思つたのは彼の胸に觸れた二ッの乳房であつた。

『オイ李坊、お前どうしたんだッ！』

怪しく慄へるやうな劉の聲が終るか終らないうちに、

『ひゝひゝゝゝ』と氣味の惡い笑ひ聲が聞へたかと思ふと、劉の體は何物か怖ろしい力に引きづられるやうに感じた、そして彼の體は船から離れやうとして居た。劉は恐ろしさに思はず娘を抱へた手を離して船に縋りつかうとした時、再び大きなうねりが青い火花を散らすやうに船端にドッとブッ付ると、火にも似た水を彼はサッと冠つてしまつた。四邊には一面の燐光がギラ〴〵と光つてゐた。

船に縋りつかうとした時、劉はそのまゝ波を冠つてしまつたが、其時彼の首には冷めたい娘の兩腕がさながら蛇の絡みついたやうに咽を締めつけてゐた。彼はそれをもぎ離さうと焦せるうちに、不意にズル〴〵と體が宙に浮いて行くのを感じた。彼は夢中になつて暴れ狂ふたのであつたが目に見へない此の怖ろしい力は易々と彼を引摺つて行つてしまつた。

劉は無我夢中になつて、執拗く首にまつはる娘の腕をもぎ離さうとして、渾身の力を籠めたが、此時彼の

眼に物凄い形相をした娘の顔が見へた。

過ぐる夜、彼の狂暴な手に云ひ樣もない辱かしめを受け、その苦痛と怒りに燃へた瞳の光は、全身に痲痺れ渡るやうに感じて、流石極惡な劉もブル〳〵と慄へたのである。

突如、彼れの體が恰かも手鞠のやうにクル〳〵と宙に舞つたかと思ふと、恐ろしい力で投げ飛ばされるやうに忽ちその場に叩きつけられた。

最う其處には何者の影も無い。主の無い船が波のまに〳〵搖られて流れて居た。

それはホンの一瞬間の出來事であつた。それが濟むと、四邊はもとの靜けさにかへつて、天に滿ちた星の光も消されさうに月の光はさへ渡つて居る。

（六）

其夜が明けて翌朝、村の人々は海へ出やうとして濱に下りて見ると、遙か向ふに一艘の舢舨が波のまにまに漂よつて居るのを見出して、不思議に思ひながらその船を見て居ると、引潮のために現はれた暗礁のあたりに、人の姿らしいものゝ横たはつてるのを見付けた。

『オーイ大變だ〳〵、人が死んでるぞッ！』

『ナニ人が死んでる、何處に〳〵？』

『ホーラ見ねへ、彼の眞ン中の一番太けへ岩の陰によ、ナア見へるだらう』

『ウム、違へねヱ、一體誰だい昨夜沖へ出たなア、まさか難船ぢやあるめへなア』

『さうよ、風も無いのに難船でもあるめへが、此頃は鬼火が燃へるからなア…』

村の人々は段々集まつて來ていろんな事を口々に囃し立てゝ居た。

その中に二三のものが船を出して岩に槽ぎつけて見ると、其處には見るも怖ろしい死に態をした一人の男の死骸が、水に洗はれて岩の上にひッかゝつて居た。兩眼は飛び出し、腦漿はクチャ〳〵に碎けて、宛がら古綿のやうに岩の上に流れ出てゐた。手も足も滿足な形は見られず、五體は見る影もなくメチャクチャになつて居た。一人の男が恐る〳〵近寄つて能くその顏を覗きこむと突然叫んだ。

『オイ、こりや劉の野郎だ、劉に違へねへ！』

『ナニ劉だッて、ウム然う云はれりや確かに然うだなア、だが什麽して彼奴こんな慘たらしい死に態をしやアがつたのだらう……？』

『ウム、此奴ア手前で死ぬ樣な奴ぢやないし、李坊を彼んな事にしやアがつてから、何處へ行きやアがつたか、ヅラかしてしめへやがつたが、何んて汚ねへ死に態だらう』

『劉の野郎だとすりや、わざ〳〵陸まで運ぶにも當るめへ、此のまんま魚に喰はしてやる方が死んだ爺ッアんも娘も喜ぶにちげへねね……』

『さうだ〳〵、それがいゝ、こりやアきつと神樣の懲しめに違へあんめい、魚の腹ア肥すだけでも功德になると云ふもんだ…』

『ぢや、これから歸つて生き殘つてるお袋ろに話してやるべい、屹度喜ぶぜ、いゝ敵討ちが出來てこんな目出度ねことはねね……』

多くの漁師達はいろんな事を云ひ合ひながら歸つて行く。

劉の死體はそのまゝ岩の上に、ヂリ〳〵と析からの朝日に灼けつくやうに照らされながら、淋しげに取り

殘されてあつた、朝鮮鳥や魚がやがてはその骸を啄むであらう。

（七）

話はこれだけである、再び夏が巡り來て、八月の中頃の月の滿ちた時、あの老虎灘の巖頭に立つて更けゆく夜の海面に、燃ゆるやうなホスホラスを一度は眺めて見るがいゝ。或は船を艤してギラ〳〵と怪しい光に閃めく波を分けて掌にその海水を掬んでみるもよからう。指の間から流れ落つるその海水が悉く寶玉のやうな強い光を放つて目もくらむやうに溢れ落ちるであらう。

船の進むにつれて、ゆら〳〵と搖れる船端の水をヂッと眺めて居ると、人魚の肌か魚の鱗のやうな光を帶びた水の色に、誰しも不思議な力に誘はれて海の底に引込まれるやうな衝動を感じるであらう。その時の衝動にも似た誘惑的な力は不思議なほど人の心を強く引込むやうに覺ゆるのである。

少年部と女子團

大阪市教育部では東宮御成婚に關する記念事業の一つとして各青年團每に新に「少年部」を設置することゝなつた從來の團制は總べてを青年本位とし團員中に少數の少年者が混つてゐても教養其他の施設を劃一的にして何等顧みる所もなかつたが今回は義務教育を了へたもの並に在學中の兒童だけを青年團から引離して義務教育修了者には補習教育を授け體育の一として野外訓練を奬勵しまた在學中のものには專ら野外訓練に重きを置いて體育上の指導を與へたいとの計畫を立てゝゐるが學校生徒を團員とするの可否については多少考慮を要すべき點もあり之は一應學校の意見を求め諒解の出來た上決定したいと云つてゐる次に今一つの計畫は男子と同樣の組織をもつた女子青年團の設立である之は既に「案」が出來て市から各方面へ交涉中である趣旨は未婚女子の教育修養を奬勵したいと云ふのであつて其の團員には女工女事務員、電話交換手、小學校同窓生、女給その他の職業婦人を網羅し各個に存在せる團體を統一指導せんとするのであるから團の規模においても現在の市聯合青年團に讓る所はないと此外市民體育の「新しい試み」の一として水泳場と運動場の增設それから學校運動場の開放などを計畫してゐるが何れも此の新年度を期して實現させたいとの意氣込みである。

研究會の旨趣目的

滿洲社會事業研究會は其の名稱の如く研究を主さする間接機關でありますが研究さ共にその研究の結果を發表し講演會その他の集會をも催ふし宣傳、鼓吹、報道、論評さ相待つて實行促進に努力しますから直接に自ら實行しないでも漸次實行を促すことになります場合に依り又事業の性質によりては本會自ら實行するやうな事があるかも知れませんが本來の使命は間接的に助長、發達、進歩を計り社會問題に對する正しい理解力を一般に普及したいのであります夫れから本會は會員組織でありまして會員を別つて賛助員及び普通會員さし役員は會長一名、副會長二名、幹事長一名竝に幹事若干名で外に顧問・相談役及び評議員若干名を置くことに成つて居ます評議員は賛助員の中より選擧し其の任期は二年です評議員會は會長において必要さ認めたるさき又は評議員五名以上の請求ありたるさき開くのです評議員會は今日までに既に九回開きました本會の經費は會費及び寄附金を以て之れに充て會費は賛助員毎月貳圓、普通會員同上壹圓です追つて沿線重要地に支部を設けます。

研究會の組織綱領

● 獨逸行商人制度………

◎ の研究と獨逸貿易の振興に貢獻せる朝野の諸機關……滿鐵會社庶務部調査課

◉ 勞農露西亞の産業状態と外國貿易の前途並びに現代露國の經濟財政状態……同上調査課

◉滿洲日日新聞、遼東新報、大連新聞、泰東日報、週刊「極東」、日滿通信、滿蒙、讀書會雜誌、新天地、海友、滿蒙實業彙報、調查時報、滿洲建築協會雜誌、滿洲公論、大陸、日華之貿易、滿洲經濟時報、關東新聞、聖德會會報(以上は大連)◉大陸日日新聞、奉天新聞奉天毎日新聞(以上は奉天)◉大乘(上海)◉山東公論、濟南日報(以上濟南)◉青島新報(青島)◉京城日報、朝鮮新聞、朝鮮銀行月報、朝鮮及滿洲(以上京城)◉釜山日報(釜山)◉平南毎日新聞、平壤商業會議所月報(以上平壤)◉臺灣時報、臺灣月報(以上臺灣)◉臨時産業調査局資料、滿鐵東亞經濟調査局經濟資料、東洋、支那、大鵬、大日本、東京商業會議所所報、日華之實業、愛國婦人、戰友、我が家(以上東京)◉紡織界(大阪)同志社時報(京都)◉横濱商業會議所月報(横濱)◉東亞經濟研究(山口)◉福岡日日新聞(福岡)

毎月一回發行

定價表

本號特別號壹部金七拾錢

册數	定價	郵稅
三箇月分	壹圓九拾錢	五錢
半箇年分	參圓八拾錢	郵稅共
一箇年分	七圓五拾錢	郵稅共

▲半年分及壹年分には特別號を含む▲誌代は總て前金拂の事▲郵券代用は一割增

廣告料

等級	半頁	一頁
特等	四拾圓	八拾圓
一等	貳拾五圓	五拾圓
二等	拾五圓	參拾圓
三等	拾圓	貳拾圓

●三回以上は割引可仕候●年極めは特別に御相談可致候

●〆切りは前月二十日限り

大正十三年一月一日發行

發行人　山田武吉
編輯人　大內四郎
印刷人　太田信三
印刷所　小林又七支店
大連市大山通

發行所（電話五四二六番）
滿洲社會事業研究會
大連市磐島町五十六號地
振替口座大連一二三九番

大連汽船株式會社

東洋汽船株式會社大連代理店

本　社……大連市山縣通（電話代表番號 四一八五 四一八六）

支　店……上海黄浦灘路一號
青島葉櫻町十一番地
天津舊德界
安東縣財神廟街

出張所……神戸仲町十五ビルディング內

代理店……旅順・龍口・芝罘・營口・香港・大阪・横濱

●大連、青島、上海線　每月六回

●大連、天津線　每月八回

●大連、安東線　每月六回

●大連、龍口線　每月六回

●青島、上海線　每月六回

●營口、大連、阪神線　貳ヶ月三回

●不定期航路

◎南滿洲鐵道、膠濟鐵道トノ連絡輸送竝ニ北支那諸港間ノ荷客取扱申候

◎天津航路ハ大連ニ於テ大阪商船會社大阪大連間定期船ニ接續可致候

◎天津、安東兩地ニハ完全ナル倉庫ヲ新築シ一般倉庫業相營ミ居リ候

◎鴨綠江結氷中大連安東線ハ休航、白河結氷ノ際ハ天津行ヲ皇秦島行ニ變更

本店　東京市麴町區有樂町一丁目一番地

支店　大連、青島、奉天、哈爾賓、京城、釜山、大邱、
　　　大田、木浦、元山、裡里、沙里院、平壤

出張所　間島

東洋拓殖株式會社

大連支店

電話（長）七一四七番
　　　　七一四九番
振替口座大連一九七八番
受信略號タイレン、トタク

奉天支店

電話（長）六五七番
　　（長）三九七番
振替口座大連一九六八番
受信略號ホウテン、トタ

營業科目

一、拓殖ノ爲メ必要ナル資金ノ貸付
一、農業、水利事業及土地ノ經營
一、農業者ニ對シ其ノ必要ナル物品ノ供給及其ノ生產物品ノ分配
一、移住民ニ關スル業務
一、委託ニ因ル土地ノ經營及管理
一、其他拓殖ノ爲メ必要ナル事業ノ經營
一、定期預リ金